

1. 子ども・若者が健やかに育つための支援の充実	
1-1 子どもの権利を尊重する意識の醸成	
【10101】子どもの権利尊重についての啓発の実施	
担当課	こども若者政策課・人権政策課・人権教育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、自分の大切さや他の人の大切さを認めることができるようになり、それがさまざまな場面で具体的な態度や行動に現れるよう取り組みを進めます。また、「子どもの権利条約」の理念・内容の周知を図るための啓発を実施します。 ・子どもの人権についての意識向上を図るため、研修やセミナーといった啓発事業を実施します。 ・子どもに対し、基本的人権の主体者であることの理解と保護者に対しても子どもの権利を尊重する意識の醸成を図るために、「子どもの権利条約」リーフレットを配付し、保護者への啓発とともに、人権教育学習教材として活用します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利を尊重する意識の向上を図るため、「発達障がいへの理解を深める」をテーマに外部講師による講演を実施した。 ・地区福祉委員会を単位とする地区人権研修で「子どもの人権」をテーマに研修を実施した。[1地区] ・小学校、義務教育学校の入学説明会にて、「子どもの権利条約」リーフレットを配付し、保護者の子どもの権利を尊重する意識の醸成を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演を通じて、発達障がいや多様性について理解するきっかけとなり、子どもの権利を尊重する意識の向上を図った。 ・地区人権研修等で「子どもの人権」をテーマに実施することで、子どもの人権に関しての理解が深まった。 ・各校で実施されている人権教育の中で、「子どもの権利条約」を教材として活用した授業が行われる等、発達段階に応じた取り組みが進められた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの人権尊重に向けた取り組みや、子どもの自主性や主体性を育む取り組みを構築し、推進していく必要がある。 ・地区人権研修等を通じて、地域社会での啓発をさらに進めていくためには、魅力的なタイトルや研修内容を検討する等、1回の研修への参加者数を増やす必要がある。 ・子どもや保護者へ人権関連条約等のより効果的な周知方法について考えるとともに、学校において、大阪府教育委員会作成「人権教育教材集・資料」(平成28(2016)年度版)等を使用し、「子どもの権利条約」についての学習を充実させる必要がある。
【10102】子ども向けウェブサイトによる子どもの主体性を高める情報の発信	
担当課	こども若者政策課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや学びに着目した子ども向けウェブサイトを活用し、相談機関の情報やさまざまな危険から身を守る方法、八尾市に愛着がもてるような情報等を発信します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行われる子ども向けのイベントの開催情報を随時掲載するなど、子どもたちに関心を持ってもらえる情報を常に発信し続けた。[年間アクセス数 142,658件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の地理・統計・産業・環境問題など幅広い情報発信を行うとともに、掲載内容の更新を行い、常に新しい情報を発信することに努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、継続してアクセスしてもらえるよう、さらに子どもたちの声を取り入れたページづくりを行う必要がある。
【10103】子どもの意見を尊重した取り組みの実施	
担当課	こども若者政策課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の八尾の担い手となる子どもたちの夢を育み、希望を実現し、子どもの権利の尊重と自主性の向上を図るため、子どもたちが夢や希望を実現するための取り組みの提案を募集し、実現に向けた取り組みを実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、提案募集及び提案実現ともに中止とした。提案実現については、子どもの密集・密接が避けがたい内容であるため、本事業の実施は困難であり、令和2(2020)年度をもって事業を廃止した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者の意見を尊重した取り組み内容について、今後、検討する必要がある。

【10104】教職員・保育者等の人権研修の実施	
担当課	こども施設運営課・人権教育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立認定こども園において、「人権を大切にすることを育てる」保育について、保育の質が高められるよう、研修及び研究に取り組みます。 ・学校教職員等の人権意識の高揚と指導力の向上を図り、子どもたちに対する人権教育を充実させるために、人権教育に関する各種研修を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公立認定こども園において、「人権を大切にすることを育てる」保育について、ちやいどネット大阪が主催する人権研修へ参加した。 ・教職員向けに人権教育研修講座を年間6回実施した。テーマとして「虐待・ヤングケアラー」「在日外国人問題」「同和問題」「自殺対策」「ジェンダー平等」を取り扱った。また、研究協力員人権教育部会が作成した学習プログラムを活用した「公開授業研究会」も実施し、実践や研究に関する交流を深めた。さらに、管理職を対象とした人権教育研修を年間2回開催し、テーマとして「新型コロナウイルス問題に関わった人権課題」「ヤングケアラー」を取り扱った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立認定こども園において、「人権を大切にすることを育てる」保育の推進を実施することができた。 ・さまざまな研修講師から今日的な人権課題についての学びの場を提供することで、教職員の人権意識の向上につながっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立認定こども園において、研究参加者が伝達研修を行い、引き続き、施設全体に内容を広められるような機会を確保することが必要である。 ・さまざまな人権課題解決に向けての各学校での取り組みを支援するための情報提供の場として、引き続き人権教育研修講座の位置づけは重要である。
【10105】自他の命を大切にすることを教育の推進	
担当課	人権教育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「自他の命を大切に、自らの命を守り、他人の命も守ることのできる児童・生徒の育成」を図るための特色ある取り組みを実施する学校を支援し、その取り組みを広めることにより、市内各学校の命を育む教育の充実を図ります。 ・「人権教育の指導方法等のあり方について[第3次とりまとめ]」を指針とし、知的理解を深めるとともに人権感覚を高め、自他の人権を守ろうとする意識・態度・行動力を身につけた児童・生徒の育成を図ります。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全学校で「命を育む」教育に取り組み、それぞれ特色のある取り組みを実践することができた。助産師やパラスポーツ選手等、さまざまな大人との出会いや体験を通じた学びを実施することができた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自らが体験等できる学びは貴重であり、取り組みを通じて命の尊さについて、自らの問題として考えを深める場となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや虐待等、子どもたちの命を取り巻く状況は依然厳しいものがあり、今後もすべての学校で「命を育む」教育の推進が望まれる。

1. 子ども・若者が健やかに育つための支援の充実	
1-2 児童虐待防止対策の充実	
【10201】要保護児童対策地域協議会の連携強化	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、「八尾市要保護児童対策地域協議会」を設置し、関係機関や地域との連携強化に取り組めます。
令和4(2022)年度実績	・八尾市要保護児童対策地域協議会において、代表者会議、実務者会議、調整会議、個別ケース検討会議を開催し、関係機関や地域との連携強化に取り組んだ。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・八尾市要保護児童対策地域協議会において児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応に取り組むことができた。 【課題】 ・対応件数が増加傾向であり、事務局職員体制の強化も含めたさらなる連携体制の充実を図る必要がある。
【10202】児童虐待防止のための研修・啓発	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・児童虐待防止への関心を高め、地域で子どもを見守る体制を強化するために、児童虐待防止の広報・啓発や研修等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・要保護児童対策地域協議会における関係職員・教員向け研修会、市民向け研修会の開催、市政だよりへの児童虐待通告窓口記事掲載、児童虐待防止推進月間の啓発ポスターの掲示、市役所1階ロビー広告付き番号案内システムにおける啓発、公用自動車への児童虐待防止オレンジリボンキャンペーンマグネット掲示の取り組み、市役所本庁舎の懸垂幕の掲示を行い、児童虐待防止の研修・啓発を推進した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・児童虐待防止の広報・啓発や研修等を通じて、地域での子どもを見守る体制を強化できた。 【課題】 ・引き続き、さまざまな機会を通じて、幅広く市民全般に児童虐待防止の意義を伝え続けていく必要がある。
【10203】相談体制・ケース対応の充実(職員の資質の向上)	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・八尾市要保護児童対策地域協議会における代表者会議・実務者会議・ケース検討会議を開催し、関係機関や地域と連携しながら、児童虐待や虐待発生のおそれがある家庭の支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市要保護児童対策地域協議会における代表者会議・実務者会議・ケース検討会議の開催を通して、児童虐待や虐待発生のおそれがある家庭への支援を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・八尾市要保護児童対策地域協議会において児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応に取り組むことができた。 【課題】 ・対応件数が増加傾向であり、事務局職員体制の強化も含めたさらなる連携体制の充実を図る必要がある。
【10204】母子保健事業における児童虐待の早期発見と発生予防	
担当課	健康推進課
事業内容	・児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童虐待発生予防システムとして、4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児健康診査未受診家庭の養育状況を把握・支援します。
令和4(2022)年度実績	・関係機関と連携して、4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児健康診査未受診家庭の把握に努めた。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・乳幼児健康診査未受診家庭の養育状況を把握し、児童虐待の予防に努めた。 【課題】 ・乳幼児健康診査の受診率及び未受診家庭の全数把握に努め、民生委員児童委員と連携しながら、引き続き虐待予防を実施していく必要がある。

【10205】児童家庭相談の充実

担当課	こども総合支援課
事業内容	・子どもの権利擁護および児童福祉の向上をめざし、児童虐待のある家庭や複数の問題を抱える家庭等、様々な家庭への支援のために、家庭への援助方策を検討し対応します。
令和4(2022)年度実績	・児童虐待のある家庭や複数の問題を抱える家庭等、様々な家庭への援助方策を検討するとともに、年間延べ相談件数として13,654件の相談支援を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・児童虐待のある家庭や複数の問題を抱える家庭等、様々な家庭への相談援助を実施できた。 【課題】 ・相談件数が年々増加しており、相談体制の強化が必要である。

【10206】子育て総合支援ネットワークセンター「みらい」(令和4(2022)年10月よりこども総合支援センター「ほっぷ」)の体制強化

担当課	こども総合支援課
事業内容	・子ども家庭総合支援拠点としての専門職配置を充実するとともに、各種研修などを通じた職員の育成・資質向上に努め、体制強化の取り組みを進めます。
令和4(2022)年度実績	・専門職の配置を進め、研修や勉強会を活用しての職員の育成を行い、支援体制の強化に取り組んだ。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・専門職の配置と研修の活用による人材育成に取り組んだ。 【課題】 ・専門職の確保と長期的な人材育成についてノウハウを得る必要がある。

【10207】児童相談所についての研究

担当課	こども総合支援課
事業内容	・法改正や他市事例に対する情報収集を行うとともに、必要に応じてスムーズな検討が行えるよう会議体を設置します。
令和4(2022)年度実績	・国の法改正、他市事例などの情報集約を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・法改正や他市事例に係る情報集約を実施した。 【課題】 ・地域差が大きく、比較や効果検証が難しい。

1. 子ども・若者が健やかに育つための支援の充実

1-3 いじめ・不登校等への対応

【10301】いじめの未然防止・早期発見に向けた体制づくりと相談・対応の強化

担当課	いじめから子どもを守る課・人権教育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもをいじめから守るために、弁護士、心理士等の専門職を配置し相談対応等を行うとともに、教育委員会事務局及び市立学校との連携体制を構築しながら、必要に応じて関係機関と協力し、課題の解決をめざします。 ・いじめのない環境づくりを推進するため「八尾市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止等に向けた啓発を実施します。 ・八尾市いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るために、学校におけるいじめ事象の早期発見と適切で迅速な対応が図れるよう支援を行うとともに、各部署が行ういじめ防止対策の総合的、効果的な推進を図ります。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や来所等によるいじめ相談に対応した。 ・「いじめ防止のためにできること」をテーマに、市内小中学校6校の児童会・生徒会役員の児童・生徒と、「ストップいじめ」やおっ子ミーティングと題した意見交換会を実施した。 ・市内小中学校14校に対し、教職員向けの「弁護士によるいじめ予防・対応研修」を実施した。 ・市内小中学校の全児童・生徒にいじめ防止啓発カード及びいじめ相談チラシを配付するとともに、市内の公共施設に配架した。 ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応について改めて周知するとともに、弁護士や大学教員、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等の外部専門家の助言を得ながらいじめ問題に対応する体制の構築を図った。 ・八尾市いじめ問題対策連絡協議会を開催した。八尾市のいじめ問題の状況について委員で共有するとともに、いじめの未然防止に向け、地域や保護者との連携や啓発等も含めた意見交換を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者に対し、専門職による専門的見地から助言等を行うことができた。 ・「ストップいじめ」やおっ子ミーティングを実施したことで、直接、子どもの意見・考えを施策検討に活かすことができた。 ・市内小中学校の全児童・生徒に、いじめ防止啓発カード及びいじめ相談チラシを配付するとともに、公共施設に配架することにより、いじめ相談窓口の更なる周知につなぐことができた。 ・外部専門家の助言を得ながら事案へ対応する体制の構築を図ることができた。市民代表、関係機関の方々に八尾市のいじめの状況について報告し、意見交換する中で、いじめ問題は市民全体で取り組むべき課題であることが共通理解され、いじめ未然防止の取り組みが広がる場となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会・生徒会役員との意見交換で、自分の気持ちを伝えやすい場所が欲しいといった意見があり、子どもがSOSを発信しやすい体制整備や、相談場所の更なる普及啓発が課題となる。 ・子どもがSOSを発信しやすい環境づくりのため、子どもたちのいじめ問題に関する理解を促し、どのように相談先の周知を行っていくか課題となる。 ・関係機関の代表者とともに、八尾市の課題共有を図ることは重要である。関係機関と連携して児童・生徒を見守ること、いじめ事象が発生した場合の対応等について共有を図ることで、事象の未然防止・早期発見・早期対応を行う必要がある。

【10302】スクールカウンセラーの活用

担当課	学校教育推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーを活用し、子ども、保護者、教員へのカウンセリングを行うなど、不登校児童・生徒の学校復帰をめざした支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18(2006)年度から、年間35回、全中学校にスクールカウンセラーを配置している。令和4(2022)年度からは、東西南北のブロック毎に拠点となる小学校を設置し、小学校におけるスクールカウンセラーの活用を進めている。不登校等の早期改善のための相談活動だけでなく、校内ケース会議等により、未然防止のための取り組みも実施している。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だけでは解決困難な事案または長期化する恐れのある事案等を、教育委員会と連携し、関係諸機関・専門家も交えて早期に解決することで、学校における教育活動の充実を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、担任等関係する教員や関係機関との連携を深めていくことで問題行動等の未然防止をより推進していくことが必要である。

【10303】スクールソーシャルワーカーの活用

担当課	教育センター
事業内容	・学校及び地域、関係諸機関との連携のもとに、児童・生徒が抱える諸課題に早期対応することで、子育てに悩みや不安を抱く家庭の支援を通し、総合的な家庭の教育力の向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・学校に対しスクールソーシャルワーカーや訪問相談員の配置を実施した。また、スクールソーシャルワーカーによる校内研修、家庭教育支援コーディネーター会議の開催を通じて、家庭の教育力向上を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・課題を抱える子どもへの援助を通じて子ども本人や保護者を支援するとともに、教職員の子ども理解を深め、課題の早期発見・早期対応をめざし、校内教職員研修により、課題解決に向けた福祉的視点からのアプローチの方法や支援の在り方、組織としての対応について理解を深めた。 【課題】 ・引き続きスクールソーシャルワーカーによる研修等を活用し教職員の気づきを促すことで、子どもが抱えるさまざまな課題への早期発見・早期対応を推進する必要がある。

【10304】スクールサポーターの派遣

担当課	教育センター
事業内容	・学校現場でのさまざまな教育活動における子ども支援の補助を行うために、学校の状況や要請に応じ、教育系・心理系大学の学生や社会人等地域人材の活用によるスクールサポーターを派遣します。
令和4(2022)年度実績	・近隣の大学や地域との連携によりサポーターとして登録した人材を各学校からの要請に基づき派遣し、教育活動における子ども支援の補助を推進した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域人材や学生をスクールサポーターとして派遣し、学習やクラブ・放課後活動などを支援することを通じて、各学校の状況や特色を生かした学校づくりに寄与した。 【課題】 ・各学校の要請に応じられるよう登録人材を増やすとともに、登録人材が集まりやすいよう謝金単価を見直す必要がある。

【10305】教育相談の実施

担当課	教育センター
事業内容	・児童・生徒の心や身体の健康の相談、教育上の諸問題の解決に向けた相談などを実施します。加えて、青少年に関する進路等の相談も実施します。
令和4(2022)年度実績	・一般教育相談・特別な支援が必要な子どもの教育相談、巡回相談、医療相談を実施するとともに、進路相談を含む青少年相談を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・研修等を通じて相談員の専門性向上を図り、その成果を学校園と共有することにより学校の教育相談体制の充実を図ることができた。 【課題】 ・引き続き、学校での教育相談体制の充実に向け支援していく必要がある。

【10306】適応指導教室(さわやかルーム)における援助活動の実施	
担当課	教育センター
事業内容	・心理的又は情緒的な原因等、さまざまな要因により、登校の意思があるにもかかわらず登校できない状況にある児童生徒に対して、家庭と学校の間接点としての場を提供し、学校復帰や社会的自立をめざした教育相談、学習援助及び集団生活への適応指導などの援助活動を実施します。
令和4(2022)年度実績	・教育支援センター(適応指導教室)「さわやかルーム」においては入室生への学習支援・在籍校との連携・スーパーバイザーによる事例研究の実施など、学校復帰や社会的自立をめざし支援を行った。また、ICTを活用した不登校児童生徒とのコミュニケーション、学生サポーターを活用した学校以外での居場所づくりなどの活動・支援を推進した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・不登校児童生徒の特性に合わせてさまざまな人材を活用し多様な取り組みを展開することにより、当該児童生徒の社会的自立に向け状況を好転させることができた。 【課題】 ・引き続き、学校との連携を密にとりながら、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援のあり方を工夫していく必要がある。
【10307】人権相談の実施	
担当課	人権政策課
事業内容	・人権相談事業を通じて、子どもの人権に関する問題解決に向けて取り組みます。
令和4(2022)年度実績	・人権相談事業を通じて、各種周知方法の検討も含め子どもの人権に関する問題解決に向けて取り組んだ。 [相談実績件数 38件、うち子どもの人権に関する相談 1件][※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・人権相談事業を通じ、子どもの人権に関する問題解決に向けての取り組みや子どもの人権に関する周知を実施した。 【課題】 ・より多くの人へ周知できるよう、引き続き、周知方法の検討が必要である。また、子どもの人権問題について、人権相談につなげてもらえるよう周知内容についても工夫が必要である。

1. 子ども・若者が健やかに育つための支援の充実	
1-4 若者への支援の充実	
【10401】若者相談支援の窓口の設置	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・学校、仕事、人間関係など、さまざまな事情でひきこもりの状態にある概ね40歳未満の若者や、ご心配されているご家族の方などからの電話による相談を臨床心理士が聞き取り、それぞれに必要なとする専門的な支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・ひきこもりをはじめとした、さまざまな事情を抱える子ども・若者とその家族を対象とした「若者電話相談窓口」において、適切な支援機関を紹介した。また、事業内容の拡充を実施し、対面相談等を開始することで、それぞれに必要なとする専門的な支援を行うなど、一人ひとりの特性や状況に寄り添い幅広く対応を実施した。 [相談実績件数 353件] ・関係機関とより密接な連携ができるよう、連携会議を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・どこに相談してよいかわからない子ども・若者やその家族などからの相談を受け、それぞれに必要なとする専門的な支援を行った。 【課題】 ・引き続き、相談につながるよう、制度の周知を図るとともに、幅広い支援が可能となるよう事業の拡充や各関係機関との連携が必要である。
【10402】困難を有する若者への相談・支援体制の充実	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・学校、仕事、人間関係など、さまざまな事情でひきこもりの状態にある概ね40歳未満の若者や、ご心配されているご家族の方などからの電話による相談を臨床心理士が聞き取り、それぞれに必要なとする専門的な支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・ひきこもりをはじめとした、さまざまな事情を抱える子ども・若者とその家族を対象とした「若者電話相談窓口」において、適切な支援機関を紹介した。また、事業内容の拡充を実施し、対面相談等を開始することで、それぞれに必要なとする専門的な支援を行うなど、一人ひとりの特性や状況に寄り添い幅広く対応を実施した。 [相談実績件数 353件] ・関係機関とより密接な連携ができるよう、連携会議を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・どこに相談してよいかわからない子ども・若者やその家族などからの相談を受け、それぞれに必要なとする専門的な支援を行った。 【課題】 ・引き続き、相談につながるよう、制度の周知を図るとともに、幅広い支援が可能となるよう事業の拡充や各関係機関との連携が必要である。
【10403】若者の居場所の整備の検討	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・悩みや困難を感じている子ども・若者の居場所づくりなど、市民自らが計画・実施する子ども・若者の健全育成を推進する取り組みを募集し、助成金を交付することにより自主的な活動を支援します。
令和4(2022)年度実績	・市民(団体)自らが、計画・実施する悩みや困難を感じている子ども・若者やその家族の居場所となる取り組みに対して助成金を交付した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・市民(団体)自らが、計画・実施する悩みや困難を感じている子ども・若者やその家族の居場所となる取り組みが実施された。 【課題】 ・悩みや困難を抱える子ども・若者の居場所となる取り組みが進むよう、周知方法等の検討が必要である。
【10404】子ども・若者の支援に関わる機関の連携強化と周知	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・子ども・若者育成支援を円滑に進めることができるよう、関係機関との連携と制度の周知を実施します。
令和4(2022)年度実績	・さまざまな関係機関に若者相談窓口及び若者育成支援提案事業の周知を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・関係機関への周知により、若者相談につながったケースがあった。 【課題】 ・ひきこもり状態など悩みを持つ若者やその家族からの相談につながるよう、引き続き、制度の周知を図るとともに、幅広い支援が可能となるよう事業の拡充検討や各関係機関と連携する必要がある。

【10405】青少年健全育成八尾市民会議における取り組み

担当課	生涯学習課
事業内容	・「青少年健全育成八尾市民大会」、「家庭教育を考える市民集会」や各地区で開催する住民懇談会を通して、地域における青少年の健全育成や非行防止に対する住民の意識向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、「青少年健全育成八尾市民大会」、「家庭教育を考える市民集会」等の事業は中止となったが、自治振興委員会への依頼によるポスター掲示や、FMちやおを活用した啓発活動を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・啓発活動の実施を通じて、地域の青少年健全育成を支援した。 【課題】 ・感染症対策を前提とした啓発活動の手法について、青少年健全育成八尾市民会議と協議していく必要がある。

【10406】青少年指導員への若者の参画

担当課	生涯学習課
事業内容	・青少年の健全育成を図るため、街頭指導や青少年に関する相談、危険箇所及び非行の溜り場の把握や環境浄化の推進等の業務を担う青少年指導員の委嘱を実施します。
令和4(2022)年度実績	・397名(令和3(2021)年度比-11名)
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域において、若年層を含めた青少年指導員の継続的な活動がなされている。 【課題】 ・青少年指導員の担い手不足が深刻化している。

【10407】若者への就労支援の取り組み

担当課	労働支援課
事業内容	・就労困難者等の職業能力を高めるため、就職につながりやすい各種講座を実施します。 ・市内5か所ある地域就労支援センターにおいて、ひとり親家庭の親を含む就労困難者等に対する就労支援を実施します。また、就労支援の二次的窓口である「八尾市パーソナルサポートセンター」及び就労困難者等に対し個別職業紹介等を行う「八尾市無料職業紹介所」等と連携し、就労困難者等に対する就労支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・就労困難者等に対して、就職につながりやすい各種講座を実施した。 [講座受講者:個人対応パソコン講座 6名、介護職員初任者研修講座 15名] また、地域就労支援センターにおいて、就労困難者等に対する就労相談等を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・就労困難者等の就職につながる講座の実施や、身近に相談できる場を提供することで、若者の就労の実現ひいては経済的自立に寄与した。 【課題】 ・支援対象者は増加傾向にある。関係機関との連携等により、引き続き対象者の掘り起こしからの誘導が図られるように取り組むと共に、専門機関へつなげるなど、支援対象者に応じた支援を実施していく必要がある。

2. みんなで支える、地域が主体の子育ち・親育ちのしよみの充実	
2-1 子どもが主体となって活動ができる地域づくりの推進	
【20101】子どもが地域での活動に参加する機会づくり	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・多様な体験、活動、交流ができる機会の提供など、市民自らが計画・実施する子ども・若者の健全育成を推進する取り組みの提案を募集し、助成金を交付し自主的な活動を支援します。
令和4(2022)年度実績	・多様な体験、活動、交流ができる機会の提供を行う取り組みについて募集を行い、団体に対して助成金を交付し活動支援を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・市民(団体)自らが、計画・実施する多様な体験、活動、交流ができる機会の提供を行う取り組みが実施された。 【課題】 ・多様な体験、活動、交流ができる機会の取り組みにつながるよう、引き続き周知を図る必要がある。
【20102】こども会活動の育成・活性化の支援	
担当課	生涯学習課
事業内容	・異年齢間での集団活動を通して、協調性や社会性を身につけるとともに、子どものニーズにあう地域のこども会活動を支援します。
令和4(2022)年度実績	・青少年育成連絡協議会と協働し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、つな引き大会等の事業をおこなった。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・こども会等の状況把握に努め、助言や提案を行ったとともに、こども会活性化のための各種事業の継続について八尾市青少年育成連絡協議会と協議を実施した。 【課題】 ・アフターコロナの状況をふまえたこども会活性化支援の方策の検討を行う必要がある。
【20103】子どもの活動支援と八尾を全国に発信する取り組み	
担当課	こども若者政策課・文化・スポーツ振興課
事業内容	・子どもの個性の伸長や能力を向上させることを目的に、スポーツ活動及び文化活動において、本市を全国発信する功績等をあげた子どもを表彰し、その功績等を本市の広報を通じて広く発信します。 ・河内音頭の次世代への継承をめざし、八尾市文化会館(公益財団法人八尾市文化振興事業団)と連携して、市内の小中学生を対象に、河内音頭を「きいて」「おぼえて」「うたう」と「おどる」ことを学び、実践する講座を開催します。1年間の講座を修了した子どもたちは、「八尾のこども河内音頭大使」の認定を受け、市内各所で行われるまつりやイベントに出演します。
令和4(2022)年度実績	・スポーツ活動や文化活動において、本市を全国発信する功績等をあげた子どもたちを表彰し、その功績等を本市の広報を通じて広く発信した。[受賞者 個人:14件 団体6件] ・こども河内音頭講座を「唄コース」「踊りコース」に分けて1年間開催し、年間を通して、八尾の伝統文化である『河内音頭』を「きいて」「おぼえて」「うたう」と「おどる」ことを学び、市内各所で行われるまつりやイベントに出演し、音頭の披露ができるように練習を行った。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・表彰や本市の広報等を通じて八尾の子どもたちの多様な活躍について広く発信することができた。 ・令和5(2023)年3月の講座修了時に、29名が「八尾のこども河内音頭大使」の認定を受けた。年度内に市内各所で行われたまつりやイベントに出演し、河内音頭を披露したことで、河内音頭が次世代へ継承された。 【課題】 ・競技人口や大会規模により授賞の可否が左右されることも多く、公平性の観点が課題となっている。 ・講座の開催方法や、発表の場などの検討が必要である。
【20104】身近な地域のまちづくり支援	
担当課	コミュニティ政策推進課
事業内容	第6次総合計画基本構想に掲げる「共創と共生の地域づくり」を実践するために、これまでの地域のまちづくりの考え方を取り入れた計画内容をもとに、まちづくりの推進に向けた各種制度を実施します。
令和4(2022)年度実績	・28の各校区まちづくり協議会が策定した「わがまち推進計画」に基づき、自主的・主体的に取り組まれる地域活動に対する財政的支援として、世代間交流、子育て支援、登校時の見守り活動、その他関係消耗品等の費用を「校区まちづくり交付金」の予算の範囲内において交付した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・平成28(2016)年度より、校区まちづくり交付金制度を一部見直し、将来のまちづくりを担う青少年・子どもを対象とした取り組みを行う「次世代育成」加算を設け、子どもを対象とした活動に対する支援の充実を図った。 【課題】 ・今後も各地域が子どもを見守り育てる環境整備が図れるよう支援する必要がある。

【20105】青少年活動団体への助成

担当課	生涯学習課
事業内容	・市内で活動する青少年育成関係団体の活動を促進することで、青少年の育成を図ります。
令和4(2022)年度実績	・各地区青少年育成連絡協議会・八尾市スカウト協会へ補助金による助成を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・各団体の活動を通じて地域の青少年健全育成に寄与した。 【課題】 ・補助金交付要綱を改正し、活動内容の把握に努めているが、現代の青少年が抱えている問題の解決につながっているのか効果が見えにくい。

2. みんなで支える、地域が主体の子育ち・親育ちのしくみの充実

2-2 子どもの居場所づくりの支援

【20201】青少年センター講座による学習・活動機会の提供

担当課	生涯学習課
事業内容	・長期休暇期間を中心に、八尾っ子おしごと体験及び青少年センターを活用した講座を開催し、青少年に多様な学習機会や活動機会を提供します。
令和4(2022)年度実績	・令和4(2022)年度は、実施していない。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、八尾っ子おしごと体験及び青少年センター講座は中止となった。 【課題】 ・アフターコロナの状況をふまえて、事業運営の検討や講座内容の見直しを行っていく必要がある。

【20202】八尾市立青少年運動広場、大畑山青少年野外活動センターにおける活動場所の提供

担当課	文化・スポーツ振興課・生涯学習課
事業内容	・市内青少年の自主的・組織的なスポーツ・レクリエーション活動を促進することで、青少年の健康増進、健全育成を図ります。 ・青少年が自然に親しみ、野外活動及びレクリエーション活動を行う場を提供することで、青少年の健全育成を図ります。
令和4(2022)年度実績	・青少年の自主的・組織的なスポーツ・レクリエーション活動を促進し、健康増進、健全育成を図った。 [年間利用者数 28,318人] ・青少年に対して野外活動等を行う場を提供することで、青少年の健全育成を図った。 [年間利用者数 81,973人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・施設利用を通じ、青少年の健康増進、健全育成を図った。 ・施設利用による野外活動等を通じ、青少年の健全育成を図った。 【課題】 ・快適に利用できるよう、経年劣化した設備について計画的に補修して場内設備環境を整える必要がある。また、今後も利用者が安心して施設を利用できるよう感染症対策及び安定した運営について指定管理者と協議していく必要がある。 ・経年劣化による設備・備品等の修理が増加している。今後、アフターコロナの状況をふまえて、安定した運営について指定管理者と協議していく必要がある。

【20203】桂・安中青少年会館における子ども・保護者の活動場所・機会の提供

担当課	桂青少年会館・安中青少年会館
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年・児童の健全育成を図るため、「生きる力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」を目的とし、子どもや保護者のニーズに応えながら、市内の青少年児童を対象とし、通年平日の長期教室・土曜日及び長期休業中の短期講座として、学習会・文化教室・スポーツ教室・各種体験教室等多様な教室・講座を開催します。また、移動教室として、市内小学校へ出向き、工作教室を実施します。 ・青少年・児童の健全育成を図るため、「生きる力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」を目的とし、子どもや保護者のニーズに応えながら、知・徳・体のバランスを考慮し、体験を重視した各種教室・講座を実施します。また、移動教室として、家庭や学校では経験できない、創作する喜びを体感してもらうため、市内各小学校に出向き、講座を実施します。 ・子どもたちの健全育成と人権意識の高揚を目的として、市内の小学生を対象に、学習活動、伝承遊び、文化活動、工作活動、スポーツ活動等各種体験活動を中心とした小学生教室を開催します。 ・子どもたちの健全育成と人権意識の高揚を目的として、小学校低学年児童を対象に、学期中の平日の放課後や長期休業中に「低学年育成事業」(パレットクラブ)を実施します。 ・就学前の乳幼児とその保護者を対象に各種教室・講座を実施し、保護者の子育てを支援し、乳幼児の健全な成長を応援します。また、貸館利用等による乳幼児への遊びの場の提供や、教室参加を契機とした保護者同士の交流活動の促進を図ります。 ・子育てサークルや一般利用者への活動場所の提供や青少年及び幼児・児童とその保護者に対し、図書室等の開放を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や土曜日、長期休業中の青少年の活動の場として、短期講座・長期講座・体験学習等の活動を行い、市内の広範囲から小学生を中心に多くの参加があった。移動教室として、市内小学校(13校)へ出向き、工作教室等を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止とした。[※別表参照] ・市政だより、学校へのチラシ・ポスターの配布、ホームページ等さまざまな形で情報提供を実施した。 ・知・徳・体のバランスを考慮した通年教室及び土曜・長期休業中の教室・講座を実施した。また、小中学生等を対象とした学習会を実施した。[※別表参照] ※移動教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止とした。 ・月曜日から金曜日までの放課後と長期休業中の活動として、自学自習の活動、遊びを通じた活動・生きる力を育てる活動・人権感覚を養う活動・交流活動、伝承遊びの継承等を実施した。また、お楽しみ会や、文化活動、異文化交流、人権学習「個性」を実施した。[※別表参照] ・学習・工作・スポーツ・人権・国際理解等、さまざまな体験活動を通し、児童の健全育成を図った。[※別表参照] ・1歳未満の乳児を対象にしたベビー教室、1歳から就学前の幼児を対象にした親子幼児教室、3歳から就学前の幼児を対象にしたファミリー教室、4歳から就学前の幼児を対象にした長期教室としてウクレレ教室を実施した。また、交流・遊びの場としてプレイルーム開放や、子育てサークルへの貸館を実施し、親子及び保護者同士のコミュニケーションの促進を図った。[※別表参照] ・子育てサークルを対象とした貸館事業を実施し、親子及び保護者同士のコミュニケーションの促進を図った。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握に努め、外部講師や企業の出前講座等を積極的に活用した結果、多種・多様な教室・講座を実施し、多様な学習及び社会体験の機会を提供した。 ・青少年・児童の「生きる力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」に寄与した。 ・新型コロナウイルス感染症対策をしながら、児童の経験・体験の機会を増やすため、上記を一例としてさまざまな活動を実施した。 ・子どもたちの健全育成と人権意識の高揚に寄与した。 ・乳児向け教室・幼児教室や貸館を実施した結果、教室や貸館利用を通じて保護者同士の交流活動を促すことにつながった。 ・親子及び保護者同士のコミュニケーションの促進、青少年及び幼児・児童の居場所づくりに寄与した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生だけでなく中学生・高校生・青少年のニーズに対応した講座を増やし、利用者の年齢層の幅を拡げる必要がある。 ・青少年施設として幅広い年代の児童・青少年に利用してもらうため、より利用者のニーズに対応した教室・講座を実施するため、教室内容の充実や外部講師の発掘、ボランティアやNPO団体、民間企業との連携・協働等を進めていく。 ・事前・事後指導等の充実を図り、より有意義な事業展開を行う必要がある。また、地域との連携や、保護者との信頼関係等について、より一層の強化に努めるとともに、多種多様な利用者のニーズに対応した活動を実施するため、外部講師の発掘、NPO団体や民間企業等との連携・協働等を推進する必要がある。 ・児童の経験・体験の機会を増やすため、上記を一例としてさまざまな活動を実施したが、事前・事後指導等の充実を図り、より有意義な事業展開を行う必要がある。また、地域との連携や、保護者との信頼関係等について、より一層の強化に努めるとともに、多種多様な利用者のニーズに対応した活動を実施するため、外部講師の発掘、NPO団体や民間企業等との連携・協働等を推進する必要がある。 ・在宅で子育てする家庭の子育てに対する不安や負担感を仲間作りにより解消するための教室であるため、より参加しやすいように定員や教室数の増加を検討する必要がある。 ・子育て支援を推進するために、子育てサークルや一般利用者が親子でふれあえる場所にしていくため、教室やイベントと合わせた部屋の活用方法など、今まで以上に利用しやすい形態を考えていく必要がある。

【20204】青少年センターや桂・安中青少年会館における中高生の居場所の提供

担当課	生涯学習課・桂青少年会館・安中青少年会館
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターを活用した中高生向け講座を実施し、多様な学習機会や活動機会を提供します。 ・八尾市在住・在学の中高生に学習の場として、講座室を提供します。 ・中学生学習会の実施や中高生を対象とした夜間の貸館による中高生の居場所づくりを実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターにおいて中学生向け講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止とした。 ・中学生や高校生等に向けて、学習の場を提供した。 ・中学生や高校生向けのパソコン講座[実施回数 37回、参加人数 143名]の実施及び自学自習の場[実施回数 47回、参加人数 61名]の提供を実施した。 ・中学生学習会を実施した。[実施回数 81回、参加人数 769人] ・中高生を対象とした居場所づくりを目的として、夜間に無料で部屋の利用提供を実施した。(利用者なし)
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生にかかる講座について検討した。 ・パソコン講座の実施や自学自習の場を提供することにより、中高生の居場所づくりの一役を担った。 ・中高生を対象とした居場所づくりに寄与した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生にとって魅力ある講座内容やニーズについて、検討していく必要がある。 ・学習ルームの利用者増加に向けた周知方法の検討が必要である。 ・利用日時の変更や近隣中学校や市内公立高校へチラシの配架や掲示を依頼するなど周知をしたが、利用に結びつかなかったため、利用してもらえるようにさらなる検討が必要である。

【20205】小・中学校体育施設の開放によるスポーツ・レクリエーションの活動場所の提供

担当課	文化・スポーツ振興課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのスポーツ・レクリエーション活動と振興を図り、青少年健全育成事業の一環として、学校体育施設開放運営委員会の運営のもと市内の小・中学校の体育施設を開放します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小・中学校43校の体育施設を開放することで、子どもたちの自主的なスポーツ・レクリエーション活動の促進と地域コミュニティの活性化が図られた。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自主的なスポーツ・レクリエーション活動の促進と地域コミュニティの活性化が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、開催中止や縮小された大会やイベントはあるものの、徐々に元に戻りつつある。感染防止を図りつつ多くの参加者にスポーツの活動する機会を提供できるよう、学校体育施設運営委員会と協力していく必要がある。

【20206】社会体育振興事業による子ども同士の親睦・活動機会の提供

担当課	文化・スポーツ振興課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生軟式野球イベントや市民体育大会等を通じて、青少年のスポーツ振興とともに、子ども同士の親睦や活動機会を提供します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動等の開催を通じて、子どもたちが自主的にスポーツに親しみ、住民相互の連帯を深め、健康・体力づくりが図られた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自主的にスポーツに親しみ、住民相互の連帯を深め、健康・体力づくりが図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施種目、回数等、子どもたちのニーズの把握が必要である、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、開催中止や縮小された大会やイベントはあるものの、徐々に元に戻りつつある。感染防止を図りつつ多くの参加者にスポーツの活動する機会を提供できるよう、関係団体と協議する必要がある。

【20207】子どもが安心して集える居場所づくり

担当課	こども若者政策課
事業内容	・すべての子どもたちが健やかに生活できる環境の充実を図ることを目的に、子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通じた安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、経費助成を実施します。
令和4(2022)年度実績	・居場所づくりを行う9団体に対して補助金を交付することにより、子どもたちが地域のなかで安心して過ごせる居場所を確保し、地域の人々や大学生など身近な大人との関わりを通して、豊かな人間性を育むことに寄与した。また、コロナ禍の対応として、居場所を開設できない場合は弁当配布についても補助対象とし、必要なニーズに柔軟に対応することができた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・居場所づくりを行う団体に対して補助金を交付することにより、子どもたちが安心して過ごせる居場所の安定的な運営を支援し、子どもたちが健やかに生活できる環境の充実に寄与した。 【課題】 ・実施団体が把握する子どもたちの悩みや課題などを情報共有し、課題解決に向け、必要な支援へつなぐことができるような仕組みづくりを検討しながら進める必要がある。また、感染症対策を徹底し、安心・安全な取り組みを進めていく必要がある。

2. みんなで支える、地域が主体の子育ち・親育ちのしくみの充実	
2-3 子育て支援のネットワークづくりの充実	
【20301】こども総合支援センターの整備	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・市民が利用しやすい相談体制の充実をめざし、妊娠期を含めた0歳～おおむね18歳までの子どもの育ちにに応じた切れ目のない支援を推進する拠点の整備を進めます。
令和4(2022)年度実績	・切れ目のない支援の実施のため、庁内の相談支援体制等の検討会議を開催し、保健・福祉・教育の各分野の連携強化を図り、令和4(2022)年10月にこども総合支援センターの開設を行った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・一人ひとりに光が当たる切れ目のない支援の実現をめざし、子育ての不安や悩みの一元的な相談窓口の機能を備えた「八尾市こども総合支援センター」の整備を行った。 【課題】 ・切れ目のない支援強化のため、今後も引き続き、保健・福祉・教育の各関係機関との連携強化を図っていく必要がある。
【20302】地域子育て支援拠点の充実	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・利用者の相談に対応するため、スタッフの研修の充実を図るとともに、専門的知識を持つ相談員の協力を受ける等、相談体制の充実を図ります。
令和4(2022)年度実績	・日常の交流事業の中で、相談体制の強化が図れるようスタッフへの集合研修を実施した。また外部にて実施の研修へも参加し、子育て支援の知識の向上を図った。また地域子育て支援拠点事業同士の連携を深めるため、交流会を開催した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・内外の研修に参加し、子育て世帯への相談体制を強化した。 ・拠点事業者間の連携を深めることで、より地域の子育て世帯の支援を深めることができた。 【課題】 ・事業に参加されない子育て世帯が課題を抱えている可能性があるため、情報発信の方法を検討し、必要な支援につなげていくことが課題である。
【20303】子育てサークル等のつながりづくりの支援	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・地域の子育て力の向上を図るために、子育てサークルへの情報提供と子育てサークルの自主的なネットワーク化への支援を行うとともに、子育てサークルの活動の場所として、施設等の貸し出しを実施します。 ・子育て家庭同士の交流や公園等地域へ出向くことにより、子育て家庭と地域がつながる仕組みづくり、子育てサークル等の育成・支援を行うことを通じて、子育て支援のネットワークづくりの充実を図ります。
令和4(2022)年度実績	・子育てサークル活動の場所として、施設や玩具などを貸し出し、活動が活発になるよう支援した。 ・子育てサークルの意義などを伝え、サークルを作り意欲的に活動できるよう、情報提供などを実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新規の子育てサークルを立ち上げ、自主的な活動を行えるよう保護者支援をすることができた。 【課題】 ・引き続き、活発なサークル活動が行えるよう、サークル利用に関する情報の周知に工夫が必要である。
【20304】母子保健地域組織育成事業による地域住民の活動支援	
担当課	健康推進課
事業内容	・地域住民の活動支援を通じて、母子保健の知識普及と地域活動の活性化を図り、子育て家庭の育児不安軽減につなげます。
令和4(2022)年度実績	・地域での健康教育や育児相談を行うことで、子育て家庭の育児不安軽減につなげた。 [参加延人数 1,035人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域の子育て家庭の育児不安軽減等の支援につなげた。 【課題】 ・健康教育や育児相談を切り口に、地域資源につなぎ、地域の中で子育てができるよう支援を継続する。

【20305】地域の読み聞かせボランティアの育成

担当課	生涯学習課
事業内容	・子どもの読書活動の向上のため、ボランティア団体によるイベント等の開催をします。また、ボランティアによる図書館業務のサポートの拡充を図ります。
令和4(2022)年度実績	・子どもの読書活動向上及びボランティアによる図書館業務のサポート拡充を図るため、以下の取り組みを実施した。 ・各団体からの相談対応、各団体へのバックアップの継続実施。 ・団体・個人のボランティア登録を継続実施。 ・ボランティアによる図書館業務(朗読)のサポート。 ・ボランティア団体を紹介する冊子を作成し、図書館内で活動内容のPRを実施。 ・ボランティア団体連携のもと、おはなし会を実施。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、定員縮小等を余儀なくされたが、ボランティア団体連携のもとおはなし会を実施することができた。ボランティア登録や活動相談等は継続して実施した。 【課題】 ・子どもの読書活動の向上を図るため、引き続き、ボランティアとの連携・協力が必要である。

【20306】PTA協議会活動の支援

担当課	生涯学習課
事業内容	・子どもの健全育成に強く関わる保護者のPTA活動を円滑に進めるために、八尾市PTA協議会事務局として支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員会をリモート参加のハイブリット形式で実施、主催事業についても動画配信するなど形式を変更して実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、主催事業を動画配信とし、形式を変更して実施した。 【課題】 ・子どもたちを取り巻く諸課題の解決に向け、保護者への研修・啓発が必要である。

【20307】地区集会所、小学校区集会所を活用した子育て支援の活動促進

担当課	コミュニティ政策推進課
事業内容	・自治会等が実施する地区集会所の整備(用地取得、新築、購入、建替え、増改築等、耐震診断)及び自治会等が負担する家賃等に対する補助金を交付し、自治活動の拠点整備の推進と活発な市民活動の促進を図ることによって、子育て支援ネットワークづくりの充実をめざします。 ・地域活動の拠点施設として小学校区集会所を整備し、活発な市民活動の推進を図ることによって、子育て支援ネットワークづくりの充実をめざします。
令和4(2022)年度実績	・地区集会所整備補助金として、増改築等に8か所に交付した。また、地区集会所家賃等補助金として、家賃に3か所、地代に6か所に交付した。補助金の交付を受けた地区集会所については、現地訪問や役員からの聴き取り等により、いずれも、会議、サークル活動、教室、子育て及びその他地域活動の拠点施設として有効活用されている。 ・小学校区集会所については、現地訪問や役員からの聴き取り等により、いずれも、会議、サークル活動、教室、子育て及びその他地域活動の拠点施設として有効活用されている。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・当該補助金制度を利用された地区集会所において、子育て及び地域活動の拠点施設として有効活用されている。 ・小学校区集会所の機能更新により、子育て及びその他地域活動の拠点施設として有効活用されている。 【課題】 ・地区集会所の利用については、地域が主体となり、広く進めていくことが必要である。 ・小学校区集会所の利用については、地域が主体となり、広く進めていくことが必要である。

【20308】子育て支援広場「はとぽっぽ」の実施支援

担当課	地域共生推進課(社会福祉協議会)
事業内容	・民生委員児童委員が、子育て中の親子の交流の場を設定し、地域における子育て支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、1年間中止した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・令和元(2019)年度末現在12地区で実施しており、引き続き全地区(16地区)での実施をめざしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、令和2(2020)年度以降中止が続いている。 【課題】 ・感染症予防対策を講じながらの子育て支援広場にリニューアルしていくために参加人数や対象年齢を再検討している。 ・リニューアルに向けて、令和4(2023)年度に社会福祉協議会による低年齢児と保護者を対象とした「あかちゃんひろば」をモデルとして開催し、主任児童委員も参加し、今後地域で実施する際の参考とした。

【20309】高齢者ふれあい農園における世代間交流の実施

担当課	高齢介護課
事業内容	・高齢者の生きがいづくりに寄与するとともに、地域でのつながりや支えあいを大切にするために、農作物の収穫を通じて地域内での高齢者と子どもとの交流を進めます。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルスの感染状況を見ながら活動を行い、幼稚園、認定こども園、保育所(園)、小学校等とふれあい交流事業を実施し、対象者約1,500人が参加した。また、交流ができなかった農園などでは収穫した作物を地域の子どもに提供した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ふれあい交流事業を実施することにより、子どもと高齢者との世代間交流ができる場となっている。子ども達は農作物の収穫などを通じて農や食への関心を高めることができた。 【課題】 ・各高齢者ふれあい農園の空き区画を解消し、より多くの高齢者が地域の子どもとの世代間交流を図る必要がある。

【20310】地区福祉委員会など共助の取り組みの推進

担当課	地域共生推進課
事業内容	・第4次八尾市地域福祉計画に基づき地域福祉を推進することによって、本市の総合計画に掲げる地域福祉の推進と福祉サービスの提供の充実を図る。また、子育て支援活動や子どもたちの登下校時の見守り活動、世代間交流などを行っている地区福祉委員会の活動などをはじめとする共助の取り組みを進めます。
令和4(2022)年度実績	・第4次八尾市地域福祉計画の推進を図るため、計画の評価項目の進捗状況の点検及び評価を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・「第4次八尾市地域福祉計画」の推進を図るために各基本目標の進捗状況の点検及び評価を実施した。 【課題】 ・本市の地域福祉の推進にあたり、第4次八尾市地域福祉計画の進捗管理に加え、一体的に推進していく八尾市社会福祉協議会の八尾市地域福祉活動計画についても進捗状況を諮っていく必要がある。

2. みんなで支える、地域が主体の子育ち・親育ちのしくみの充実

2-4 家庭教育の充実と地域の教育力の向上

【20401】家庭の教育カレベルアップ事業の実施

担当課	教育センター
事業内容	・学校及び地域、関係諸機関との連携のもとに、児童・生徒が抱える諸課題に早期対応することで、子育てに悩みや不安を抱く家庭の支援を通し、総合的な家庭の教育力の向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・学校に対しスクールソーシャルワーカーや訪問相談員の配置を実施した。また、スクールソーシャルワーカーによる校内研修、家庭教育支援コーディネーター会議の開催を通じて、家庭の教育力向上を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・課題を抱える子どもへの援助を通じて子ども本人や保護者を支援するとともに、教職員の子ども理解を深め、課題の早期発見・早期対応をめざし、校内教職員研修により、課題解決に向けた福祉的視点からのアプローチの方法や支援の在り方、組織としての対応について理解を深めた。 【課題】 ・引き続きスクールソーシャルワーカーによる研修等を活用し教職員の気づきを促すことで、子どもが抱えるさまざまな課題への早期発見・早期対応を推進する必要がある。

【20402】家庭教育支援事業の実施

担当課	生涯学習課
事業内容	・各地域で顕在化している家庭教育や子どもの育ちに関する諸課題を認識し、その解決に向けて行動を起こすきっかけづくりとなる場を提供します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、実施回数が減ったものの、各小学校と保護者とが連携のもと、各地域で顕在化している家庭や子どもの育ちに関する諸問題を認識し、解決に向けた学びの場を提供した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・各小学校と保護者とが連携のもと、各地域で顕在化している家庭や子どもの育ちに関する諸問題を認識し、解決に向けた学びの場を提供した。 【課題】 ・各地域で顕在化している家庭や子どもの育ちに関する諸問題の解決に資する講座を実施できる講師の情報を把握する必要がある。

2. みんなで支える、地域が主体の子育ち・親育ちのしくみの充実

2-5 子どもの安全の確保と子どもに配慮したまちづくりの推進

【20501】地域による子どもの安全確保の推進

担当課	生涯学習課
事業内容	・地域の子どもは地域で守り、子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するため、青少年指導員による街頭啓発をはじめ、こども110番運動や青少年を守る店等の推進を図ります。
令和4(2022)年度実績	・地域内での子どもの安全確保の一環として「こども110番の家」の旗の掲出協力依頼し、啓発を推進した。また、子どもの登下校中の事件・事故を防止するため、各地区で「子どもの安全見守り隊」を結成し、青色回転灯パトロール等による安全確保に努めた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・こども110番の家や子どもの安全見守り活動の実施により、子どもの安全確保を図った。 【課題】 ・こども110番の旗の掲出に理解を求め、より多くの家庭や事業所に旗やシールの掲出・貼付の実施や周知をさらに行っていく必要がある。

【20502】小学生対象の消費者教育の実施(こども消費者教室)

担当課	産業政策課
事業内容	・子どもの頃から消費生活にかかる見識を深め、悪質商法や詐欺など消費者トラブルに遭わないような自立した消費者の育成を目的として、市内の小学生を対象として、消費生活問題をはじめ、環境や食生活などの消費生活に関するさまざまな内容をテーマとした講座「こども消費者教室」を開催します。
令和4(2022)年度実績	・市内の小学生を対象に、消費生活に関するさまざまな内容をテーマとした講座「こども消費者教室」を開催した。 [開催日 令和4(2022)年7月26日(火)～28日(木)、延べ参加者数 47人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・市内の小学生を対象とした講座を開催し、自立した消費者の育成を図った。 【課題】 ・今後も引き続き目的の実現のために有効なカリキュラムを検討していく必要がある。また、参加者数確保のための広報を推進していく必要がある。

【20503】通学路交通安全プログラムに基づく取り組み推進

担当課	土木建設課
事業内容	・通学路交通安全プログラムに基づき、安全対策工事を計画的に進めます。
令和4(2022)年度実績	・通学路交通安全プログラムに基づく合同点検等において、抽出した危険箇所において交差点のカラー化(9か所)や、路側帯のカラー化(約2,433.2m)等の安全対策工事を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・限られた空間のなか、通学路の安全対策として、路面のカラー舗装化等による安全対策を実施した。 【課題】 ・用地買収等による歩道整備は困難であり、今後、限られた空間のなかで安全対策が必要である。

【20504】防犯灯、防犯カメラの整備促進による犯罪・事故等の防止

担当課	危機管理課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全なまちづくりの推進に向け、犯罪・事故等の防止のために町会で管理・運営している防犯灯へ各種補助金支援を実施します。 ・第3次やお防犯計画に基づき、防犯事業を推進します。また、幹線道路等の犯罪発生率の高い場所への防犯カメラ設置を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・安全なまちづくりの推進に向けて、以下のとおり各種啓発事業及び補助金支援を実施した。 ・防犯灯新設補助事業 56灯 ・防犯灯取替補助事業 357灯 ・特別防犯灯新設補助事業 0灯 ・防犯灯電気料金補助事業 20,213灯 ・市民等からの寄附金を活用し、警察と連携して犯罪発生率の高い場所や通学路等へ防犯カメラを新たに6台設置するとともに、耐用年数を過ぎた防犯カメラについては、更新かつリース化を図り、市の防犯カメラを整備した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会の防犯活動を支援することで、地域における安全を向上させることができた。 ・警察と連携し、幹線道路や通学路等に新たに防犯カメラを設置するとともに、耐用年数を過ぎた防犯カメラについては更新や設置箇所の見直しを行うことで、地域における安全を向上させることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会加入率の低下等により、町会費における防犯灯の維持管理費の負担が増大しており、市内の明かりを継続していくため、持続可能な制度の検討を進めている。 ・特になし。

【20505】交通安全教育の推進

担当課	都市交通課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども等を対象にした交通安全教室を開催し、歩行時や自転車利用時などの交通ルールやマナーをしっかりと守るよう指導します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校及び就学前施設61か所において、交通安全教室を111回開催した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに正しい交通ルール・マナーを意識してもらうことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室については、集団での開催となるため、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながらの実施となった。また、教室実施日について、開催を希望する全ての学校園の希望日にそえないため調整が必要である。

【20506】地域における防犯に対する啓発の実施

担当課	危機管理課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での子ども安全確保に向け、地域住民の防犯意識の向上を図るために、街頭犯罪に関する防犯速報を発行し、出張所等へ掲出します。 ・地域の安全・安心なまちづくりを担う各種団体等に対して、市内の犯罪発生・防犯に関する現状や地域安全への取り組み内容を啓発するために、地域安全推進会議を開催します。 ・市役所前・地域でのイベント・大型スーパー等を中心に、警察や市民と連携し、自転車のひたくり防止カバーの取付けや防犯教室をはじめとする防犯啓発活動を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、例年実施している啓発事業は概ね全面的に中止としたが、春及び秋の地域安全運動において、アリオ八尾2階の八尾市情報発信コーナーにおいて防犯啓発ブースを設け、広く市民への啓発を図った。また、「女性被害防止キャンペーン」として、駅改札前において大阪経済法科大学の学生防犯隊や八尾警察署と共に、駅を利用される女性の方に対して防犯ブザーと啓発チラシの配布を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体や警察と連携しながら、市民に対して広く防犯啓発活動を実施することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪件数は、依然として大阪府内での順位が高い状況にあり、かつ、自転車盗の増加と特殊詐欺の増加により、前年度に比べ件数が増加しているため、引き続き、地域や警察と連携した防犯の取り組みが必要である。

【20507】防災に対する啓発の実施

担当課	危機管理課・消防本部予防課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会等の積極的な実施や防災イベント等の啓発活動を行い、自主防災組織の結成促進及び既存組織への活性化支援を積極的に進める。また、災害対策基本法に基づき、地域住民が主体となって策定する地区防災計画の策定支援を行い、地域防災力の向上を図る。 ・火災の発生を未然に防ぎ子どもたちが安全で安心して暮らせるよう、子どもたちに向けて、火災の怖さや正しい火の取り扱い方法等の指導をはじめとする防火防災全般の啓発を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する啓発による自主防災組織の結成・育成の推進に向けて、以下のとおり各種取り組みを実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、冊子の提供や啓発DVDの貸出、アドバイスなどにより啓発を実施した。 ・花火の正しい取り扱い方法及び火遊びによる事故防止についての防火指導を幼稚園、認定こども園等に対して実施した。小、中学校及び参加できない園には、花火の正しい取り扱い方法及び火遊びによる事故防止についての動画(八尾市公式YouTubeチャンネル)を活用して防火指導をしていただくよう依頼した。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の高揚と地域防災力の向上につながった。 ・子どもたちに花火の正しい遊び方や火災の怖さを伝え、花火による火災や火遊びによる事故を未然に防ぐことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動により防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の結成率向上と育成に努め、地域防災力の向上をめざす必要がある。また、防災イベント等への子どもの参加が少ないことから、参加しやすく、楽しめるような工夫をする必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症がまん延している状況下では、対面及び密集が想定される啓発活動を行うことができないため、これまでとは異なる啓発方法の検討を行う必要がある。 ・幼児期からの子どもの成長段階に合わせた幅広い防火・防災教育を実施し、効率的、効果的な防火・防災教育の充実を図る必要がある。

【20508】就学前施設・小学校等での安全対策の推進

担当課	保育・こども園課・学校教育推進課・教育政策課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園及び認定こども園等において、不審者の侵入を未然に防止するために、安全対策推進員を配置する等により児童の安全を確保します。 ・子どもが安全に通学できる地域環境を確立するために、スクールガード・リーダーを委嘱し登下校時の巡回指導等を実施します。また通学路の危険箇所への対策を関係機関及び市関係各課と連携し実施します。 ・犯罪の抑止力、死角となる場所の監視、外部からの侵入防止、校門付近での安全確保を図るために、学校における人員配置等を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園39か所、私立保育所12か所、私立幼稚園1か所にシルバー人材センターからの派遣または直接雇用による安全対策推進員を配置し、登降園時における児童の安全の確保に努めた。 ・市内各校区にスクールガード・リーダーを派遣し、地域社会全体で学校安全に取り組む体制づくりを支援するとともに、登下校時の巡回指導及び子ども安全見守り隊に対する助言等を実施した。また、土木関連部局や八尾警察署と連携し、通学路の安全対策事業を実施した。 ・小学校、義務教育学校の校門付近において安全対策員を配置した。 [小学校27校、義務教育学校1校]
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者、地域、関係課、関係機関連携のもと、通学路の安全対策の強化を図れた。 ・スクールガード・リーダーの活動が、学校や地域に受け入れられ、子どもを含め地域での通学時の安全意識が高まり、良い効果を及ぼしている。また、通学路の安全対策として、路面のカラー舗装化等による安全対策を実施した。 ・安全対策員を配置することで、児童の安全確保を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の見直しも含め、関係機関と連携した継続的な通学路点検が求められている。 ・通学路安全対策事業は、該当箇所が多く、また物理的にも対策が困難である箇所が多く存在する。そのため、車両への注意喚起の他、児童への交通指導、地域の見守りの協力強化がより必要になっている。 ・安全対策のあり方及び、地域と連携した安全対策の検討を行う必要がある。

【20509】学校における非行防止教室の実施

関連事務事業	生徒指導対策事業
担当課	学校教育推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年において、八尾警察、八尾少年サポートセンターとの連携のもと、非行防止教室を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の多様化を受け、子どもたちが加害者にも被害者にもならないよう連携を図った。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校で実施し、児童が犯罪に巻き込まれないよう具体的な対策について周知を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑化する犯罪に対し、内容を日々アップデートしていくことが必要である。

【20510】自主防災組織の訓練指導、応急手当訓練指導の実施

担当課	消防署 第1警備課・第2警備課・消防署 救急課
事業内容	・地域で行う自主防災組織等の訓練に子どもたちの参加を働きかけ、初期消火訓練や煙中体験訓練、応急手当訓練などを体験することにより、子どもたちの防火・防災意識の高揚に努めます。 ・市民に対し、応急手当訓練等を実施し救命率の向上を図るとともに、子どもや保護者に向けて、応急手当イベント・防災体験時に、応急手当訓練などを実施します。
令和4(2022)年度実績	・自主防災組織は令和4(2022)年度末で54組織が結成されており、59回の訓練を実施した。 子どもたちは、家族や友達とともに自分たちの地域で行われた自主防災組織訓練等に参加し、初期消火訓練などの各種訓練を実体験でき、防火・防災意識の向上が図れた。 ・防火防災フェアにおいて、子どもや保護者に応急手当訓練を行い、各就学前施設、小学校、中学校等に応急手当講習DVDや訓練人形、AEDの貸し出しを実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中、地域の訓練に参加し、防火防災意識の向上が図れた。 ・防火防災フェアにて、応急手当訓練を実施し、また各種資器材等を貸し出し自主的な取り組みを促したことで、心肺蘇生法の普及啓発が図られた。 【課題】 ・一部地域では、新型コロナウイルス感染防止対策として、実動訓練が実施できていないため、引き続き自主防災組織訓練や応急手当訓練指導を通じ、子どもたちへの防災意識の高揚を図る必要がある。 ・今後は子どもの集まるイベントに出向いて応急手当訓練を実施し、子どもの安全確保の推進に努める必要がある。

【20511】「赤ちゃんの駅」の登録推進と情報提供の充実

担当課	こども若者政策課
事業内容	・子育て中の親子が安心して外出できる環境を整備するために、授乳やおむつ替えのできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、広く情報提供を行うことで、地域で子育てを支えるまちづくりを進めます。
令和4(2022)年度実績	・登録基準に該当する施設を「赤ちゃんの駅」として登録を行い、市ホームページや「生活応援アプリ やおっぷ！」を活用した利用促進を実施した。[登録施設 52施設][※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・登録施設の増加とさまざまな媒体を介した周知・利用促進により、子育て中の親子が安心して外出できる環境の充実に寄与した。 【課題】 ・民間施設の登録増加を図るために、登録制度の周知を引き続き行うとともに、より効果的な周知方法を検討する必要がある。

【20512】大阪府特定優良賃貸住宅の情報提供

担当課	住宅政策課
事業内容	・国や地方公共団体等が家賃額と入居者負担額との差額を一定期間補助し、中堅所得者層向けの良質な賃貸住宅の供給を図る事業について、その普及を図るため、入居申し込みや受付住宅等を子育て世代をはじめとする市民に対して情報提供を実施します。
令和4(2022)年度実績	・子育て世代に配慮したまちづくりの促進のため、案内兼申込用紙を窓口を設置し、子育て世代をはじめとする市民に対して情報提供を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・申込者が来庁された際に申込に必要な書類について提供することができている。 【課題】 ・パンフレットや申込用紙の入手のため来庁されても、事業主体・情報発信先が大阪府やURであるため、詳細な説明は市役所ではできず、不便に感じている利用者がある。また、パンフレットを受け取ってもらう機会が少ない。

【20513】多様なニーズに対応する住情報の提供

担当課	住宅政策課
事業内容	・住宅マスタープランにおいて重点施策の一つに位置づけられている住情報・住教育の推進を実施します。住まいやまちづくりに関し、多様な世代や世帯に対応した住まいに関する情報の提供に力をいれ、快適で住み続けたいようなまち、住宅づくりを促進します。
令和4(2022)年度実績	・住情報・住教育を推進し、子育て世帯も含めた多様なニーズに対応するため、展示会・リフォーム体験教室・建築相談等を実施した。 [建築士・弁護士による建築相談利用件数 32件、親子で楽しむリフォーム体験教室 参加子ども人数 11名、展示会『仰天60年前の八尾のまち』来場者 延べ727名]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・住情報・住教育についての事業を継続して実施した。 【課題】 ・NPO等と連携し、地域や学校において住まい・まちづくり学習の機会を提供し、八尾らしい住まいや住文化を継承していく取り組みを進めていく必要がある。

【20514】安全で安心して通行できる道路空間等の整備

担当課	土木建設課
事業内容	・市民が安全で快適に生活道路を通行できるよう、交通安全施設等の整備を行います。
令和4(2022)年度実績	・水路暗渠化による歩行空間の確保や自転車通行空間の整備等、交通安全施設の整備を行った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・限られた空間の中、公共用地の活用による歩道整備等による安全対策により、市民生活の利便性・安全性を向上させることができた。 【課題】 ・用地買収等による歩道整備は困難であり、公共用地(水路敷等)の活用を図っていく必要がある。

【20515】市民ニーズを考慮した地域の公園の整備

担当課	土木建設課
事業内容	・子どもから高齢者まですべての公園利用者の安全で憩える空間の創出及びバリアフリー化等、市民のニーズを考慮した地域の公園として整備を実施します。
令和4(2022)年度実績	・遊具の設置や入口のバリアフリー化等、全体で18公園の整備を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・公園施設整備を行うことで、子どもに配慮したまちづくりの推進に寄与した。また、整備後の情報をホームページに公開することで、子どもたちに広く公園情報の提供を実施することができた。 【課題】 ・市民のニーズが多様化(高齢者向けの健康遊具等)する一方、限られた予算とスペースの中で全てのニーズを満たすのは難しいため、ニーズの取捨選択及び市民の合意形成が必要である。

【20516】公共施設の子育てバリアフリー化の推進

担当課	総務課
事業内容	・子育てバリアフリー化の推進のために整備した庁舎について、引き続き維持管理することで、子育て世代等が安心かつ快適に利用できる市役所をめざします。
令和4(2022)年度実績	・授乳室・おむつ交換台・ベビーチェアや多目的トイレ等、子育て世代等に配慮した設備の維持管理を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子育て世代等に配慮した設備を維持管理することで、子育てバリアフリー化を推進することができた。 【課題】 ・子育て世代等が安心かつ快適に利用できる市役所をめざし、引き続き維持管理していく必要がある。

【20517】市営住宅における新婚・子育て世帯優先入居

担当課	住宅管理課
事業内容	・市営住宅の空家入居募集において、ひとり親世帯を住宅困窮度評定の加算項目としています。また、子育て世帯の入居募集を一般世帯向け募集とは別に募集枠を設けており、3回以上落選された方については、優遇倍率を適用します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市営住宅入居者募集における「子育て世帯向け住宅」の募集・申込を実施した。 [6月募集:「新婚・子育て世帯向け住宅」2戸、申込件数13件] [12月募集:「新婚・子育て世帯向け住宅」3戸、申込件数8件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・八尾市営住宅入居者募集における「子育て世帯向け住宅」の募集・申込を、6月・12月(年2回)実施できた。 【課題】 ・空家の状況に応じて募集枠を設定するため、安定的な募集が難しい面もある。

【20518】コミュニティセンター機能更新における子どもに配慮した施設整備の推進

担当課	各出張所、コミュニティ政策推進課
事業内容	・コミュニティセンターの施設の安全性・機動性を確保するための改修にあわせて、子どもに配慮した施設の整備を実施します。
令和4(2022)年度実績	・令和4(2022)年度実績なし。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子どもに配慮した施設整備により、子どもや乳幼児連れの保護者等がより一層安心して来館できるようになった。 【課題】 ・今後も引き続き、施設改修にあたっては子どもに配慮した施設整備を検討する必要がある。

2. みんなで支える、地域が主体の子育ち・親育ちのしくみの充実

2-6 ワーク・ライフ・バランスの推進

【20601】ワーク・ライフ・バランスの普及啓発

担当課	人権政策課
事業内容	・ワーク・ライフ・バランスの普及啓発を図る取り組みを実施します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市男女共同参画センター「すみれ」主催で啓発事業を実施し(家族みんなが笑顔になる「家族力アップ講座」)、講座を通じてワーク・ライフ・バランスの普及啓発を図った。 ・産前産後休暇・育児休業中の女性向けセミナーを開催し(子育ても仕事もプライベートも充実させたい 私のための産育休セミナー)、市内企業を中心に幅広く取り組みを周知することで、個々のライフステージに応じた働き方の啓発につなげた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・オンラインでの研修とすることで参加しやすい啓発を実施した。 【課題】 ・取り組みの成果を発信する等、さらなる啓発につなげる仕組みづくりが必要である。

【20602】勤労者法律相談の実施

担当課	労働支援課
事業内容	・労働条件や職場でのトラブルなど、勤労に関する疑問や不安について、弁護士・社会保険労務士による、月2回(毎月第2水曜日と最終土曜の午後1時～午後4時)の相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・労働条件や職場でのトラブルなどについて、弁護士・社会保険労務士による相談を実施し、勤労に関する疑問や不安の解消を図るとともにワーク・ライフ・バランスの推進に寄与した。[相談件数 52件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・弁護士や社会保険労務士を相談員として委嘱し、勤労市民が抱える不安やトラブルへの相談に対応した。 【課題】 ・相談を必要とする市民に、より多く事業を利用していただくため、さらなる広報を検討する必要がある。

【20603】労働情報やお発行

担当課	労働支援課
事業内容	・市内事業所や勤労者に、労働に関する各種情報提供や啓発推進を行うために「労働情報やお」を発行します。
令和4(2022)年度実績	・「労働情報やお」を発行し、八尾市企業人権協議会会員事業所ほか、市内事業所や関係機関に配架し、啓発を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・事業を実施することで、ワーク・ライフ・バランスの意識定着に寄与した。 【課題】 ・「労働情報やお」の他、ホームページの活用など、広く情報提供や啓発推進を行うための方策の検討をする必要がある。

【20604】特定事業主行動計画の推進

担当課	職員課
事業内容	・職員を雇用する事業主の立場から次世代育成支援対策推進法に定められた指針を踏まえ、職員が仕事と子育ての両立を通じワーク・ライフ・バランスの実現を図れるよう支援します。
令和4(2022)年度実績	・「いきいき職員通信」等において全職員に休暇制度を周知・啓発するとともに、男女共同参画研修等を通じて所属長に特定事業主行動計画後期計画の目標及び進捗状況等を説明するなど、各種休暇の取得促進に向けた個別への働きかけ及び組織的な取り組みを推進した。また、仕事と育児を両立しながらキャリアアップを図るため、復職支援の一環として産育休中職員を対象にオンライン交流会を関係課共催で実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・各所属と連携し、適性な業務管理のもと、職員が必要なときに休暇を取得しやすい環境づくりを推進した。 【課題】 ・令和4(2022)年10月1日に育児休業にかかる制度が改正され、男性が育児休業をより柔軟に取得できるようになったことを周知したが、この制度を含め、今後も継続して庁内職員に休暇に係る各種制度を普及・啓発し、希望する職員が希望通りに休暇を取得できる職場環境づくりに取り組む必要がある。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実	
3-1 次代の親の育成	
【30101】キャリア教育の充実	
担当課	学校教育推進課
事業内容	・「職場体験学習」を公共施設、商店、工場、小学校、中学校、そして幼稚園や保育所等で実施します。
令和4(2022)年度実績	・令和4(2022)年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より職場体験学習が実施できなかったが、各学校においては企業等の出前授業などを実施し、子どもに対して将来自分自身が社会の一員として働くことへの理解を深める機会を提供した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・職業教育を通じて、子どもたちに、社会の一員として働くことへの理解を深める機会を提供できた。 【課題】 ・各学校での事業所の確保が難しくなっている。
【30102】健康教育(性教育、がん教育、薬物乱用の防止教育などを含む)の推進	
担当課	学校教育推進課
事業内容	・子どもの発達段階に応じ、各学校で取り組みます。薬物乱用防止教室等の活用など、関係諸機関との連携の強化を支援することで、薬物乱用の防止教育を推進します。また、性教育やがん教育についても、正しい知識や生命を尊重する心を養い、健全で正しい考え方や行動ができるよう、指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	・八尾警察職員、少年サポートセンター職員、学校薬剤師等と連携を図り、各学校で薬物乱用防止教室等を開催し、薬物乱用防止教育の推進に努めた。また、各学校の取り組みの実態に合わせた安全に関する研修会を開催した。また、性教育やがん教育についても、学校独自の取り組みを実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子どもの発達段階に応じた各学校での取り組みの指導を行うとともに、関係諸機関との連携により、学校の実態や課題に正対したさまざまな取り組みを推進した。 【課題】 ・さらなる指導の充実のためにも、今後も関係諸機関との連携を強化し、学校教育活動全体を通じて継続指導していくとともに、コロナ禍で活動制限されていた取り組みの再開・改善を行っていく必要がある。
【30103】八尾の産業への理解を深める機会の提供	
担当課	産業政策課・学校教育推進課
事業内容	・小学生等に八尾の特色である「ものづくり」の認識を深めてもらう機会を提供するために、ものづくり企業と協力し、ロボット等を活用した出前授業を開催します。 ・学校の授業等において、八尾の特色である「ものづくり」について学習を深め、将来の八尾の産業を担う人材の育成につなげます。
令和4(2022)年度実績	・市内小学校や市内事業者・異業種グループ等との連携により、「小さなロボット博」を開催し、市内小学生に対して、ものづくりに触れる機会を創出する予定であったが、コロナ禍のため開催が見送られた。 ・八尾の特色である「ものづくり」についての学習促進に向けて、「出前授業・職業講話」「ものづくり企業への社会見学・ものづくり体験」を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・事業実施がすべて見送られたが、関係機関等と適宜情報共有を行うことで、事業の今後の方向性等について関係機関内で共通認識を持つことができた。 ・八尾の特色である「ものづくり」について学ぶ機会を提供することで、子どもたちの八尾の産業に対する興味・関心を高めることができた。 【課題】 ・市内事業者の中核を占める「ものづくり」への理解を促進するための機会をより多く創出・設定する必要がある。 ・関係諸機関との連携・協力のもと、学校現場がより一層活用しやすいような取り組みとしていく必要がある。

【30104】小学生、中学生が乳幼児とふれあう機会の提供

担当課	学校教育推進課・こども若者政策課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児への関心を深め、幼児の心身の発達と生活、それを支える家族の役割を理解するために、中学校において「職場体験学習」や技術・家庭科の時間の中で乳幼児との関わりについての学習を行います。 ・園児とのふれあいを通して、自分より年齢の低い子どもを慈しむ心を養い、将来の子育てや家庭を持つこと、子どもを生き育てることへの関心を高め、次代の親づくりの推進を図るため、認定こども園等での乳幼児とのふれあい体験を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・技術家庭の「家族と家庭生活」単元で乳幼児との関わりについて学ぶことで、子どもたちが次代の親として将来家庭を築くことなどを考えるきっかけをつくるよう取り組みを推進した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、事業を中止した。また事業内容において、子どもの密集・密接が避けがたい内容であるため、本事業の今後の実施は困難であり、令和2(2020)年度をもって事業を廃止した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術家庭科の時間の中で乳幼児との関わりについて学ぶことで、子どもたちが乳幼児への関心を深め、また、次代の親として将来家庭を築くことなどを考えるきっかけづくりを実施できた。 ・過去の乳幼児とのふれあい体験においては、多くの子どもたちの参加が実現し、子育てや家庭をもつこと、将来働くことへの関心を高めてもらうことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して乳幼児とのふれあいの取り組みが進められるよう、小・中学校間での情報交換や連携を強化する。 ・コロナ禍により実施できなかったふれあい体験を実施する。

【30105】大阪府との連携による結婚支援の推進

担当課	こども若者政策課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・育児の切れ目のない総合的な相談・支援の実現に向けた検討を実施します。また、次代の親となる子どもや妊娠・出産を希望する若者に対して、妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、次代の親の育成や少子化の対応を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・婚姻届を受け付ける際、大阪府と連携した大阪府下の協賛店でさまざまな特典サービスが受けられる「おおさか結婚縁ジョイパス」を配布した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府と結婚支援事業「結婚縁ジョイパス」を配布することにより、結婚を応援する機運の醸成を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、大阪府との連携による結婚支援の推進が必要である。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実	
3-2 子どもと親の健康増進	
【30201】保健師・保育教諭等の連携・協力体制の強化	
担当課	健康推進課・こども総合支援課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう、乳幼児のフォロー教室・地域での相談支援等を保健師と保育教諭が連携・協力して事業を実施します。 ・子育て家庭の状況をつかみ、地域子育て支援センター事業や認定こども園・保育所の地域交流事業での支援につなぐために、保健センターでの集団健診や連携事業へ保育教諭が参加し、育児相談、あそびの紹介や情報提供をします。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師・保育教諭等が連携・協力し、子育て世帯への支援を実施した。 ・健診や教室後に、地域子育て支援センター事業等を紹介し、保護者の子育て不安を軽減することに努めた。 ・4か月健診、1歳半健診に参加し、保護者の方に地域子育て支援センターの事業を周知したり、他の子育て支援事業の案内を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師・保育教諭等が連携・協力することにより、地域での相談先が増え、保護者の育児不安を軽減することができた。 ・健診の案内送付時にチラシを同封したことで、地域子育て支援センターの利用につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して子育てができるよう、今後も引き続き保健師・保育教諭等の専門職との連携・協力する必要がある。 ・コロナ禍での感染症対策のため、集団健診の場での支援の実施が難しくなっており、フォロー教室など、その他の機会において事業を周知し、支援につなげていく。
【30202】妊娠から出産後の支援の推進	
担当課	健康推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における切れ目のない妊娠・出産支援の強化として「母子保健相談支援員(助産師)」を配置し、従来のハイリスクの妊産婦等への支援に加え、より広く、妊産婦等全体を対象とする相談支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健相談支援員(助産師)を配置し、妊産婦等への相談支援を実施することで、妊娠期からの切れ目のない支援の推進を図った。[妊婦把握率 98.1%]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から、母子保健相談支援員(助産師)が妊産婦等を対象とする相談支援を実施することで、リスクのあるケースに対して早期に介入することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も妊産婦等の把握に努め、支援の必要な妊産婦等に対して、関係機関と連携し支援を実施していく必要がある。
【30203】妊産婦乳幼児健康診査の実施	
担当課	健康推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦や胎児の疾病予防など母子の健康保持を図るため、妊産婦健康診査等を実施し、必要な指導を行うとともに、保護者の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう支援を実施します。 ・乳幼児の疾病予防と健康保持を図るため、各種健康診査と相談・指導を行うことにより、保護者の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう支援します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健康診査及び乳幼児健康診査を実施し、母子の健康保持を推進するとともに、指導・相談のなかで保護者の育児不安の軽減を図ることができた。 ・出産後の心身共に不安定な時期にある支援が必要な母子に対して、心身のケアや育児の軽減を実施した。[産後ケア利用数 宿泊型 208件、デイサービス型 247件] ・乳幼児健康診査を実施し母子の健康保持を推進するとともに、保護者に指導・相談を行い育児不安の軽減を図った。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に母子保健相談支援員(助産師)による面接や電話等で妊産婦健康診査の受診勧奨や産後ケア事業の情報提供を実施した。保健事業案内等により事業周知を実施した。各種健康診査や相談・指導等により、保護者の育児不安を軽減することができた。 ・各種健康診査や相談・指導等により、保護者の育児不安を軽減することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育てを通して、切れ目のない支援ができるよう、妊産婦健康診査を勧奨し、支援の必要な母子に対して、関係機関と連携し、継続的な支援体制を整えていくことが必要である。 ・乳幼児健康診査について、今後も受診勧奨を行い、受診率の向上や全数把握に努める必要がある。

【30204】乳児家庭全戸訪問事業の実施

担当課	健康推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた適切なサービス提供に結びつけることによる、子どもの健やかな育成を図るために、すべての乳児がいる家庭を訪問し、不安や悩みを聞くことによって、親子の心身の状況や養育環境の把握と子育て関連の情報提供を実施します。 ・妊産婦の妊娠中毒症や未熟児出生等の予防を図るとともに、乳幼児を抱える保護者の育児不安の解消を図るため、妊娠中や出産後に保健師・助産師による訪問指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児がいる家庭を訪問し、親子の心身の状況や養育環境の把握と子育て関連の情報提供を実施した。また、4か月児健康診査以降は全数把握できている。[※別表参照] ・保健師・助産師による妊娠中や出産後の訪問指導を実施し、妊産婦の妊娠中毒症や未熟児出生等の予防と、保護者の育児不安の解消を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関連の情報提供及び乳児及び保護者の心身の状況や養育環境の把握を行うことで、必要な援助や相談を実施することができた。 ・妊産婦や乳幼児の健康増進及び保護者の育児不安を解消することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全数把握を行い、保護者の育児不安や虐待予防に努める必要がある。 ・保護者が安心して子育てできるよう、今後も引き続き、専門職の連携を行い、支援を実施していく必要がある。

【30205】妊産婦乳幼児家庭への訪問指導・保健相談の実施

担当課	健康推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦の妊娠中毒症や未熟児出生等の予防を図るとともに、乳幼児を抱える保護者の育児不安の解消を図るため、妊娠中や出産後に保健師・助産師による訪問指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師・助産師による妊娠中や出産後の訪問指導を実施し、妊産婦の妊娠中毒症や未熟児出生等の予防と、妊産婦・乳幼児の保護者に対して、子どもの疾病予防や育児知識についての育児相談を行うことで保護者の育児不安の解消を図った。[※別表参照。]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦や乳幼児の健康増進及び保護者の育児不安を解消することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待予防・発達フォロー等のための受診率・把握率の維持をしていく必要がある。 ・今後も、月齢に応じた育児の不安について、対応していく必要がある。

【30206】乳幼児育成指導の実施

担当課	健康推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の健全な発達を促し、保護者の育児不安の解消を図るため、経過観察が必要と判断された乳幼児に対して健診や相談教室などのフォロー事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・経過観察が必要と判断された乳幼児に対して健診や相談などのフォロー事業を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種健診・相談を実施することで乳幼児の心身の健全な発達を促し、保護者の育児不安の軽減することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も経過観察が必要と判断された乳幼児が継続して必要な事業を利用できるようフォローを継続し、適切な療育や関係機関等につなげる必要がある。

【30207】未熟児訪問指導等の実施

担当課	健康推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未熟児を持つ保護者の不安軽減を図り、未熟児の健康管理を行うために、未熟児に対し保健師・助産師が訪問し、養育上必要があると認められた場合、未熟児経過観察健康診査につなげる等の支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・養育上必要があると認められた未熟児に対し、保健師・助産師が未熟児経過観察健康診査や相談等を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養育上必要があると認められた未熟児に対し、必要な支援を行い、保護者の不安軽減及び児の健康増進を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して子育てできるよう、今後も引き続き、専門職の連携を行い、支援を実施していく必要がある。

【30208】母子健康手帳の交付

担当課	健康推進課
事業内容	・妊娠・出産・育児を通じて母子の健康増進を図るために、妊娠届により母子健康手帳を交付します。
令和4(2022)年度実績	・妊娠届出時に母子健康手帳の交付を実施した。母子健康手帳交付時に助産師や保健師による妊婦の面接を実施し、妊婦からの相談にも対応でき、若年妊婦などの支援を要する妊婦のフォローにも繋げることができた。[母子健康手帳交付数 1,719件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・母子健康手帳交付時に助産師や保健師による面接及び相談を実施し、若年妊婦などの支援を要する妊婦の状況や支援ニーズを把握することができ、必要な支援の調整、問題の早期発見や対応を実施することができた。 【課題】 ・母子健康手帳交付時の面接等を行い、妊娠初期より支援の必要な妊婦を把握するとともに、助産師等の専門職や必要に応じて関係機関と連携し、支援を行う必要がある。今後も把握率の向上に努める必要がある。

【30209】予防接種の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防ぎ、子どもの健康を守るため、予防接種を実施するとともに、予防接種についての啓発を実施します。
令和4(2022)年度実績	・予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施するとともに、先天性風しん症候群発生予防のため、風しんの抗体がない、妊娠を希望する女性とその配偶者及び妊婦の配偶者に対して、風しんワクチン等の接種費用助成を実施した。[※別表参照] ・新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザの併発による重症化防止、子育て世代の経済的負担軽減のため、重症化リスクの高い妊婦と未就学児、受験生等を対象にインフルエンザ予防接種費用の助成をした。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・予防接種についての啓発を行うとともに、定期の予防接種及び風しんワクチン等の接種費用助成を実施することで、疾病の発生及びまん延を防止した。 【課題】 ・保護者が予防接種による副反応の発生を懸念し、子どもの予防接種を希望しないケースがあるため、予防接種の安全性や有効性を理解してもらえるように周知するとともに、相談者が個別に抱える不安を確認したうえで丁寧に対応する必要がある。子どもの接種履歴管理は母子健康手帳になるため、紛失等で接種の有無や接種時期が確認できず接種の機会を逃すことがないように、母子健康手帳の重要性について周知していく必要がある。

【30210】マタニティマークの普及・啓発

担当課	健康推進課
事業内容	・妊娠・出産に関し、安全と快適さを確保し、妊産婦がより安心して妊娠期間を過ごせるために、マタニティキーホルダーの配付を行うとともにマタニティマークの普及・啓発を図ります。
令和4(2022)年度実績	・母子健康手帳交付時にマタニティマークのキーホルダーを配付した。[配付数 1,719個] また、普及啓発としてマタニティマークを母子保健で使用する封筒に掲載、ポスターに掲示、全戸配布の保健事業案内に掲載した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・妊婦に対し、マタニティマークの普及・啓発を図ることができた。 【課題】 ・妊産婦にやさしい環境づくりにつなげるために、妊婦だけでなく一般市民への啓発を今後も継続する必要がある。

【30211】自殺対策に関する取り組みの実施

担当課	保健予防課
事業内容	・自殺対策相談支援事業の充実及び自殺対策計画審議会、自殺対策推進会議による関係機関の相互の連携や情報の共有を図ること等により、若年層を含めた自殺対策を総合的かつ効果的に推進します。
令和4(2022)年度実績	・自殺予防教育研修の開催、自殺対策相談支援事業の充実及び自殺対策計画審議会による関係機関相互の連携や情報の共有を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・市内小中学校の教職員を対象に自殺予防教育研修を実施し、自殺対策を推進していく上での基礎となる人材の育成を図ることにより、若年層を含めた自殺対策を進めることができた。 【課題】 ・市民や民生委員児童委員、教職員、市職員等を対象にゲートキーパー養成講座を含む自殺予防に関する講座等を実施し、自殺対策を支える人材を増やすことが必要となる。

【30212】あなたのまちの健康相談の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・妊産婦や乳幼児等の子どもを持つ保護者等の相談事業の充実を図るために、各コミュニティセンター等において、保健師や管理栄養士等の専門職による相談を定期的実施します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止として、完全予約制にて実施した。 [相談回数 177回、妊産婦乳幼児の相談延人数 382人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・身近な地域で相談を実施することで、相談しやすい環境を整備し、保護者の不安軽減及び児の健康増進を図ることができた。 【課題】 ・効率的に他職種で相談対応ができるように、今後も事業の中でオンライン相談の活用を継続していく。

【30213】市立病院における周産期医療及び小児医療の提供

担当課	市立病院企画運営課
事業内容	・市立病院において、ハイリスク分娩を含む分娩対応やNICU(新生児集中治療室)での出生児の受け入れを行うなどにより、周産期医療を提供します。また、中学生までの内科的な病気の診断と治療を行う小児医療を提供するとともに、中河内二次医療圏内の複数の病院において実施されている小児救急医療の輪番制に協力することで、小児救急への対応を実施します。
令和4(2022)年度実績	・ハイリスク分娩を含む分娩対応、NICU(新生児集中治療室)での出生児の受け入れなどの周産期医療の提供や小児救急患者の受け入れ等を実施した。[分娩数 586件、小児救急患者数 7,644名]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・取り組みの実施にあたり、ハイリスク分娩を含む分娩対応やNICU(新生児集中治療室)での出生児の受け入れを行うなどにより、周産期医療や中学生までの内科的な病気の診断と治療を行う小児医療や小児救急を提供することができた。 【課題】 ・産婦人科医師数により受け入れできる分娩数に限りがあるため、制限を行っている状況となっており医師の増員に努めていく必要があるが、全国的な担当医師の不足に伴い困難となっている。市内でNICUを完備し、救急及び入院体制を整えている病院が市立病院のみであることから、中河内医療圏で輪番制での実施体制を継続して実施していくことが重要である。

【30214】休日急病診療の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・土曜日、日曜日及び祝日等の医療空白時間帯における初期救急医療体制の充実を図るため、休日急病診療所(内科・小児科・歯科)による対応を実施します。
令和4(2022)年度実績	・土曜日、日曜日及び祝日等において休日急病診療所を開設し、医療空白時間帯における初期救急医療体制を提供することで、子どもを含めた市民の生命の安全を確保した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・休日急病診療所を開設し、医療空白時間帯における初期救急医療体制の充実を図ることができた。 【課題】 ・土曜日、日曜日及び祝日等における初期救急医療体制の充実を図るため、今後も、関係機関との連携が必要である。

【30215】「食」に関する教育のサポート

担当課	教育センター
事業内容	・中核市の教育委員会として、法令に定められた教職員研修を確実に行うことはもとより、職階や課題に応じた研修についても八尾市の教育の状況を踏まえた内容で実施します。また、新学習指導要領の実施に向け各領域において八尾市の子ども達にふさわしいカリキュラム等の研究を進めます。
令和4(2022)年度実績	・「食育の授業づくり」研修として指導栄養教諭を講師として1回実施した。また、幼児教育研修の中で、学識を招いて幼児の食育についてとして「食育研修」を1回実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・学習意欲が高く地域に愛着を持てる子どもを育成できる教職員の育成に努めた。 【課題】 ・ICTを活用した授業の実践やプログラミング教育など学校教育の環境変化に合わせて研修内容を更新する。

【30216】学校や就学前施設における子どもへの食育の推進

担当課	学務給食課・学校教育推進課・こども施設運営課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「食」への関心を高めるとともに、食に関する正しい知識を習得させ、子どもが自ら考え健全な食生活を実践する力をつけることができるよう、学校給食を活用した食育の推進及び学校給食の充実を図ります。 ・次代を担う子どもたちが、望ましい食生活や生活習慣を確立することができるよう、食に関する情報提供や指導方法の工夫について指導助言を実施します。 ・公立認定こども園において、児童に対してクッキング保育等の調理体験や食材による食育体験を実施するとともに、保護者に対して食事サンプルの展示や啓発文の配布等を実施します。また、在宅の子育て家庭を対象とする試食会の開催等、食への関心を高める取り組みにより食育の推進を図ります。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における地域と連携した食育の取り組みを学校で作成・配布する食育だよりやホームページ等を通じて紹介することにより、児童生徒及び保護者の「食」への関心が高まるよう働きかけた。 ・食育に関する国・府の資料・リーフレットや、保健所の事例集等を活用し、各学校に対して食物アレルギーの対応について周知するとともに、各学校において数値目標を取り入れた「食育全体計画」を作成し、その活用や授業方法の工夫を図るよう支援した。 ・公立認定こども園では、児童に対して、クッキング保育等の調理体験や食材による食育体験を実施した。また、食事サンプルの展示や毎月「食育だより」を発行することで家庭における食育の意識づけも行い、各園の児童だけでなく、保護者や地域交流の参加者へも食への関心を高めることができた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を活用した学校での食育や地域と連携した食育を実施し、子どもの食に関する興味・関心を高められた。 ・食に関する情報提供や指導方法の工夫について学校に助言するなど、次代を担う子どもたちが、望ましい食生活や生活習慣を確立できるよう取り組みを進めた。 ・公立認定こども園において、食への関心を高めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの食に関する興味関心を高めるための取り組みをさまざまな媒体を通じて行っているが、多くの人がアクセスしやすいホームページへ誘導する仕組みづくりが必要である。 ・望ましい食習慣の確立については、その基本は家庭にあり、今後も家庭との連携・協力が重要になってくる。食育を通して特産物や八尾の食文化への理解を深めるとともに、保護者に対する食育とあわせて進める必要がある。 ・公立認定こども園の利用の有無にかかわらず、食育を通じて子どものより良い成長に寄与することができるよう、引き続き啓発を行っていく必要がある。

【30217】保健センターや地域における食育の推進(離乳食、幼児食の正しい知識の普及)

担当課	健康推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流を深め、育児不安を解消するため、妊産婦・乳幼児の保護者に対して離乳食講習会等を開催します。 ・妊産婦及び乳幼児の保護者に対して正しい食生活の普及を図り、母子の健康づくりを推進するため、正しい食生活について学ぶ機会づくりとして幼児栄養教室や栄養相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦・乳幼児の保護者に対して離乳食講習会等を開催した。動画による情報発信を実施した。 ・母子の健康づくりを推進するため栄養相談を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食等の正しい知識の普及を図ることができた。 ・幼児食の正しい知識の普及を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義や調理方法の見学など、インターネットでは分からない情報も伝えられる機会になっているので今後も継続して実施していく必要がある。

【30218】健康教育(性教育、がん教育、薬物乱用の防止教育などを含む)の推進

担当課	学校教育推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に応じ、各学校で取り組みます。薬物乱用防止教室等の活用など、関係諸機関との連携の強化を支援することで、薬物乱用の防止教育を推進します。また、性教育やがん教育についても、正しい知識や生命を尊重する心を養い、健全で正しい考え方や行動ができるよう、指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・八尾警察職員、少年サポートセンター職員、学校薬剤師等と連携を図り、各学校で薬物乱用防止教室等を開催し、薬物乱用防止教育の推進に努めた。また、各学校の取り組みの実態に合わせた安全に関する研修会を開催した。また、性教育やがん教育についても、学校独自の取り組みを実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に応じた各学校での取り組みの指導を行うとともに、関係諸機関との連携により、学校の実態や課題に正対したさまざまな取り組みを推進した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる指導の充実のためにも、今後も関係諸機関との連携を強化し、学校教育活動全体を通じて継続指導していくとともに、コロナ禍で活動制限されていた取り組みの再開・改善を行っていく必要がある。

【30219】こころの悩み等に関する教育の推進

担当課	学校教育推進課
事業内容	・スクールカウンセラーの有効活用や教諭の指導により、子どもに関する問題行動への対応や心の悩みに対する相談等を進めます。
令和4(2022)年度実績	・児童生徒は、人間関係や学習面等において、さまざまな悩みを持ち生活している。児童生徒が悩みを相談できる体制を作り、相談しやすい雰囲気作りにも努める必要がある。そういったことを踏まえ、各中学校区や小学校の拠点校にスクールカウンセラーを配置する等、教育相談体制の充実を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員向けの研修や児童・生徒向けの心理教育を行い、心の支援の充実を図った。 ・学校と教育委員会とが連携し専門家も交えて早期解決につなげることで、子どもの健やかな成長を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーと担任等との連携を強化し、児童・生徒が悩みを一人で抱え込まないような相談体制づくりの強化と多様なニーズに対応するための体制づくりが、今後も必要である。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実

3-3 幼児教育・保育の充実

【30301】幼児教育アドバイザーの活用	
担当課	教育センター
事業内容	・公立認定こども園においては、大阪府幼児教育アドバイザー育成研修を活用して、主幹保育教諭を幼児教育アドバイザーとして育成し、新規採用者等経験の少ない保育者への指導助言や、各園での幼児教育研究を幼児教育アドバイザーが推進します。
令和4(2022)年度実績	・公立認定こども園に所属する、新たに認定された幼児教育アドバイザーについては、新規採用者の園内研修において指導助言を実施した。また、大阪府において幼児教育アドバイザーに認定された人のうち、希望する幼児教育アドバイザーに対して、園(所)や市町村の中核となって研修を実施するためのファシリテーション能力や、幼児教育の推進に貢献できる専門的資質・能力の向上を図るため、幼児教育アドバイザーフォローアップ研修を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者の指導助言では回数を重ねるごとに、時間配分やファシリテーションの工夫をしたり、現状や課題を把握し、園の要望に沿ったアドバイスができるように準備したりする姿が見られた。良いところをたくさん褒め、保育への意欲につながるように配慮した助言を心掛けるなど、経験を積み重ねていくことができた。また、フォローアップ研修では、園内研修を企画する際の経験ができ、研修で学んだことを活かしながら各園の質の向上が期待できる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、さまざまな形態の園内研修を企画・運営する力の育成をめざし、公立・私立園の幼児教育アドバイザーが協同して、八尾市の就学前教育・保育の質の向上をめざしてともに学び合っていきたいと思うが、私立園からの参加がなく難しい状況である。

【30302】幼・保・こ・小合同研修会の開催	
担当課	教育センター
事業内容	・公立、民間ともに就学前児童への質の高い幼児教育・保育の提供と小学校へのスムーズな接続をめざし、幼稚園教員・保育所(園)保育士・認定こども園保育教諭・小学校教員を対象とする幼保こ小合同研修会を開催します。
令和4(2022)年度実績	・幼稚園・保育所(園)・認定こども園の保育者、小学校の教員を対象に幼保こ小合同研修会を実施した。第1回は集合型の講義を実施し、第2回としては、小学校での授業見学、就学前施設での保育見学を実施した。また、第3回のグループワークは、各中学校区にわかれて保育者と小学校教員と一緒にスタートカリキュラムを作成した。第4回ではスタートカリキュラムを配付して共有し、講義を開催した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立、民間ともに就学前児童への質の高い幼児教育・保育の提供と小学校へのスムーズな接続を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同研修会では、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るため、保育者や教員が共有すべき視点について学び合った。小学校での授業見学や就学前施設での保育見学をした後、意見交換をすることで互いを知り学び合う研修となった。参加者だけでなく、全ての職員が共有できるよう、学校園内における自立的な取り組みを促進する。また、幼児教育の質の向上にむけた評価、改善を促す。

【30303】通常保育事業の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・年間目標・年間計画・月別カリキュラムからなる指導計画を作成し、これに基づいて一週間や毎日の計画を立て、年齢別に教育・保育を実施します。また、小学校への接続が円滑なものとなるよう公民協働で5歳児の指導要録を活用します。 私立認定こども園等に対し、子ども・子育て支援法に基づく確認並びに同法に基づく施設型給付費、地域型保育給付費の支給を行います。また、適正な事業実施を確保するために指導監査を行います。
令和4(2022)年度実績	・年間目標・年間計画・月別カリキュラムからなる指導計画を作成し、これに基づいて一週間や毎日の計画を立て、年齢別に教育・保育を実施した。また、小学校への接続が円滑なものとなるよう公民協働で5歳児の指導要録を活用した。[※別表参照] 私立認定こども園等に対し、子ども・子育て支援法に基づく確認並びに同法に基づく施設型給付費、地域型保育給付費の支給を行った。また、適正な事業実施を確保するために指導監査を行った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、教育・保育計画を作成し、実践できている。 ・公定価格に基づき、給付費を算定し、私立認定こども園等への支払いを円滑に進められた。 ・私立認定こども園等に対して、集団指導・実地指導の形態により指導監査を行った。 【課題】 ・教育・保育の質や専門性をより一層高めるため、研修等の参加や園内学習会の充実を図る必要がある。 ・公定価格の変更や制度の見直しが都度行われるため、今後の国の動向を注視しながら制度改正等に円滑に対応していく必要がある。

【30304】認定こども園等の整備の推進

担当課	保育・こども園課
事業内容	・多様な保育ニーズへの対応、子どもの安全確保のために、認定こども園・小規模保育施設等の創設や増改築、大規模修繕等の整備について、計画的に推進します。
令和4(2022)年度実績	・キッズスペース梓国際学院 創設 90人増(2・3号90人) ・美園くじらこども園 創設 120人増(2・3号120人) ・サンライズキッズ保育園八尾園 創設 19人増(2・3号19人) ・認定こども園 八尾平和幼稚園 増改築 ※令和3(2021)～令和4(2022)年の2か年事業 ・神戸教育短期大学付属八尾ソレイユ認定こども園 改築 ・認定こども園 マリア高安保育園 大規模修繕 上記のとおり施設を整備し、計229人の定員を確保した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・計画に沿って施設の新設を行い、保育ニーズに対応した受け皿確保に寄与した。 【課題】 ・国の事業である企業主導型保育施設の設置が進まず、計画として見込まれていた受け皿確認の数値達成が困難となっている。引き続き保育を必要とするすべての子どもを受け入れられるよう、計画的な整備を進める必要がある。

【30305】保育者の確保

担当課	保育・こども園課
事業内容	・全国的な保育士不足の中、市内の私立施設への勤務を促進するため、以下の要件を満たした場合に用途を制限しない補助金の交付を実施する。 【補助要件】(以下の条件を全て満たす方) ・令和2(2020)年4月1日から現在までの間に八尾市内の私立認定こども園又は私立保育所で正規の保育士、保育教諭、幼稚園教諭として雇用された者 ・雇用開始から3年間勤務する者 ・八尾市保育士宿舎借り上げ支援事業の対象となっていない者 ・当該補助金の支給実績がない者(指定期間内に返還した場合を除く) 【補助金額】 ・30万円(1年ごとに10万円を交付)
令和4(2022)年度実績	・申請件数 238 ・支給件数 224 ・廃止者 41(前年度申請者含む)
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・私立認定こども園等に新たに正規職員として採用される保育士の確保に貢献した。 【課題】 ・国庫等の補助を受けずに実施する事業であるため、財政状況や国の保育士確保策の動向に注意し、活用可能なメニューについては積極的に活用していく。

【30306】認定こども園等における第三者委員・苦情解決の対応

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・公立認定こども園で苦情が発生した場合に、苦情解決責任者(園長)、苦情受付担当者(副園長)、第三者委員(主任児童委員)の体制で対応します。また、私立認定こども園等においても、第三者委員を設置する等により苦情解決への対応を実施します。
令和4(2022)年度実績	・公立認定こども園において、苦情解決責任者(園長)、苦情受付担当者(副園長)、第三者委員(主任児童委員)の体制を提示。保護者にも情報提供するとともに、認定こども園から第三者委員へ行事等の案内文を送付し、当日参加いただく中で、保護者や子どもと関わりをもつ回数が増えている。また、私立認定こども園等においても、第三者委員を設置するなど、苦情解決への対応を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・保護者等からの苦情に組織的かつ適切に対応することで、今後の教育・保育に活かすことができた。 【課題】 ・第三者委員など、認定こども園における苦情解決の取り組みについて、折に触れて保護者に周知する必要がある。

【30307】小学校一斉授業見学(体験)

担当課	教育センター
事業内容	・公立、民間ともに就学前児童への質の高い幼児教育・保育の提供と小学校へのスムーズな接続をめざし、幼稚園教員・保育所(園)保育士・認定こども園保育教諭・小学校教員を対象とする幼保こ小合同研修会を開催します。
令和4(2022)年度実績	・幼稚園・保育所(園)・認定こども園の保育者、小学校の教員を対象に幼保こ小合同研修会を実施した。第1回は集合型の講義を実施し、第2回としては、小学校での授業見学、就学前施設での保育見学を実施した。また、第3回のグループワークは、各中学校区にわかれて保育者と小学校教員と一緒にスタートカリキュラムを作成した。第4回ではスタートカリキュラムを配付して共有し、講義を開催した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・公立、民間ともに就学前児童への質の高い幼児教育・保育の提供と小学校へのスムーズな接続を図った。 【課題】 ・合同研修会では、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るため、保育者や教員が共有すべき視点について学び合った小学校での授業見学や就学前施設での保育見学をした後、意見交換をすることで互いを知り学び合う研修となった。参加者だけでなく、全ての職員が共有できるよう、学校園内における自立的な取り組みを促進する。また、幼児教育の質の向上にむけた評価、改善を促す。

【30308】幼児教育・保育の無償化の実施

関連事務事業	幼児教育・保育の無償化対応事務
担当課	保育・こども園課
事業内容	・子ども子育て支援法の一部改正内容に加え、市独自分を含む幼児教育・保育無償化事務を実施します。また、無償化対象児童への「施設等利用給付認定」を行い、対象児のうち、認可外保育施設等利用者等への償還事務等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・入所児童数:0歳児 409名、1歳児 980名、2歳児 1,159名、3歳児 1,161名、4歳児 1,228名、5歳児 1,202名 ・無償化償還申請件数:【国制度分】1,591件 【市制度分】1,182件 ・無償化償還金額:【国制度分】46,391,867円 【市制度分】36,336,187円
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・国制度に加え、令和2(2020)年9月より八尾市独自施策として課税世帯における2歳児保育料の無償化を開始しているが、国制度における無償化事務に準じてスムーズに事務を実施することができた。 【課題】 ・利用する園や年齢によって必要な手続き等が異なり、仕組みが複雑になってきている。

【30309】幼児教育研究・研修事業の実施

担当課	教育センター
事業内容	・八尾市の就学前教育・保育の拠点として幼児教育研究に取り組み、園内研究会や事例研究会を公開し、その成果を市内の就学前施設や小学校に発信することで、自園の教育・保育の質の向上とともに、市全体の就学前教育・保育の質の向上を図ります。また、就学前施設における教育・保育の質の向上や、教職員の資質と専門職としての知識・技能の向上、幼児教育と小学校・義務教育学校前期課程教育との円滑な接続を図るため、幼児教育研修を実施します。
令和4(2022)年度実績	・幼児教育研究については、令和3(2021)年度からの2年間で八尾市立東山本わかばこども園、令和4(2022)年度からの2年間で八尾市立安中ひかりこども園、それぞれを指定園として研究テーマに沿って取り組みを実施した。園内研究会や事例研究会を実施し、研究報告を行うと共に報告冊子を作成し市内の就学前施設や小学校に発信した。その他の公立こども園3園においても八尾市の就学前教育・保育の拠点として教育・保育内容について研究を推進し園内研究会等を実施してきた。 ・幼児教育研修については、教職員の経験年数に応じた研修を9回、今日的な教育・保育課題に焦点を当てた研修を9回、幼児教育アドバイザーフォローアップ研修、幼保こ小合同研修会などを実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・幼児教育研究を通して、子ども理解、環境構成、保育の振り返り、保育改善を行い、教育・保育の質の向上につなげてきた。そして、八尾市の教育・保育の拠点として、幼児教育研究における、園内研究会や事例研究会を全ての就学前施設に公開し、ともに学び合うことができた。 ・幼児教育研修については、主幹保育教諭等が研修の企画立案に携わることで、現場の保育者のニーズを研修に反映することができ、私立園や認可外施設からの参加も多く、内容が充実することで、参加者の満足度もほとんどの研修で90%を超え、教育・保育の質の向上や、知識・技能の向上を図った。 【課題】 ・研究、研修共に私立園からの参加は一定あるが、決まった園からの参加になっているため、多くの園から参加してもらえるように、周知、発信が必要である。また、研修については、参加しやすいような日程の調整や、市内中央での研修会場の確保なども必要である。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実

3-4 子育て支援サービスの充実

【30401】こども総合支援センターの整備

担当課	こども総合支援課
事業内容	・市民が利用しやすい相談体制の充実をめざし、妊娠期を含めた0歳～おおむね18歳までの子どもの育ちに応じた切れ目のない支援を推進する拠点の整備を進めます。
令和4(2022)年度実績	・切れ目のない支援の実施のため、庁内の相談支援体制等の検討会議を開催し、保健・福祉・教育の各分野の連携強化を図り、令和4(2022)年10月にこども総合支援センターの開設を行った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・一人ひとりに光が当たる切れ目のない支援の実現をめざし、子育ての不安や悩みの一元的な相談窓口の機能を備えた「八尾市こども総合支援センター」の整備を行った。 【課題】 ・切れ目のない支援の強化のため、今後も引き続き、保健・福祉・教育の各関係機関の連携強化を図っていく必要がある。

【30402】地域子育て支援センターにおける妊産婦・親子の交流の機会提供

担当課	こども総合支援課
事業内容	・出産を控えた妊婦が出産後の育児等へのイメージを持つことで、スムーズな育児につなげ、母子の心の安定を図るとともに、親の子育て力の向上をめざすため、仲間づくりや情報交換の場を提供します。 ・在宅子育て家庭の保護者が育児不安の解消等により安心して子育てできる環境を整備するために、在宅子育て家庭に対して、親子教室やさまざまな事業を実施し、育児に関する情報提供や相談指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	・各地域子育て支援センターにおいてマタニティ&ベビーを毎月1回開催し、妊婦や0歳児の親子が参加することで、情報交換をしたり、育児のイメージを持つことにつながった。[※別表参照] ・市内地域子育て支援センター5か所において親子教室を年齢別で実施し、育児に関する情報提供や相談事業を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・妊婦の方も参加いただいたことで、出産の不安解消につながった。 ・教室後、サークル活動につながったり、グループ支援をするなかで、子育てに関する不安軽減につながった。 【課題】 ・妊婦への周知方法が課題である。 ・ニーズは高いが定員数の増加や教室の開催数の増加は難しい。

【30403】つどいの広場における交流の機会提供

担当課	こども総合支援課
事業内容	・乳幼児とその保護者が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る場を提供します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市内12か所においてつどいの広場を実施した。民間への委託事業で、週3日以上かつ1日5時間以上開設した。 [※別紙参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・乳幼児と保護者が安心して子育てができるよう集い、交流、相談を行う場としてつどいの広場は活用され、大切な役割を担った。 【課題】 ・就学前施設利用者が増加し、広場利用の対象者数が減少傾向にあり、広場の周知及び未利用者の開拓が課題である。

【30404】養育支援訪問による相談・指導・助言の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・養育支援が特に必要であると判断した家庭に適切な養育の実施を確保するために、子育てパートナーを派遣し、養育に関する相談、指導、助言等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・子育て支援に熱意のある子育て経験者及び保育士、看護師、助産師、保健師といった専門資格を有する方を募集し、子育てパートナー養成講座を実施した。現パートナーへもフォローアップ講座等を実施し、支援体制の充実、資質向上に取り組んだ。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・専門性を要するケースが増加しているなか、派遣を機に親子で出かけられる場や地域とのつながりが得られ、児童虐待に及ぶ前の重要な役割となっている。 【課題】 ・訪問時において専門性を要するケースが増加しており、引き続き専門資格を有する人の確保が必要である。また、児童虐待の及ぶおそれのある世帯への支援のあり方や、変化する諸制度についての情報など、訪問する支援員の資質向上も必要不可欠である。

【30405】ママ・サポート事業による家事支援の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・昼間に出産後の母親及び乳児の介助をする者がいない家庭において安心して育児を行うための環境を整えるために、家庭訪問による適切な家事支援等を実施します。 ・出産予定日の2か月前から出産日までの20時間、母親及び乳児の退院後2か月以内で20時間までヘルパー派遣をします。また、多胎児の場合は産後に上記以外に、1年間で30時間まで派遣します。
令和4(2022)年度実績	・家事及び育児支援として、出産前後の妊婦母親へシルバー人材センターよりヘルパーの派遣を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・出産前後の家事育児の不安を抱える妊産婦が安心して出産育児を迎えるための環境づくりに寄与した。また多胎児出産をされる母親の利用が増えており、産前産後の家事育児負担軽減のため本制度が活用されている。 【課題】 ・安心して出産を迎えるため、産前産後の利用登録はあるが、実際には家族の援助等があり直接利用に結び付かないことが多い。

【30406】ファミリー・サポート・センター事業の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・市民が仕事等と育児を両立できる環境を整備し、地域における子育て支援と児童の福祉の向上を図るために、地域において育児の援助を行いたい人と、援助を受けたい人がお互い会員として登録し、育児に関する相互扶助と奉仕の精神に基づく援助活動を実施します。
令和4(2022)年度実績	・事業実施とともに、援助会員の質の向上を目的とした研修の充実に努めるとともに、会員養成講座を開催し援助会員の確保に努めた。説明会を兼ねた交流会も、感染症対策を行いながら実施し、ファミリー・サポート・センター事業の推進を図った。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子育て家庭の育児支援及び仕事と家庭の両立支援のための環境づくりに寄与した。 【課題】 ・依頼会員のニーズの多様化、援助会員のライフスタイルの変化によりマッチングが難しくなっている。多様化するニーズに対応するための基準の見直しや援助会員の確保が必要である。

【30407】一時預かり事業の実施

担当課	保育・こども園課
事業内容	・安心して子育てができる環境整備を推進し、福祉サービスの充実を図るために、在宅で子育てする保護者の心理的・身体的負担軽減や疾病や災害で一時的に保育が困難になった家庭の就学前児童に対して、一時的な保育のサービスを提供します。
令和4(2022)年度実績	・公立認定こども園において、5園で実施した。 ・一時預かり事業を実施している施設に対し補助金を交付するとともに、補助金を申請せず自主事業として実施している施設についても、事業案内のチラシの配架による周知をした。自主事業施設も含めて39施設で実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域の家庭保育をしている保護者の負担を軽減することができた。 【課題】 ・保育枠の拡大を進めているが、そのため一時預かり事業での受入拡大が困難になっている。

【30408】延長保育の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・保護者の就労形態の多様化により、通常保育時間帯を超える保育を必要とする児童を延長して保育します。
令和4(2022)年度実績	・公立認定こども園5園で実施5か所、私立認定こども園等54か所で実施。 ・公立認定こども園:1時間延長(通常保育時間の前後30分)を実施。 ・私立認定こども園等:実施時間は施設により異なり、実施施設のうち条件を満たす施設に対し補助金を交付。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・それぞれの保護者の認定による時間外において、保育が必要な保護者の負担を軽減することができた。 【課題】 ・保護者ニーズに引き続き対応していく必要がある。

【30409】休日保育の実施

担当課	保育・こども園課
事業内容	・保護者の就労形態が多様化するなかで、休日等においても保育を必要とする児童に対応するため、休日等に保育所等で児童を保育します。
令和4(2022)年度実績	・キリンこども園、認定こども園マリア保育園、アスク久宝寺駅前保育園、おひさまこども園の4園で休日保育事業を実施し、延べ237人が利用した。[※別紙参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・日・祝・年末年始にも保育を必要とする保護者の負担を軽減することができた。 【課題】 ・令和元(2019)年度に4園に実施園を拡充したところであり、引き続き保育ニーズを見定めていく必要がある。

【30410】市立・私立認定こども園等における預かり保育の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・多様化する保護者ニーズへの対応や幼児の健全育成を支援するために、公立・私立認定こども園等に通園する園児の保護者の希望に応じ、通常保育時間を越えて預かり保育を実施します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市内の公立認定こども園・私立認定こども園等において預かり保育を実施し、子育て家庭への支援に貢献した。[※別表参照] ・八尾市内私立認定こども園等において預かり保育を実施し、子育て家庭への支援に貢献した。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・公立認定こども園・私立認定こども園等に通園する園児の保護者の希望に応じ、通常保育時間を越えて預かり保育を実施した。 ・私立認定こども園等に通園する園児の保護者の希望に応じ、通常保育時間を越えて預かり保育を実施した。 【課題】 ・引き続き、多様化する保護者ニーズへの対応を図る必要がある。

【30411】子育て短期支援事業の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・児童を養育している家庭の保護者が社会的な理由等で、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合、児童福祉施設等で一定期間養育及び保護します。
令和4(2022)年度実績	・ショートステイ8施設、トワイライト1施設と契約し実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・仕事と家庭生活の両立支援、児童と保護者が安心してともに家庭生活を過ごせる環境づくりに寄与した。 【課題】 ・年間を通し、施設の児童数が定員に達していることが多く、市民の希望と施設側の調整が合わず、利用できないことがある。市民のニーズも高い事業であるため、契約施設の増加を図るとともに、契約施設に受入れ体制の強化を要望していく。

【30412】病児保育事業の実施

担当課	保育・こども園課
事業内容	・保護者の就労などにより、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合、病院・認定こども園等で病気の児童を一時的に保育します。
令和4(2022)年度実績	・病児対応型は、2施設において実施。体調不良児対応型は、1か所新たに契約し、29か所の認定こども園等において実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・仕事と家庭生活の両立支援のための環境づくりに寄与した。 【課題】 ・体調不良児対応型の実施には専任の看護師等の配置が必須であり、看護師の人材確保及び雇用が左右されるところが大きい。新規の就学前施設等に実施を促すなど引き続き実施施設の増加に努める必要がある。

【30413】認証保育施設における保育サービスの提供

担当課	保育・こども園課
事業内容	・保育所等に入所を希望しながら入所できない0～2歳児に対して認証保育施設での保育サービスを提供します。
令和4(2022)年度実績	・定員20名の2か所の認証保育施設に0～2歳児の保育を委託した。[合計定員40名][※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・待機児童解消に寄与した。 【課題】 ・2つの施設の立地が近く、広範囲に利用者を募り難い。

【30414】認定こども園における在宅子育て支援事業の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・子育て家庭にとって身近な地域での支援の充実を図るために、認定こども園等に通っていない就学前児童とその保護者を対象とし、施設で園庭開放事業、地域交流事業及び相談事業などを実施します。
令和4(2022)年度実績	・公立認定こども園において、施設に通っていない親子を対象とした地域交流事業及び相談事業を実施した。 ・私立認定こども園等で、施設に通っていない親子を対象とした園庭開放事業、地域交流事業及び相談事業を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・公立認定こども園で、施設に通っていない親子を対象とした地域交流事業及び相談事業を実施したことにより、身近な地域での在宅子育て支援の充実寄与した。 ・私立認定こども園等で、施設に通っていない親子を対象とした園庭開放事業、地域交流事業及び相談事業を実施したことにより、身近な地域での在宅子育て支援の充実寄与した。 【課題】 ・外出機会の少ない保護者への対応を検討する必要がある。また、各事業の情報発信をさらに進めていく必要がある。

【30415】えほんデビュー事業の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・絵本の読み聞かせを通して、親子の心を通わせる時間をもてるように支援するために、4か月児健康診査来所時に乳児と保護者にパンフレットを配付します。
令和4(2022)年度実績	・4か月児健康診査来所時にパンフレットを配付し、保護者に絵本等を通してのふれあいの大切さを伝えた。[配付数1,794部、対象数 1,832人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・保護者に対し、絵本等を通してふれあいの大切さを伝えることができた。 【課題】 ・今後も保護者に対して、絵本を含めた親子のふれあいの大切さについて伝えていく必要がある。

【30416】桂・安中青少年会館における子育て支援教室・講座の実施

担当課	桂青少年会館・安中青少年会館
事業内容	・就学前の乳幼児とその保護者を対象に各種教室・講座を実施し、保護者の子育てを支援し、乳幼児の健全な成長を応援します。また、貸館利用等による乳幼児への遊びの場の提供や、教室参加を契機とした保護者同士の交流活動の促進を図ります。 ・育児についての悩みの解消や、教育力の向上、遊び場の提供等子育て支援を目的に、乳幼児、保護者を対象とした活動を通じて、保護者間の交流を図るとともに、多くの人々と関わる中で、他人を思いやる心や人権感覚を自然に身に付けることをめざし、親子幼児教室や子育て支援講座、遊戯室開放等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・1歳未満の乳児を対象にしたベビー教室、1歳から就学前の幼児を対象にした親子幼児教室、3歳から就学前の幼児を対象にしたファミリー教室、4歳から就学前の幼児を対象にした長期教室としてウクレレ教室を実施した。また、交流・遊びの場としてプレイルーム開放や、子育てサークルへの貸館を実施し、親子及び保護者同士のコミュニケーションの促進を図った。 ・親子幼児教室を実施し、遊び場を提供するとともに、親子交流の促進を図った。また、「遊戯室で遊ぼう」の際に健康相談を4回実施することにより、育児の悩みの解消等、子育ての支援を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・乳児向け教室・幼児教室や貸館を実施した結果、教室や貸館利用を通じて保護者同士の交流活動を促すことにつながった。 ・親子交流の促進、育児の悩み解消等に寄与できた。 【課題】 ・在宅で子育てする家庭の子育てに対する不安や負担感を仲間作りにより解消するための教室であるため、より参加しやすいように定員や教室数の増加を検討する必要がある。 ・子育て支援を推進するために、子育て中の保護者のニーズを把握することや、父親が参加しやすい日に教室を実施するなど工夫をしていく必要がある。

【30417】安中青少年会館における出前絵本の会の実施

担当課	安中青少年会館
事業内容	・子どもたちが読書に慣れ親しむことにより、人間性豊かな感性や情緒を育むことを目的として、「出前絵本の会」を実施し、参加者に対し、絵本や紙芝居等に触れる機会を提供します。
令和4(2022)年度実績	・認定こども園、幼稚園、保育園の要望に応じ、出前絵本の会を10回実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子どもたちが読書に慣れ親しむことに寄与できた。 【課題】 ・公立の認定こども園等が大多数を占めており、私立が少ないため、さらなる充実を検討する必要がある。

3. 子どもの育ちにに応じた切れ目のない支援の充実	
3-5 子どもの生きる力を育てる学校の教育環境等の整備	
【30501】小中一貫教育の推進	
担当課	教育センター
事業内容	・中学校区でめざす子ども像を共有しながら、義務教育における子どもの「学び」「育ち」を一体的に捉え、9年間を見通した教育活動を推進します。
令和4(2022)年度実績	・中学校区ごとのめざす子ども像に基づく一貫した指導、ホームページや校区だよりによる保護者・地域への情報発信、中学校区の教育課題に即して学識経験者など外部講師を招聘した教職員合同研修などを実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・各校区の特色や子どもたちの実態に応じて各中学校区共通の「めざす子ども像」を設定し、学校・家庭・地域が一体となって取り組みを進めることができた。 【課題】 ・ICTを活用した取り組みなど、小中一貫教育を各中学校区においてさらに定着させていく。
【30502】学力向上の推進	
担当課	学校教育推進課・教育政策課
事業内容	・児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導の一層の充実を図るとともに、中学校区を単位とした授業改善や校種間連携について研究を推進します。また、取り組みの成果等を情報発信し、保護者や市民への教育への関心を高めま す。 ・全中学校区にネイティブ英語指導助手(NET)を派遣し、英語教育の充実を図るとともに、市内全小学校でもNETを活用し、児童が外国の生活や文化に慣れ親しんだりするなど、国際社会を生きる基礎となる教育を推進します。 ・教職員が学校の目標達成に向けた個人目標を主体的に設定し、学校長はその達成状況や業務遂行上で発揮された能力を育成の観点をもって評価することで、教職員の意欲・資質能力の向上を図るとともに、学校教育の活性化を図ります。
令和4(2022)年度実績	・「八尾市学力向上推進事業」により、指導方法の工夫・改善のための授業研究の推進を実施した。また、全国学力・学習状況調査結果分析から見える課題について、「放課後学習推進事業」にて学習支援員を派遣し、放課後学習会を実施することで、学習意欲の向上と基礎・基本の学力の定着を図った。 ・八尾市立学校に対して、学校訪問等を通して、円滑な学校運営や、適切な教育課程の実施に向け、必要な指導・助言を実施した。校内授業研に指導主事を派遣し、教育内容の充実や教員の指導方法の工夫・改善についての指導・助言を行い、教職員の資質向上を図った。 ・全中学校にネイティブ英語指導助手(NET)を配置し、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、市内全小学校でもNETを活用し、児童が英語に触れたり、外国の生活や文化等を調べたりする取り組みを実施した。国際社会を生きる基礎となる教育を推進するとともに、小・中学校での英語教育の充実と小学校での英語活動を実施した。また、児童・生徒の意欲の向上や英語力向上をねらいとしてスピーキングコンテストを実施した。 ・職員それぞれが、学校長の学校経営方針に基づき、個人目標を主体的に設定し、取り組みを進めた。学校長が全教職員に対し年間3回以上の面談を実施するとともに、授業観察等により、目標の進捗状況や達成状況等について指導した。同時に、業務遂行上で発揮された能力についても目を向け、育成の観点をもって評価した。これにより、教職員の意欲・資質能力の向上、学校教育の活性化に努めた。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・学習意欲の向上と基礎・基本の学力の定着を図るため、児童・生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細やかな指導の充実を図るとともに、授業改善や校種間連携について研究を推進した。また、各学校における取り組みを情報発信することで、保護者や市民の教育への関心を高めることができた。 ・円滑な学校運営や、適切な教育課程の実施に向け、各学校に必要な指導・助言を行い、教職員の資質向上を図った。 ・全中学校区にネイティブ英語指導助手(NET)を派遣し、英語教育の充実を図るとともに、市内全小学校においてもNETの活用により、児童が英語や外国の文化を学ぶ機会を提供し、国際社会を生きる基礎となる教育を推進した。 ・学校長の学校経営方針に基づいた学校運営が進むとともに、教職員の育成・資質能力の向上につながっている。 【課題】 ・保護者や市民への教育の関心を高めることが課題である。また、児童・生徒の学ぶ意欲を高め、知・徳・体のバランスの取れた児童・生徒の育成に努める必要がある。 ・各学校での授業改善や教員の指導力向上が求められている。特に、新任の教員が多い中で、個々の教員の資質向上を基盤とした、学校全体の組織や運営面での強化が必要である。 ・ネイティブ英語指導助手(NET)と英語教諭や担当者との連携、また小中間での担当者での連携をさらに進める必要がある。 ・経験年数の少ない教職員が増えるなか、これまで以上に、個人の目標の中に組織運営や教職員の育成について位置づけ、学校組織作りの構築やミドルリーダーの育成を図る必要がある。

【30503】道徳教育の充実

担当課	学校教育推進課
事業内容	・1人ひとりの豊かな人間性を育むために、「特別の教科 道徳」を要として、すべての教育活動を通じて体験活動等を活かした心の教育・道徳教育の充実を図り、生命尊重の心・規範意識の育成に努めます。
令和4(2022)年度実績	・八尾市内全校で作成した道徳教育全体計画、並びに年間指導計画の進捗状況を把握し、指導助言を実施した。 ・「特別の教科 道徳」について授業づくり研修会を実施した。 ・「考え、議論する道徳」の実現に向け、校内研修会の指導助言を実施した。 ・大阪府小学校道徳教育研究協議大会(北河内大会)において、八尾市の小学校が実践報告を行い、指導助言を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・学校・家庭・地域が一体となり、あいさつ運動を推進できた。また、道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成するとともに、各学校において道徳教育推進教師を中心に道徳教育の充実を図った。 【課題】 ・「豊かな人間性をはぐくむ取り組み推進事業」は平成25(2013)年度からの3か年事業として、平成27(2015)年度をもって事業終了したが、今後も学校等で引き続き道徳教育の推進を図る必要がある。

【30504】読書環境づくりの実施

担当課	生涯学習課
事業内容	・子どもの読書環境を豊かにするために、学校図書館との連携・協力、読書通帳の発行推進等による子育て支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	子どもの読書環境の充実に向けて、以下の取り組みを実施した。 ・学校貸出(保育所・小中学校等)26校12,922冊、家庭地域文庫2文庫3,070冊、団体貸出(総合学習支援・放課後児童室等)165団体85,314冊 ・学校図書購入時の選書相談 ・認定こども園等への司書派遣42回 ・0歳から中学生までの子ども及び妊婦への読書通帳無料交付を継続実施。 ・学校図書館サポーター研修に講師として協力
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・子どもの教育環境、読書環境の充実のため、学校図書との連携・協力等を行うとともに、認定こども園等への司書派遣を実施した。また、0歳から中学生までの子どもや妊婦に対する読書通帳の無料交付を継続実施した。 【課題】 ・子どもの読書環境の充実のため、引き続き、学校図書館との連携・協力が必要である。

【30505】学校図書館教育の推進

担当課	学校教育推進課
事業内容	・各小中学校に学校図書館サポーターを配置し、児童・生徒の図書館利用を促進し、学校図書館の効果的な活用を図るとともに、図書環境の充実と魅力ある学校図書館づくりを進めます。
令和4(2022)年度実績	・児童・生徒の読書活動の充実のため、市内全小中学校に有償ボランティア(学校図書館ボランティア)を配置し、学校図書館の図書の整理や読み聞かせ等の読書指導、図書の貸し出し等を実施した。 [有償ボランティア配置校数:43校(小学校及び義務教育学校前期課程28校、中学校及び義務教育学校後期課程15校)] [全小中学校での年間貸出冊数:440,983冊]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・各学校に学校図書館ボランティアを配置し、児童・生徒の図書館利用を促進し、学校図書館の効果的な活用を図るとともに、図書環境の充実と魅力ある学校図書館づくりを進めた。 【課題】 ・学校図書館ボランティアと教員との連携の充実を図ることが必要である。

【30506】人権学習教材等の整備と活用

担当課	人権教育課
事業内容	・各学校における人権教育の推進を図るため、人権学習プログラムの作成及び人権教育関係資料・教材(書籍・視聴覚教材)の整備を実施します。
令和4(2022)年度実績	・研究協力員人権教育部会で、市内全ての学校で活用できる「同和問題」に関する学習カリキュラムの作成を実施した。完成したカリキュラムを使って小学校で「公開授業研究会」を実施した。公開授業を通じて教材の周知や、実践・研究に関する交流を行うとともに、専門家からの指導助言も得て教職員のスキルアップを図った。視聴覚教材の貸し出しでは、子どもの人権や平和に関するビデオ・DVD及び日本語指導に関する教材や書籍の貸し出しが多かった。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・令和4(2022)年度の視聴覚教材の貸し出しは68件であった。各学校において人権教育を進める上で、視聴覚教材は児童・生徒の理解、考えを深めるための教材として有効である。また、日本語指導が必要な児童・生徒の在籍及び点在化が進んでいることから、日本語指導を充実させるために、教材や書籍の活用は有効である。 【課題】 ・人権教育課ではビデオでの視聴覚教材が多く、各学校での再生機器がDVD対応になってきているため、DVD教材の整備を進めていく必要がある。また、日本語指導が必要な児童生徒の増加及び点在化は今後も進んでいく可能性があり、日本語指導のさらなる充実、教職員のスキルアップが求められることから、日本語指導に関する教材や書籍の整備・充実が必要である。

【30507】生徒指導体制の推進

担当課	学校教育推進課
事業内容	・多発する生徒指導上の諸問題への早期発見、適切な対応、未然防止に向けた関係諸機関等との連携や研修会の開催を実施します。また、八尾市小・中生活指導研究協議会へ委託し、子どもたちの健全育成の推進を図ります。
令和4(2022)年度実績	・複雑な生徒指導事象に対して、専門家や関係諸機関との連携を密にし、重篤化の防止を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・関係諸機関等との定期的な情報共有や、市内の学校への研修等を通じて、課題のある児童生徒への支援を進めた。 【課題】 ・日常的に学校と専門家が連携できる環境を整備し、発達支持的生徒指導を心がけることで、問題行動の未然防止を推進する必要がある。

【30508】健康教育(性教育、がん教育、薬物乱用の防止教育などを含む)の推進

担当課	学校教育推進課
事業内容	・子どもたちの「生きる力」を育むため、健やかな体の更なる育成をめざすため、体力向上に結びつく「プログラム」を検討し、実践につなげます。また、健康教育の観点から歯みがき指導を行い「健やかで心豊かな子ども」を育成します。
令和4(2022)年度実績	・運動に親しみ、その楽しさや喜びを味わうことができるよう、また、健康の保持増進を図るため、健康や安全に関する内容を実践的に学べるよう指導方法、指導内容の工夫改善を図った。正しいブラッシング法を指導するとともに、昼食後の歯みがきを習慣づけた。また、八尾市教育研究部の体育部会で研究をすすめ、指導方法、指導内容の工夫改善を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・コロナ禍の活動制限下であったが、感染症対策を講じ、各学校が体育活動の創意工夫を行ったことで、運動習慣の定着を図るとともに、健やかな体のさらなる育成をめざす取り組みを推進した。また、健康教育の観点から歯みがき指導を行うことで、生涯を通じて健康な生活を送るための意識の醸成を図った。 【課題】 ・今後もICTを活用する等、授業や保育の内容を工夫、充実し、体力向上に向けた取り組みを計画的かつ効果的に推進する必要がある。

【30509】安全安心な学校給食の提供

担当課	学務給食課
事業内容	・安心・安全な学校給食を提供する上で必要な管理事務を行い、円滑に学校給食を実施します。 ・安心・安全な学校給食の提供に向け、調理場の衛生環境の向上を図るために必要な施設整備を進めます。
令和4(2022)年度実績	・安心・安全で子どもたちの食育につながる学校給食を円滑に提供できるよう、工夫を凝らした献立作成とともに、材料の品質検査、調理業務委託等、必要な管理業務を適切に実施した。 ・コロナ禍における子育て世帯への支援として、小学校給食費の無償化を実施した。 ・衛生環境の整った調理場で円滑に給食を提供できるよう設備・備品の適切な維持管理を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・必要な事務を適切に実施した結果、安心・安全な学校給食を提供できた。 ・調理場の維持補修や設備・備品の更新など安心・安全な学校給食の提供に必要な環境整備を実施できた。 【課題】 ・調理業務委託は本事務事業の基幹となることから、常に業務の質の向上をめざし、業務仕様書の見直しを継続していく。 ・調理場や設備・備品の老朽化が進んでおり、既設給食調理場のドライ化をはじめ、機能更新が急がれる。

【30510】教職員の働き方改革の推進

担当課	教育政策課
事業内容	・「学校における働き方改革」を進めるため、学校における業務改善、勤務時間管理の徹底及び適正な勤務時間の設定、教職員全体の働き方に関する意識改革など必要な環境整備に取り組みます。
令和4(2022)年度実績	・教職員が本来業務に集中し、教育の質を高められる環境を構築するための取り組みを進めた。勤務時間管理にあたり、在校等時間を客観的に把握・集計しつつ、事務負担軽減を図るためICカードによる出退勤管理システム機器を入れ替えた。また、夏季休業中の学校閉校日を5日間設定した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・学校現場及び教職員間に、ワークライフバランスの意識を高く持ち業務にあたる風土醸成に成果が見られた。また、設備面での整備を進めることができた。 【課題】 ・教員の業務負担の平準化と一部教員の意識改革を更に進めるとともに、保護者等社会全体への理解もあわせて行う必要がある。

【30511】学校園施設の整備

担当課	公共建築課
事業内容	・子どもたちが安全・安心して学校園施設を利用できるよう、老朽化に伴う危険・不具合箇所の改修や特別教室以外の教室への空調機器設置など計画的な施設改善を実施します。
令和4(2022)年度実績	・小学校54件、中学校34件の施設整備工事を行い、学校園施設環境の改善を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・学校との協議を密にし、内容の精査を行うことにより、効果的かつ合理的に工事を実施することができた。 【課題】 ・今後厳しい財政状況を踏まえた長期的な施設整備計画策定の必要がある。

【30512】CAP(子どもへの暴力防止プログラム)子どもワークショップの実施

担当課	教育政策課
事業内容	・児童が自らを「価値ある存在」と認識するとともに、暴力から逃れる方法等、児童が自分の身を自分で守れるための知識や具体的な技術(スキル)を身につけるため、CAP子どもワークショップを小学生を対象に実施します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市内全小学校及び義務教育学校(前期課程)の第3学年児童を対象にCAP子どもワークショップを実施した。(2,123名が受講)
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子どもたちが自分の身を守るための危険予測や回避能力等の知識やスキルを身に付けることができた。 【課題】 ・日々変化が激しい社会情勢において、さまざまある課題のなかで、各学校や地域の実情に応じたプログラム内容を検討し、実施することが必要である。

【30513】スクールサポーターの派遣

担当課	教育センター
事業内容	・学校現場でのさまざまな教育活動における子ども支援の補助を行うために、学校の状況や要請に応じ、教育系・心理系大学の学生や社会人等地域人材の活用によるスクールサポーターを派遣します。
令和4(2022)年度実績	・近隣の大学や地域との連携によりサポーターとして登録した人材を各学校からの要請に基づき派遣し、教育活動における子ども支援の補助を推進した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域人材や学生をスクールサポーターとして派遣し、学習やクラブ・放課後活動などを支援することを通じて、各学校の状況や特色を生かした学校づくりに寄与した。 【課題】 ・各学校の要請に応じられるよう登録人材を増やすとともに、登録人材が集まりやすいよう謝金単価を見直す必要がある。

【30514】国際教育プログラムの推進

担当課	人権政策課
事業内容	・小中高校で実施される国際教育プログラムをサポートし、次代を担う青少年が異文化理解を深め、多文化共生を推進するための事業を実施します。 ・幼児期から異文化に触れ、国際感覚の芽生えにつながるようこども園等で多文化教育を促進するワークショップを実施します。
令和4(2022)年度実績	・市内こども園等(3園)で4、5歳を対象に、ガーナ共和国出身講師による多文化保育プログラムを実施した。ワークショップによる異文化体験を通して、幼児期からの国際意識のめばえにつなげた。 ・小学5・6年生を対象としたワールド講座では、英語に触れながらケニア文化について学ぶワークショップを実施し、異文化理解・交流を深めた。 ・市内中学校(1校)からの依頼を受け、国際教育プログラムにおけるゲストスピーカー(5人)を紹介した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・園児や児童等が異文化理解につながる機会を提供することができた。 【課題】 ・各事業に適した活躍できる外国籍住民講師の発掘。

【30515】友好都市上海市嘉定区との青少年交流団派遣・受入の実施

担当課	人権政策課
事業内容	・異文化に触れ、国際感覚を養うとともに、相互理解と友好を深めることを目的として、友好都市上海市嘉定区と隔年で青少年交流団を派遣します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、人的交流は中止し、文化作品交流を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・コロナ禍において工夫をしながら、実施可能な事業に取り組むことができた。 【課題】 ・国によって新型コロナウイルス感染症の感染状況や感染対策も異なっており、事業の調整が難しい。

【30516】国際理解教育に関する取り組みの実施

担当課	桂青少年会館・安中青少年会館・生涯学習課
事業内容	・他者に対する理解や広い視野の醸成に資するために、映像や音楽、衣装、料理等を通じ体感しながら国際理解に係る取り組みや英会話教室を実施します。 ・豊かな心の育成をめざし、さまざまな機会を通して豊かな感性や人権感覚を養う活動の一環として、国際理解に係る教室・講座等を実施します。 ・豊かな心の育成をめざし、さまざまな機会を通して豊かな感性や人権感覚を養う活動の一環として、低学年育成事業において、国際理解に関する取り組みを実施します。 ・市内に住む在日外国人児童、生徒を対象にした多文化共生、国際理解教育事業を実施するとともに、市内の外国人同士及び日本人との交流事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	・英会話教室を通年で低学年と高学年に分けてそれぞれ実施した。[実施回数 80回、参加人数 372名] ・英会話教室の他、「はじめてのハンガール語」「世界のあそび」等、国際理解に関する教室を実施した。 [実施回数 58回、参加人数 324人] ・多文化キッズクラブとの交流やフィンランド発祥のスポーツ・モルックを実施した。[実施回数 5回、参加人数 163人] ・外国にルーツを持つ子どもの自尊感情を育む取り組みや在日外国人と日本人との交流促進を通じ、国際理解の推進を図ることができた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・利用者ニーズの把握に努め、英会話教室を実施し、国際理解を深めることができた。子どもたちの国際理解に寄与できた。 ・子どもたちの国際理解に寄与した。 ・外国にルーツを持つ子どもの自尊感情を育む取り組みや在日外国人と日本人との交流促進を通じ、国際理解の推進を図ることができた。 【課題】 ・講座によって定員に満たない講座があり、広報やチラシ等工夫する必要がある。 ・さまざまな国・文化を知る機会や体験活動を増やし、教室内容のさらなる充実を図る必要がある。 ・視野の広い国際理解教育のために、多文化キッズクラブとの連携の機会をさらに充実させるとともに、外部講師の発掘に努めたいと考える。 ・異文化ルーツを持つ子どもたちに対し、個々の状況に応じた働きかけができるよう広報について検討が必要がある。

【30517】桂・安中青少年会館における障がい者(児)との交流

担当課	桂青少年会館・安中青少年会館
事業内容	・子どもたちが障がいについて理解するために、障がい者が実践しているコミュニケーションやスポーツ活動の体験教室・講座等を実施します。 ・障がい者が実践しているコミュニケーションやスポーツ活動を通じて、障がいについて理解する契機とし、豊かな感性や人権感覚を養うことを目的として、障がい者理解に係る体験教室・講座等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・手話教室を通年で実施した[実施回数 20回、参加人数 97名]ほか、土曜日の講座でも手話を体験する教室を実施した。[実施回数 4回、参加人数 27名] ・人権理解に関する教室「ポッチャをしよう」を実施した。[実施回数 1回、参加人数 11人] ・手話教室の他「点字で名前カードを作ろう」「手話を体験しよう」等、人権理解に関する教室を実施した。 [実施回数 17回、参加人数 90人] ・ポッチャや手話を実施した。[実施回数 3回、参加人数 119人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・継続的に手話教室を開催した結果、子どもに障がいについての理解を深めることができた。 ・子どもたちの人権理解に寄与した。 ・子どもたちの障がい者理解に寄与した。 【課題】 ・講座の形態やPR等を考慮し、より興味を持ち理解を深められるような工夫が必要である。 ・定例的に実施している教室内容のみならず、さらなる内容の充実等を図り、教室実施を通して人権意識の向上につなげていきたい。 ・障がい者理解に関する諸活動については、上記のような体験活動を行っているが、より計画的な実践を図り、年間の活動の中での定着を図りたい。

【30518】環境教育やごみの分別・減量等に関する教育・啓発の実施

担当課	環境保全課・環境事業課・環境施設課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が環境の保全と創造について関心と理解を深め自主的な活動を促進するため、環境教育・学習、啓発活動を推進します。また、市民等が行う環境保全活動を支援し指導者の育成を図ります。 ・ごみの分別や減量に関心を持ちやすくし、より身近なものとして身につけられるよう、学校園やリサイクルセンター等において、ごみの分別・減量・排出マナーに関する紙芝居、パッカー車を使用したごみ収集疑似体験、環境クイズなどの啓発活動を実施します。 ・ごみの3R[リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)]の推進拠点として環境をテーマとした講座や廃棄物のリサイクル体験をはじめとした各種イベントの開催の他、社会見学の受入や市民活動の支援等を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校園の環境配慮の取り組みを報告していただき、その内容を冊子化・配布することで、環境活動の横展開を図った。 ・チラシなどの広報媒体を広く発信するとともに、ホームページにおいても合わせて発信を実施した。 ・商業施設アリオ八尾・リノアス・スーパーセンターイズミヤ八尾にて、SDGsや脱炭素に関する啓発を実施した。 ・ZEH(ゼロエネルギーハウス)に関する啓発を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部事業の実施を見送ったが、学校現場との連携により市内の小学4年生に対して3R(スリーアール)講座等を実施した。 ・市のイベントにおいて出前講座を実施した。(出前講座等実施回数 30回2,162名) ・令和4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた小学校4年生を対象とした社会見学も再開となり、市内の保育園・こども園を含め、30団体を受け入れ2,279名の見学があったほか、市内団体や家族での見学があった。 ・小学生を対象にさまざまな廃材などを利用したエコ工作を通じて、子どもたちに資源の大切さや環境について考えるきっかけづくりとして親子環境学習講座などの環境啓発事業を開催した。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの実施によって、子どもたちに対する環境学習の機会の充実を図ることができた。 ・取り組みの実施により、3R(スリーアール)の重要性について考える機会となった。 ・コロナ禍の状況であるが、感染症ガイドラインに基づく徹底した感染症対策を講じたうえで、工場見学や環境啓発講座やおもちゃの病院を開催するなど、可能な限りではあるが、さまざまな環境問題に積極的に取り組み、市民の関心と理解を深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境教育啓発においては、継続性、訴求力、行動変容につながる内容が重要である。 ・無関心層に対して、どのような訴求が効果的か、費用面を考慮しながら、検討を行う必要がある。 ・効果的な啓発を公民連携で行っていく必要がある。 ・環境教育は継続が重要である。環境教育を進めていくなかで、子どもから親への啓発が浸透し、さらには地域における環境保全活動が自主的に実施できるよう継続した取り組みが必要である。 ・従来の廃棄物の発生抑制等に加えて、循環型社会の形成及び脱炭素社会の実現に資する環境活動について、動画配信等新しいツールも活用しながら啓発を充実させていく必要がある。

【30519】上水道・下水道出前講座の実施

担当課	下水道経営企画課・水道局経営総務課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水の循環という観点から下水道全般について学んでもらうとともに、環境問題に関心をもってもらうことを目的として、小学校等に出向き講義や実験を実施します。 ・市内小学校の4年生を対象に、地球上に限りある水を私たちが利用することについて、河川から汲み上げた水がどのようにして安心して飲める水として作られ、各家庭に配られているかを学ぶことで、上水道に興味をもってもらい、社会環境に目を向ける一助となることを目的に講義を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学校(4年生対象)の過半数となる18校1,375人に受講していただくことができた。 ・演劇やコトを取り入れることにより、生徒が楽しみながら下水道に関心をもってもらえる講座を実施することができた。 ・市内小学校の児童向けに、浄水場で水を浄化・消毒する処理過程の説明や各種実験を交えた「水道出前講座」の講義動画を令和3(2022)年度に作成し、引き続き動画配信を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数が増加となったことだけでなく、受講校数がリピーター・新規ともに増加となった。受講後のアンケートでは受講生徒が水に関する学習に意欲的に取り組んでいる、節水の意識や日々の行動に変化があったと回答いただき、楽しく興味を持って学習できたと好評であった。 ・より多くの児童に上水道に興味をもってもらえるよう、いつでも視聴可能な動画配信を行い児童の社会環境への理解を深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者側からの意見やニーズ、社会情勢等を講座内容にフィードバックすることにより、受講者数のさらなる増加と下水道への理解の浸透をめざす必要がある。 ・各学校に出向いて講義・実験を行う出前講座という形ではなくなったため、より多くの児童に動画を視聴してもらえるよう学校等への周知が必要。

【30520】ロボットプログラミング連続教室の実施

担当課	生涯学習課
事業内容	・中学生を対象としたロボットプログラミングの学習の機会を提供します。
令和4(2022)年度実績	・令和4(2022)年度においては、実施していない。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と大阪ハイテクノロジー専門学校との共催事業として実施しており、令和4年(2022)度については、同専門学校においてカリキュラム変更が生じたため、実施が困難となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施形式について検討していく必要がある。

【30521】世代間交流の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・地域の人や自分の家族などの身近な人について考えるきっかけとなるために、認定こども園に通っている子どもと高齢者の交流事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、予定どおりの実施ができなかった。 ・在園児の祖父母や地域の高齢者等との交流を行った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、事業中止。 ・保育園周辺在住の高齢者や園児の祖父母を対象にして、保育園行事に案内し、園児と一緒に世代間交流を楽しんだ。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染状況を注視し、事業再開を検討していく必要がある。 ・より一層地域との連携を図りつつ、世代間交流を行う必要がある。

【30522】文化財施設における郷土の歴史・文化財の学習機会の提供

担当課	観光・文化財課
事業内容	・文化財施設を活用して、子どもたちが文化財に触れる機会を増進し、郷土の歴史や文化への愛着を高めることができるよう、各施設の特徴を活かした体験学習を中心としたイベント等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・郷土の歴史や文化財にふれる機会を増進するため、親子を対象とした事業や、施設の特徴を活かしたイベントを実施した。 ・歴史民俗資料館:ファミリー体験講座[参加者151名]、河内木綿 親と子の体験学習[参加者8名]、こどもおもちゃ教室[参加者延べ151名] ・埋蔵文化財調査センター:夏休みこども考古学体験 銅鏡作り[5名] ・しおんじやま古墳学習館:子ども向け月替わり体験メニュー[参加者延べ254名]、古墳クイズラリー[参加者延べ445名]、しおんじやま夏の体験まつり[参加者延べ1,154名]、子ども向け連続体験講座[参加者延べ42名]、昼間なのに!?ナイトミュージアム[参加者47名] ・安中新田会所跡旧植田家住宅:河内木綿体験[参加者延べ9名]、むかし遊び体験[参加者延べ27名]、こどもむかしくらし体験[参加者延べ9名]、4名]、土蔵でクラフト[参加者延べ15名]、うえまつ劇場[参加者延べ11名]、足水体験[参加者延べ88名]、旧植田家ZOO宅2022[参加者延べ177名]、旧家で暖家支援[参加者延べ127名]、旧家で写真撮影[参加者延べ254名]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・親子を対象とした事業や、施設の特徴を活かしたイベントを実施するとともに、施設見学や教職員研修の受け入れ、出前授業や体験キット等の貸し出しなどの学校園との連携も行い、子どもたちが郷土の歴史や文化財にふれる機会を増進することができた。 【課題】 ・定期的にイベントを開催するとともに、子どもたちや学校園のニーズに合わせた新たなイベントを検討し、さらなる郷土の文化財及び歴史への愛着の醸成を図る必要がある。アフターコロナにおける文化財施設での学習機会の提供のあり方を再検討する必要がある。

【30523】芸術文化における学習機会の提供

担当課	文化・スポーツ振興課
事業内容	・高安地域は能楽ワキ方・大鼓方の流儀「高安流」の発祥の地であり、能の名曲「弱法師」「井筒」の背景にもなった能楽と縁の深い地であることを知ってもらい、地域文化への理解を深め、自分たちの街に誇りをもつきっかけとするために、能に関する内容を詳しくまとめたレクチャー動画を常時アーカイブ配信することにより、能の普及啓発に取り組みます。 ・子どもたちとともに多くの市民が吹奏楽に触れ、楽しむことができるようなまちづくりをめざし、演奏の場の拡大、子どもたちの演奏技術の向上を図るために、「八尾市吹奏楽フェスティバル」、「吹奏楽クリニック」を実施します。
令和4(2022)年度実績	・高安能については、令和2(2020)年度に作成したレクチャー動画を継続して配信し、市内小・中学校全校配布のチラシに掲載するなど普及啓発に努めた。 ・吹奏楽については、リニューアルしたプリズムホールで、プレオープニングプログラムとして「八尾市吹奏楽フェスティバル」を実施し、その様子をYouTubeで配信も実施した。「吹奏楽クリニック」は各ホールでのプロの演奏家による指導、各学校での吹奏楽部へのプロの演奏家の派遣、ホールでの練習機会の提供を行った。加えて、「八尾市立病院ロビーコンサート」として、市内中学校吹奏楽部にプロの演奏家とともに出演してもらい、収録したコンサートの様子を病室に配信するなど、出演の機会も提供した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・コロナ禍ではあるが、吹奏楽に関しては、演奏機会を提供することができた。加えて、映像を配信することにより、より多くの人に芸術文化に触れ、楽しんでもらうことができた。 【課題】 ・直接、芸術文化に触れる機会をどのように確保するか検討が必要である。

【30524】選挙出前授業の実施、選挙器材の貸し出し

担当課	選挙管理委員会事務局
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・政治や選挙への関心を高めることを目的に、学校等に出向き講義や模擬投票を実施します。 ・政治や選挙への関心を高めることを目的に、実際に選挙で使用している投票箱や記載台等の選挙器材の貸し出しを実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校へ模擬投票実施のため器材の貸し出しを行った(2件)。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に使用している投票箱や記載台等の器材の貸し出しを行うことで、若者の政治や選挙への関心を深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙時期と重なると実施が困難になる。 ・器材の貸し出しや出前講座を実施していない高等学校があるため、積極的に働きかける必要がある。また小・中学校での実施において、若い世代が政治や選挙に対して、興味を持ってもらえるような方法を検討する必要がある。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実	
3-6 放課後の子どもの活動等の充実	
【30601】放課後子ども教室推進事業の実施	
担当課	生涯学習課
事業内容	・心豊かで健やかな子どもを社会全体で育むため、学校を活用して安全・安心な子どもの活動場所を確保するとともに、地域のボランティアの方々を中心となり、放課後や週末における体験・交流活動等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市内25か所での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策を行い、15地区で開催した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・15地区で開催したが、コロナ禍での放課後子ども教室のあり方検討や活動実態の調査を行い、再開に向けた協議を進めた。 【課題】 ・コロナ禍で活動休止となっている地区への再開に向けた働きかけや、アフターコロナの状況を踏まえた放課後子ども教室の運営方法を検討する必要がある。
【30602】放課後児童健全育成事業(放課後児童室事業)の実施	
担当課	こども施設運営課(放課後児童育成室)
事業内容	・保護者が就労、疾病等により不在となる小学校全学年児童を対象に、放課後に学校施設等を利用して遊びやスポーツ等を通じた健全育成事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	・増加するニーズに対応するため、旧幼稚園舎の教室を活用するとともに、社会福祉法人の運営する放課後児童クラブへの運営に対する補助を行うなどの対策により、待機児童ゼロを継続し、入室を希望する全ての児童の受入れを実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・旧幼稚園舎の教室の活用や、社会福祉法人の運営する放課後児童クラブへの整備及び運営に対する補助を推進し、待機児童を出さなかった。 【課題】 ・今度も入室児童の増加が予想され、保育場所や人員の確保が求められる。また社会福祉法人等の同事業へのさらなる参入促進を図る必要がある。
【30603】「新・放課後子ども総合プラン」に基づく取り組みの検討	
担当課	こども施設運営課(放課後児童育成室)
事業内容	・国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、同一小学校で実施されている放課後児童室と放課後子ども教室の連携強化を図るとともに、放課後等の子どもの過ごし方について検討します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、放課後子ども教室と連携を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、放課後子ども教室と連携を図り、放課後の児童の安全な居場所づくりを実施した。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を見据えたうえで、連携を実施していく。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実	
3-7 情報提供体制の充実	
【30701】「子育ておうえんBOOK」の作成・配布	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・八尾市の子育て情報、子育て相談、Q&Aなどさまざまな情報が掲載された「子育ておうえんBOOK」を毎年作成し、各出張所、就学前施設等に配布、設置します。
令和4(2022)年度実績	・9月に10,000冊を発行し、各出張所をはじめ子育て関連施設への配架及び母子手帳と同時に交付を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子育て世帯に必要な情報を多く掲載し、妊婦から子育て世帯へ周知に努めた。 【課題】 ・制度改正や、新規事業等により新たに増えていく情報が多く、掲載内容の精査など検索しやすい工夫が必要がある。
【30702】「八尾っ子せいちょうぶっく」の作成・配付	
担当課	こども施設運営課
事業内容	・子どもの成長記録や、さまざまな子育て支援の場で活用する「八尾っ子せいちょうぶっく」を母子手帳とあわせて配付します。
令和4(2022)年度実績	・「八尾っ子せいちょうぶっく」を出生届とあわせて配付するとともに、転入児童の保護者などにも配付した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子どもの成長記録や、さまざまな子育て支援の場で活用することができた。 【課題】 ・定期的に内容の確認を行い、保護者の使いやすさをさらに向上させるとともに、内容の充実を図る必要がある。
【30703】市窓口や子育て支援拠点における子育てに関する情報提供	
担当課	こども総合支援課・保育・こども園課
事業内容	・子育て家庭等が必要な情報を必要な時に得られるよう、市窓口や子育て支援拠点等に「子育ておうえんBOOK」を設置します。 ・窓口やホームページ・市政だより等の媒体を通じて認定こども園・保育所(園)等の施設の利用者や希望者へ情報提供を実施します。
令和4(2022)年度実績	・市窓口や子育て支援拠点等に「子育ておうえんBOOK」を配架した。また、母子手帳配布時に「子育ておうえんBOOK」を一緒に配付するなど、子育て家庭だけでなく、妊婦への情報提供も実施した。 ・窓口やホームページ・市政だより等により認定こども園・保育所(園)の入所・入園等に関する各種情報提供を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子育て世帯に必要な情報を多く掲載し、妊婦から子育て世帯へ周知に努めた。 ・過去の申込状況についても情報提供を開始した。 【課題】 ・制度改正や、新規事業等により新たに増えていく情報が多く、掲載内容の精査など検索しやすい工夫が必要がある。 ・制度が複雑化する中、わかりやすく情報を提供していく必要がある。
【30704】生活応援アプリ「やおっぷ」の配信	
担当課	広報・公民連携課
事業内容	・妊娠・出産・育児の切れ目のない総合的な相談支援体制の実現に向けて、子育て・健康・防災・ごみ・観光などの機能を含む複合の機能を有する生活応援アプリ「やおっぷ」の無料配信を実施します。
令和4(2022)年度実績	・妊娠中の利用者に向けた情報の配信や、親子で参加できるイベント情報の掲載などとともに、妊娠期や子育てに関する情報を充実した。昨年度に引き続き、市ホームページ及び市政だよりへの掲載による周知や、予防接種・健康診査の案内、児童手当の通知等にチラシを封入し利用促進に向けた周知を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・生活応援アプリでの子どもの育ちに応じた情報提供、相談支援体制の充実に寄与した。 【課題】 ・今後はアプリ利用者をより増加させるための周知方法の検討と通知機能のさらなる活用が課題である。

【30705】利用者支援事業の周知

担当課	保育・こども園課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子ども及びその保護者等、または妊娠している方がその選択に基づき、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行うことを目的とし、子どもまたはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 市窓口で保育サービスに関わる利用者支援員を配置し、就学前教育・保育施設の情報提供を中心に窓口での相談業務を実施し、各種保育サービスとのコーディネートを行っていることをホームページ上で周知した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページに掲載することで、さまざまな子育て家庭の方に対して周知することができ、子育て家庭のニーズに合わせた相談業務や支援へとつなぐことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の保育ニーズに合わせて、必要な施設や地域の子育て支援をさらに有効に利用してもらえるように、ホームページ以外での利用者支援事業の周知方法も検討する必要がある。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実	
3-8 子育て支援サービスの相談体制の充実	
【30801】こども総合支援センターの整備	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・市民が利用しやすい包括的な相談体制の充実をめざし、多様な子育てニーズに応えるためにさまざまな支援を切れ目なく提供し、子どもの育ちを総合的に支援する拠点の整備を進めます。
令和4(2022)年度実績	・切れ目のない支援の実施のため、庁内の相談支援体制等の検討会議を開催し、保健・福祉・教育の各分野の連携強化を図り、令和4(2022)年10月にこども総合支援センターの開設を行った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・一人ひとりに光が当たる切れ目のない支援の実現をめざし、子育ての不安や悩みの一元的な相談窓口の機能を備えた「八尾市こども総合支援センター」の整備を行った。 【課題】 ・切れ目ない支援の強化のため、今後も引き続き、保健・福祉・教育の各関係機関との連携強化を図っていく必要がある。
【30802】子育て総合支援ネットワークセンター(令和4年(2022)10月よりこども総合支援センター「ほっぷ」)における相談支援の実施	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・子育てしやすいまちづくりの推進のため、発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもやその保護者に対して子育て等に関する各種相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもやその保護者等に対して、子育て相談・児童家庭相談を実施した。 [※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子育て相談・児童家庭相談を通じて、子育てしやすいまちづくりの推進に寄与した。 【課題】 ・発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもは千差万別であり、保護者ニーズに応じていくことが困難である。
【30803】保育教諭・保健師等による相談支援の推進(プレママ・親子相談・交流事業の実施)	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・地域での子どもや子育て世代の居場所づくりや子育て支援の充実を図り、保護者の子育て力の強化や子どもの成長を支えられるよう、コミュニティセンターに絵本を配架し、保育教諭・保健師等による読み聞かせや育児相談などを実施します。
令和4(2022)年度実績	・市内10か所のコミュニティセンター並びに社会福祉会館、2か所の小学校区集会所にて保護者と子どもを対象に読み聞かせや育児相談などを実施し、地域を主体とした子育て支援体制の構築に寄与した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新たに実施箇所を増やしたことで、より子育て世帯のニーズに応えることができた。 【課題】 ・都市開発とともに子育て世帯のニーズが増加している地域があるため、どのように事業展開していくかが課題である。
【30804】家庭支援推進認定こども園等事業による不安を抱える家庭への支援の実施	
担当課	こども施設運営課
事業内容	・家庭環境に配慮を要する在園児童への直接的な支援を細やかに行うとともに、在宅支援として、地域交流会や子育て支援センターあそび会において、子育てに不安や問題を抱えている親への支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・家庭支援推進認定こども園事業として西郡そよかぜこども園及び安中ひかりこども園で実施した。家庭環境に配慮を要する在園児童への直接的な支援を細やかに実施した。在宅支援においては、地域交流会等で、子育てに不安や問題を抱えている親への支援を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・家庭環境に配慮を要する在園児童への直接的な支援を細やかに行うとともに、在宅支援として、地域交流会や子育て支援センターあそび会において、子育てに不安や問題を抱えている親への支援を実施した。 【課題】 ・家庭支援を必要とする家庭の多様化により、支援方法や情報収集なども多様であり、対応が課題である。

【30805】就学相談の実施

担当課	教育センター
事業内容	・障がいのある幼児・児童本人や保護者の教育的ニーズを踏まえ、就学後も円滑に学校生活を送ることができるよう、関係機関と連携しながら、専門的な立場から就学相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・子ども本人や保護者の話を傾聴のうえ、ニーズを的確に把握した丁寧な相談を行うとともに、子どもの状況に応じて行動観察や発達検査、学校等の見学を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・指導主事等・相談員と就学先との連携のもと、児童生徒や保護者の納得できる就学先を決定することができた。 【課題】 ・相談件数は依然多いが、今後も保護者の教育的ニーズを踏まえ、関係機関と連携しながら、専門的な立場からの丁寧な相談を行っていく必要がある。

【30806】女性相談の実施

担当課	人権政策課
事業内容	・女性の抱えるさまざまな悩みに対応するため、女性相談員による相談事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	・男女共同参画センターにおいて、女性の抱えるさまざまな悩みに対応するため、女性相談(面接)を月8日実施した。また、女性のための特設法律相談を年4日間実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・女性相談員、女性弁護士による相談対応を行い、女性の人権尊重の視点に立ち、女性の抱えるさまざまな悩みに対応し、自立を支援した。 【課題】 ・社会情勢等の変化に伴い、相談内容も多様化・複雑化し、DVやストレス等を抱える相談者が増加していることから、今後も継続して、女性相談事業を実施していく。今後も引き続き、DV等により緊急を要する対応が求められる場合は、関係各課・機関と連携し、より一層迅速かつ的確な支援を行う必要がある。

【30807】認定こども園等における相談・援助の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・認定こども園に通っていない就学前児童の保護者を対象に、公立認定こども園・私立認定こども園等で、子ども・子育てに関する相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・公立認定こども園において、施設に通っていない親子を対象とした地域交流事業及び相談事業を実施した。 ・私立認定こども園等で、認定こども園等に通っていない親子を対象とした園庭開放事業、地域交流事業及び相談事業を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域における幼児教育センター的役割を担うことができた。 【課題】 ・外出機会の少ない保護者が参加しやすくなる方法を検討する必要がある。また、各事業の情報発信をさらに進めていく必要がある。

【30808】利用者支援事業による相談支援の充実	
担当課	保育・こども園課
事業内容	・一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子ども及びその保護者等、または妊娠している方がその選択に基づき、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行うことを目的とし、子どもまたはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・市窓口を利用者支援員を配置し、就学前教育・保育施設の情報提供を中心に窓口での相談業務を実施し、各種保育サービスとのコーディネートを図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・窓口において各保育サービスや相談業務を実施し、子育て家庭への支援へとつなぐことができた。 【課題】 ・変化する諸制度にも対応できるよう利用者支援員の更なる能力・スキルの向上が必要である。より多くの方にきめ細やかなサービスを行うため利用者支援員のあり方、周知の方法など検討が必要である。
【30809】福祉生活相談支援員の配置	
担当課	地域共生推進課
事業内容	・地域において援護を要する高齢者、障がい者、子育て中の親及びその家族、親族等への支援について、地域福祉活動のネットワーク化の推進等を図ることにより要援護者等の自立生活の支援のための基盤づくりを行い、もって地域福祉の向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・福祉生活相談支援員を6か所配置し、生活困窮者をはじめとする地域福祉課題を抱える人や世帯への相談事業を実施した。 [相談者数 276名]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・福祉生活相談支援員を市内6か所へ配置し、関係機関と連携した相談支援を実施した。 【課題】 ・福祉ニーズの多様化・複雑化等により、単独の機関では十分に対応できないケースが生じており、関係機関との連携したチーム支援が必要である。また、継続的につながり続ける支援(伴走支援)を行うため、相談支援員のスキルアップやネットワークづくりが必要である。
【30810】つどいの広場における相談の実施	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・乳幼児とその保護者が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る場を提供します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市内12か所においてつどいの広場を実施した。民間への委託事業で、週3日以上かつ1日5時間以上開設した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・乳幼児と保護者が安心して子育てができるよう集い、交流、相談を行う場としてつどいの広場は活用され、大切な役割を担った。 【課題】 ・就学前施設利用者が増加し、広場利用の対象者数が減少傾向にあり、広場の周知及び未利用者の開拓が課題である。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実

3-9 障がいのある子どもやその家族への支援

【30901】介護給付事業・障がい児通所給付事業・地域生活支援事業の実施

担当課	障がい福祉課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童が日常生活を営む上で、必要な介護支援を提供します。 (居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、短期入所、重度障がい者等包括支援、計画相談支援、療養介護、生活介護、施設入所支援) ・障がいのある児童に必要な通所サービスを提供します。 (児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援、障がい児計画相談支援) ・障がいのある児童が、能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営めるよう、必要な支援を提供します。 (移動支援、日中一時支援、地域活動支援センター)
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童が日常生活を営む上で、必要な介護支援を提供した。[※別表参照] ・障がいのある児童に必要な通所・訪問サービスを提供した。[※別表参照] ・障がいのある児童が、能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営めるよう、必要な支援を提供した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童に対し、必要な介護支援を提供することで、児童が日常生活を営むことができている。 ・障がいのある児童に対し、必要な通所・訪問サービスを提供することで、児童の療育や生活の自立につながっている。 ・障がいのある児童に対し、必要な支援を提供することで、児童がそれぞれの能力や適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営めるようになっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスの質の担保のために、障がい福祉サービス事業所への実地指導等が必要となる。 ・障がい児通所支援の利用が大幅に増加しているため財源の確保や、多様なサービス提供形態に対する質の確保などが必要である。 ・サービスの質の確保を図っていく必要がある。

【30902】認定こども園・保育所での障がい児保育の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児を集団保育することにより、児童の心身の発達を促すために、専門講師による巡回指導を行い、一人ひとりの子どもの発達に応じた教育・保育のための必要な助言を受けるとともに、保護者への支援として、保護者相談を実施します。 ・障がいのある就学前児童(3歳児から5歳児まで)を対象に、就学前教育・保育施設の入所相談を受けるとともに、利用調整を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児保育を実施している認定こども園に専門講師により、一人ひとりの子どもの発達に応じた保育のための必要な助言を受けた。また、保護者相談を実施し、保護者への支援を実施した。[※別表参照] ・公立:3歳児 11名、4歳児 18名、5歳児 19名 ・私立:3歳児 50名、4歳児 64名、5歳児 55名
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援が必要な児童に対し、保育体制の確保を補助することができた。 ・一人ひとりの児童の状況を踏まえ、保育サポートを含め適切な機関への案内を適宜実施した。 ・保護者の就労保障の視点から「原則保育短時間利用」としたうえで、「保育の必要量による認定」への対応を進めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで支え合う保育体制を築くために、学んだことをいかに実践に生かし、伝達していくかを検討する必要がある。 ・保育サポートや個別の配慮を必要とする児童は増加傾向にあり、公民共に受け入れの柔軟な対応が求められている。

【30903】就学前施設での特別支援教育・保育巡回指導

担当課	教育センター
事業内容	・八尾市の就学前教育・保育の拠点として幼児教育研究に取り組み、園内研究会や事例研究会を公開し、その成果を市内の就学前施設や小学校に発信することで、自園の教育・保育の質の向上とともに、市全体の就学前教育・保育の質の向上を図ります。また、就学前施設における教育・保育の質の向上や、教職員の資質と専門職としての知識・技能の向上、幼児教育と小学校・義務教育学校前期課程教育との円滑な接続を図るため、幼児教育研修を実施します。
令和4(2022)年度実績	・幼児教育研究については、令和3(2022)年度からの2年間を八尾市立東山本わかばこども園、令和4(2022)年度からの2年間を八尾市立安中ひかりこども園、それぞれを指定園として研究テーマに沿って取り組みを実施した。園内研究会や事例研究会を実施し、研究報告を行うと共に報告冊子を作成し市内の就学前施設や小学校に発信した。その他の公立こども園3園においても八尾市の就学前教育・保育の拠点として教育・保育内容について研究を推進し園内研究会等を実施してきた。 ・幼児教育研修については、教職員の経験年数に応じた研修を9回、今日的な教育・保育課題に焦点を当てた研修を9回、幼児教育アドバイザーフォローアップ研修、幼保こ小合同研修会などを実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・幼児教育研究を通して、子ども理解、環境構成、保育の振り返り、保育改善を行い、教育・保育の質の向上につなげてきた。そして、八尾市の教育・保育の拠点として、幼児教育研究における、園内研究会や事例研究会を全ての就学前施設に公開し、ともに学び合うことができた。 ・幼児教育研修については、主幹保育教諭等が研修の企画立案に携わることで、現場の保育者のニーズを研修に反映することができ、私立園や認可外施設からの参加も多く、内容が充実することで、参加者からはほとんどの研修で90%を超える満足度となり、教育・保育の質の向上や、知識・技能の向上を図った。 【課題】 ・研究、研修共に私立園からの参加は一定あるが、決まった園からの参加になっているため、多くの園から参加してもらえるように、周知、発信が必要である。また、研修については、参加しやすいような日程の調整や、市内中央での研修会場の確保なども必要である。

【30904】放課後児童健全育成事業(放課後児童室事業における障がい児の受け入れ)

担当課	こども施設運営課(放課後児童育成室)
事業内容	・保護者が就労、疾病等により不在となる小学校全学年児童を対象に、放課後に学校施設等を利用して遊びやスポーツ等を通じた健全育成事業として実施する放課後児童室に、障がいのある子どもの受け入れを進めます。
令和4(2022)年度実績	・児童の入室に際し、個別に障がいの状況等を把握し、必要に応じて指導員を加配するなどの対応を行い、受入れを進めた。【※別表参照】
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・指導員を加配等を行い、要配慮児童を受入れ、保育を実施した。 【課題】 ・要配慮児童の多様化するニーズや保護者のケアに対応するための専門性を保有する指導員の確保及び育成が求められる。

【30905】市立医療型児童発達支援センター(いちよう)における支援の実施

担当課	こども施設運営課
事業内容	・障がいのある就学前児童又はその可能性のある児童に対し、個々の障がいの状態及び発達の過程・特性等に応じた発達上の課題の目標を達成するための本人への機能訓練及び発達支援、児童の発達の基盤となる家族への支援、専門的な知識・経験に基づき他の保育・教育等に通う児童の保護者並びに施設への後方支援を実施します。 ・児童の障がいの早期発見・早期治療とともに、発達の遅れや個人差のある児童に対して理学療法士等の専門職による助言や指導により発達を支援するとともに、保護者への育児指導、子育て相談等を実施します。 ・発達に遅れのある就学前児童に対して、集団又は個別保育による療育を実施します。 ・保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援、障害児相談支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・個々の障がいの状態及び発達の過程・特性等に応じた発達上の課題の目標を達成するための本人への機能訓練及び発達支援、保護者への相談支援を行うとともに、他の保育・教育施設等に通う児童の保護者並びに施設職員等に対する後方支援を実施した。【※別表参照】 ・管理医師を常勤で配置することができたことにより、診療所機能を広げることができた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・障がいのある就学前児童を対象に、通園による療育(医療・訓練・保育)を提供することにより、身体機能の向上をはじめ、心身の発達に対する支援、保護者への子育て支援が実施できた。他の保育・教育施設等に通う児童の保護者、施設職員等に対する後方支援を実施することによりニーズに応じることができた。 ・保護者がホームページを閲覧して相談される件数が増加傾向にある。 【課題】 ・他機関(医療・保健・福祉・保育教育等)との連携や相談機能や診療所機能を強化し、センターの中核的な支援機関としての機能の充実を図ることが必要となっている。

【30906】市立福祉型児童発達支援センター（八尾しょうとく園）における支援の実施

担当課	こども施設運営課
事業内容	・発達に遅れのある就学前児童を対象に、通所によって適切な指導・療育を行い、自立生活に必要な知識や技能を習得させる等により、心身の発達を支援します。
令和4(2022)年度実績	・施設への通所によって適切な指導・療育を行い、自立生活に必要な知識や技能の習得を支援した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・発達に遅れのある就学前児童を対象に、通園による保育・訓練の体験を通じて、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を提供し、心身の発達を促進した。 【課題】 ・相談機能を強化し、センター機能の充実を図ることが課題となっている。また、保護者の障がい受容の状況により、通園期間等が左右される。そのため、早期に保護者の不安を解消し、障がい児療育について理解を得ていくことが課題となっている。

【30907】障がい者(児)歯科予防教室の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・障がい児の円滑な歯科健診を促すとともに、歯科疾患の予防による健康増進を図るためにブラッシング指導を行います。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として完全予約制で実施した。 [実施回数 2回 延べ参加者数 0～5歳 0人、6～15歳0人、16歳以上3人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により2回中止となったが、歯科健診とブラッシング指導を行うことで、健康増進及び歯科受診を促すことができた。 【課題】 ・乳幼児の参加が減少しているため、関係機関と連携し、歯科予防のために乳幼児への周知・啓発が必要である。

【30908】就学相談の実施

担当課	教育センター
事業内容	・障がいのある幼児・児童本人や保護者の教育的ニーズを踏まえ、就学後も円滑に学校生活を送ることができるよう、関係機関と連携しながら、専門的な立場から就学相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・子ども本人や保護者の話を傾聴のうえ、ニーズを的確に把握した丁寧な相談を行うとともに、子どもの状況に応じて行動観察や発達検査、学校等の見学を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・指導主事等・相談員と就学先との連携のもと、児童生徒や保護者の納得できる就学先を決定することができた。 【課題】 ・相談件数は依然多いが、今後も保護者の教育的ニーズを踏まえ、関係機関と連携しながら、専門的な立場からの丁寧な相談を行っていく必要がある。

【30909】特別支援教育推進事業の実施

担当課	教育センター
事業内容	・障がいのある幼児・児童・生徒の教育の充実を図るための推進体制の確立を進めるとともに、教育・医療・福祉等の連携により、特別な支援を必要とする子どもや保護者に対して総合的な支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・特別支援教育支援員や看護介助員を学校に配置するとともに、専門家による巡回指導、特別支援教育コーディネーター研修や障がい理解に向けた研修のほか、授業や行事への手話通訳の派遣など環境整備を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・特別な支援を必要とする児童生徒の学習を支援する環境を整えられた。 【課題】 ・児童生徒が必要とする支援の種類に応じて、必要な支援を行う必要がある。

【30910】市立学校園への特別支援教育支援員・介助員・看護介助員の配置

担当課	教育センター
事業内容	・障がいのある幼児・児童・生徒の教育の充実を図るための推進体制の確立を進めるとともに、教育・医療・福祉等の連携により、特別な支援を必要とする子どもや保護者に対して総合的な支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・特別支援教育支援員や看護介助員を学校に配置するとともに、専門家による巡回指導、特別支援教育コーディネーター研修や障がい理解に向けた研修のほか、授業や行事への手話通訳の派遣など環境整備を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・特別な支援を必要とする児童生徒の学習を支援する環境を整えられた。 【課題】 ・児童生徒が必要とする支援の種類に応じて、必要な支援を行う必要がある。

【30911】特別支援教育振興事業の実施

担当課	教育センター
事業内容	・障がいのある児童・生徒の教育の充実を図るための推進体制の確立を進めるとともに、教育・医療・福祉等の連携により、特別な支援を必要とする子どもや保護者に対して総合的な支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、春のつどいなどの行事は中止となったが、支援教育作品展(八尾の小さな巨匠展)は開催形式を変更して実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、人が集まるイベントや展示会を行えない中でも実施方法を工夫して一定の成果をあげることができた。 【課題】 ・支援学級在籍者が増える中、特別支援教育に対してより一層の理解を深めるために参加者の拡大を図る必要がある。

【30912】特別児童扶養手当の支給

担当課	こども若者政策課
事業内容	・精神または身体に障がいのある20歳未満の児童を監護している父親または母親もしくは養育者に対して手当を給付します(所得制限あり)。
令和4(2022)年度実績	・精神または身体に障がいのある児童を養育している保護者に対して手当を支給し、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・精神又は身体に障がいを有する児童について福祉の増進を図り、その家庭の生活の安定を図った。 【課題】 ・市政だより、ホームページ、暮らしのガイドブック、子育ておうえんBOOK、障がい者ふくしのしおりなどにより行っている制度の周知を、関係課と連携しながらさらに充実させる必要がある。

【30913】障がい児福祉手当の支給

担当課	障がい福祉課
事業内容	・身体障がい者手帳の1級・2級程度(各部位別)、最重度の知的障がいまたは精神障がい、その他これらと同等程度と認められる状態のいずれかに該当する20歳未満の在宅者で、日常生活において常時介護が必要な人に対して手当を支給します。
令和4(2022)年度実績	・対象者に対して、特別障がい者手当等を支給し、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・取り組みを実施したことで、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。 【課題】 ・制度の周知について引き続き努めていく必要がある。

【30914】障がい者(児)医療費公費負担制度による助成

担当課	障がい福祉課
事業内容	・重度の身体障がい者(児)及び知的障がい者(児)に対し医療費の一部を助成します。
令和4(2022)年度実績	・対象者に対して医療費の一部を助成し、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・取り組みを実施したことで、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。 【課題】 ・今後とも持続可能な医療制度と利用者負担のあり方について府の動向を注視する必要がある。

【30915】発達障がい児支援センターにおける発達障がい児の療育、保護者支援の実施

担当課	障がい福祉課
事業内容	・発達障がい児支援センターにおける発達障がい児の療育及び保護者支援を社会福祉法人へ委託して実施します。
令和4(2022)年度実績	・個別療育12名、集団療育1名の計13名の方々に対し、個々の特性に合わせた療育プログラムに基づく支援を行った。毎年実施している保護者会については、共働き等の理由によりご家庭の都合で保護者会に参加することができない方が多かったため、スタッフと保護者の方1対1での勉強会という形で個別対応を行った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・我が子紹介や療育における心構え、コミュニケーションについて、構造化について、褒めることの大切さ、子どもの特性や進学についてなどを企画し、療育についての話や障がい特性の理解など、子どもと関わる時の参考になるよう助言やアドバイスを行うことで、更なる保護者支援の充実を図った。また個別での対応になったことで、子どもとの関わりについての困り事等を聞き取り助言を行ったり、より相談を受け付けやすい環境を整えることができた。 【課題】 ・各取り組みの充実を図るとともに、一人でも多くの方に利用していただけるよう、ホームページやブログ等での発信を積極的に行っていく。またこども総合支援センターほっぷをはじめ、地域の関係機関と連携していきたい。

【30916】八尾市立障害者総合福祉センターにおける障がい者の自立と社会参加の促進

担当課	障がい福祉課
事業内容	・在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図るための拠点施設である障害者総合福祉センターの円滑な運営を実施します。
令和4(2022)年度実績	・障がい児の放課後支援や休日の過ごし方等、保護者ニーズは高い。ニーズに即した事業を円滑に実施するよう事業運営に取り組んだ。 ・デイサービス事業[利用者数 生活介護 5,011名、高齢デイ 1,879名、児童発達支援 648名、放課後等児童デイ 2,226名、日中一時 864名、地域活動支援センターⅡ型:1,330名] ・ショートステイ事業[利用者数 2,308名]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・各種相談、講習、訓練を実施するとともに、情報提供、文化・教養・交流の場として障がい者等の自立と社会参加を促進した。 【課題】 ・多様化する利用者ニーズに、柔軟に対応したサービス提供が必要である。

【30917】小児慢性特定疾病医療費助成制度の実施

担当課	保健予防課
事業内容	・小児慢性特定疾病医療費助成制度に基づき、申請受理、認定審査、給付決定、助成金給付を行うとともに、小児慢性特定疾病医療費支給の認定を適正に行うため、小児慢性特定疾病審査会の運営事務を実施します。また、小児慢性特定疾病児童や身体障がい児等の医療的ケアを必要とする児の相談支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・小児慢性特定疾病医療費助成制度での申請・審査・受給者証発行等を実施し、申請受付を支援のきっかけととらえ、ニーズに応じた支援の実施をした。 ・障がい福祉課主催の「医療的ケア児支援のための地域連絡会」や保育・こども園課主催の「障害児審査会医療的ケア保育等検討部会」に出席した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・障がい福祉課主催の「医療的ケア児支援のための地域連絡会」や保育・こども園課主催の「障害児審査会医療的ケア保育等検討部会」に出席し、医療的ケア児の関係機関相互の連携や情報の共有を図った。 【課題】 ・医療的ケア児の保育や教育等の課題は多く、今後連絡会等を通じて、解決に向けて関係機関と連携していきたい。

3. 子どもの育ちに応じた切れ目のない支援の充実	
3-10 外国人家庭への子育て支援	
【31001】子育て相談・窓口対応時のコミュニケーションの支援	
担当課	保育・こども園課
事業内容	・相談、窓口での説明、保育所等入所受付等の各種手続きのときに、外国語の通訳(中国語・ベトナム語)で対応します。
令和4(2022)年度実績	・日本語での説明が困難である外国人家庭等に対して、コミュニティ政策推進課との連携のもと通訳による対応を適宜実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・必要に応じ、電話での対応や園で説明が困難な内容について市役所において通訳を介して説明を実施した。 ・通訳不在時にも対応できるよう翻訳機を常備した。 【課題】 ・保育所利用を希望する外国籍の方が増え、ベトナム語や中国語以外の言語での対応についても想定しておく必要がある。
【31002】帰国・外国人児童生徒受入等の支援	
担当課	人権教育課
事業内容	・日本語指導が必要な在日外国人児童・生徒の受け入れ体制を整備し、在日外国人児童・生徒の実態に応じ、日本語指導等により学習面への支援を図るとともに生活面での適応を図ります。また、民族クラブ活動の支援等を通して、市立小・中・義務教育学校における国際理解教育を推進します。
令和4(2022)年度実績	・日本語指導補助員、支援員として通訳を学校に派遣するとともに、言語介助員を配置し、日本語指導を必要とする児童・生徒・保護者の支援を実施した。また、16校で実施された26の民族クラブへの講師派遣を行い、外国にルーツのある児童・生徒のアイデンティティの保持・伸長を図り、日本人児童・生徒へ外国にルーツのある児童・生徒への理解を深める取り組みを実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・日本語指導が必要な児童・生徒が、日本語の獲得をするには通訳は必須である。とりわけ、日本に来て間もない児童・生徒にとって、学校において自身の母語で会話できることは、心の安定になり、学習意欲の向上にもつながっている。 【課題】 ・日本語指導が必要な児童・生徒が増加していることから、言語介助員等の派遣ニーズは増加している。今後、安定的な財源の確保とともに、言語種に応じた人材の確保が課題である。
【31003】多言語における案内文書等の作成	
担当課	保育・こども園課
事業内容	・保育所等入所の手続きを円滑にできるように、中国語・ベトナム語による「保育利用あんない」を配布します。
令和4(2022)年度実績	・「保育利用あんない」の外国語版(ベトナム語・中国語)を作成し、窓口等にて配布した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・保育申込書類の重要確認事項についても、外国語版(ベトナム語・中国語)を作成した。 【課題】 ・外国人の保護者に対して、必要な情報が提供できるような体制づくりを検討する必要がある。
【31004】外国人市民相談の実施	
担当課	人権政策課
事業内容	・外国人市民が出産や子育てなどの日常生活の中で困っていることを相談できるように、多言語対応できる相談窓口を設置し、関係機関と協力しながら支援していきます。
令和4(2022)年度実績	・市内3か所の相談窓口で、やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タイ語、韓国・朝鮮語の6言語による相談対応を実施した。 [相談件数:2,280件、うち出産・子育てに関する相談:271件]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・病院や窓口への同行、制度や申請方法の説明等を行い、外国人市民の不安解消に努めた。 【課題】 ・コロナの感染状況が収束に向かっていることから、八尾市で生活する外国人市民は増えており、相談ニーズも増加している。

4. すべての子どもが限らない可能性を引き出せる環境づくりの充実	
4-1 ひとり親家庭等の自立支援	
【40101】母子・父子自立支援員の配置	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・母子家庭等の自立を総合的に支援するために母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭等からの相談に対応します。
令和4(2022)年度実績	・母子家庭等の自立を総合的に支援するために、母子・父子自立支援員による、ひとり親家庭等への相談を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭等の相談に応じることにより、ひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・ひとり親家庭毎の状況を十分に把握し、自立支援に向けて適切な事業を提案していく必要がある。
【40102】ひとり親家庭の子どもの認定こども園・保育所への優先入所	
担当課	保育・こども園課
事業内容	・ひとり親家庭の子どもの保育所等入所を優先して行います。
令和4(2022)年度実績	・保育所(園)・認定こども園の保育利用に係る利用調整(選考)において、ひとり親家庭に対して加算点を設けることで、ひとり親であることを考慮して決定した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・保育利用に係る利用調整(選考)において、ひとり親家庭に対して加算点を設けることで、ひとり親であることを考慮して決定し、ひとり親家庭の自立に貢献した。 【課題】 ・年度途中の入所申込みの場合、入所枠がないため、加点が付いても入所が困難となる。
【40103】母子生活支援施設を活用したひとり親家庭への保育サービスの提供	
担当課	保育・こども園課
事業内容	・母子生活支援施設の保育機能を活用し、ひとり親家庭の子ども(0~2歳児)に対して保育サービスの提供を実施します。
令和4(2022)年度実績	・母子生活支援施設の保育機能を活用し、ひとり親家庭の子ども(0~2歳児)10名の保育を委託事業として実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭の保育需要に対応し、ひとり親家庭の自立に貢献した。 【課題】 ・ひとり親家庭の増加への対応を検討する必要がある。
【40104】母子家庭等日常生活支援事業の実施	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・母子家庭等で、生活に援助が必要であると認められる場合または生活環境が激変して日常生活に著しい支障が生じている場合に、家庭生活支援員が家事支援等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・支援が必要である母子家庭等に対して家庭生活支援員を派遣し、家事支援等を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭の家事支援を実施し、ひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・対象となる母子家庭等に制度を周知するとともに、制度の趣旨に沿った利用となるよう、対象者に要件等を十分に説明し、事業を進めていく。
【40105】母子家庭等自立支援給付金事業の実施	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・母子家庭の母または父子家庭の父の主体的な能力開発の取り組みを支援し、母子家庭及び父子家庭の自立の促進を図るために、資格取得への支援等の給付金事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	・母子家庭及び父子家庭の自立を促進するため、資格取得への支援等、給付金事業を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・資格取得への支援等を実施し、ひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・資格を取得し、増収につなげたいというひとり親家庭のニーズは今後も増大すると思われるが、長期的に事業の効果を測定するのが難しい。

【40106】地域就労支援センターにおける支援の実施

担当課	労働支援課
事業内容	・就労困難者等の職業能力を高めるため、就職につながりやすい各種講座を実施します。 ・市内5か所ある地域就労支援センターにおいて、ひとり親家庭の親を含む就労困難者等に対する就労支援を実施します。また、就労支援の二次的窓口である「八尾市パーソナル・サポート事業」及び就労困難者等に対し個別職業紹介等を行う「八尾市無料職業紹介事業」等と連携し、就労困難者等に対する就労支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・就労困難者等に対して、就職につながりやすい各種講座を実施した。 [講座受講者:個人対応パソコン講座 6名、介護職員初任者研修講座 15名] また、地域就労支援センターにおいて、就労困難者等に対する就労相談等を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・就労困難者等の就職につながる講座の実施や、身近に相談できる場を提供することで、ひとり親家庭等の就労の実現ひいては経済的自立に寄与した。 【課題】 ・支援対象者は増加傾向にあるが、関係機関との連携等により、対象者の掘り起こしからの誘導が図られるよう取り組む必要がある。

【40107】ひとり親家庭向け相談会の実施

担当課	こども若者政策課
事業内容	・児童扶養手当現況届受付時の市役所に来庁される機会に合わせて、経済的な相談や子育て、就労、教育、健康等に関する相談、ひとり親のご家庭が利用できる制度などを案内する相談会を実施します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、相談会の開催を中止したが、代替えとして児童扶養手当現況届の案内に各種相談窓口の一覧を同封した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・児童扶養手当現況届の案内に各種相談窓口の一覧を同封することにより、各種相談窓口や制度の周知を実施した。 【課題】 ・ひとり親家庭が利用できる相談窓口や制度について、複数課題がある場合においても、安心して相談できるよう各関係機関と連携を図る必要がある。

【40108】児童扶養手当の支給

担当課	こども若者政策課
事業内容	・児童が、父又は母の離婚・父又は母の死亡・父又は母の重度障がい・父又は母の生死不明・父又は母から1年以上遺棄されている・父又は母がDV保護命令を受けている・父又は母の1年以上の拘禁・婚姻によらない出産等により、父又は母に監護されているか父又は母にかわる人に養育されている場合に、その父、母又は養育者に対して、児童が18歳に達する日以降最初の3月末まで(児童に障がいがある場合は20歳まで)、手当を支給します(所得制限あり)。
令和4(2022)年度実績	・ひとり親家庭の児童を養育している保護者に対して手当を支給し、生活の安定と自立の促進に寄与した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進と、児童の心身の健やかな成長に寄与した。 【課題】 ・市政だより、ホームページ、暮らしのガイドブック、子育ておうえんBOOK、障がい者ふくしのしおりなどにより行っている制度の周知を関係課と連携しながらさらに充実させる必要がある。

【40109】ひとり親家庭医療費公費負担制度による助成

担当課	こども若者政策課
事業内容	・ひとり親家庭の生活の安定と児童の健康増進、福祉の向上を図るため、医療保険により受診した場合に医療費の一部自己負担額を控除した額を公費で負担します(所得制限あり)。
令和4(2022)年度実績	・ひとり親家庭医療費の一部について公費負担することで、ひとり親家庭の経済的負担軽減及び児童福祉の向上に寄与した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭等の経済的負担の軽減と、児童福祉の向上に寄与した。 【課題】 ・事業の安定的な実施のために、府や国による福祉医療費助成制度の改正のほか、制度を取り巻く社会情勢に注視する必要がある。

【40110】母子生活支援施設への入所

担当課	こども総合支援課
事業内容	・母子家庭で、居宅で生活することが児童の福祉に欠ける場合又は居宅が無い場合の母親と子どもの生活の安定を確保するために、母子生活支援施設にて必要な保護を実施します。
令和4(2022)年度実績	・母親と子どもの生活の安定を確保するために、母子生活支援施設にて保護を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・保護が必要な母子家庭を、母子生活支援施設で保護したことにより、母親と子どもの生活の安定を図ることができた。 ・世帯の課題が解決できた世帯については退所となり、一定母子世帯において自立を支援できた。 【課題】 ・母子家庭の自立につながるように関係機関と密に連携していく必要がある。

【40111】母子緊急一時保護制度による支援

担当課	こども総合支援課
事業内容	・精神的または経済的に緊急の保護を必要とする母子世帯について、指定施設において一時的に保護し、必要な相談・指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	・緊急の保護を必要とする母子世帯に対して、指定の施設において一時保護制度による支援体制を取っていたが、一時保護の相談がなく、一時保護の実績なし。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 令和4(2022)年度は一時保護の実績はなかったが、必要に応じ母子家庭の母親と子どもの生活の安定を図る体制は維持できていた。 【課題】 ・母子家庭の自立につながるように関係機関と密に連携していく必要がある。

【40112】母子父子寡婦福祉資金貸付事業の実施

担当課	こども若者政策課
事業内容	・ひとり親家庭の経済的自立の助長、生活意欲の助長、子どもの福祉増進を目的とし、貸付資金の活用を通じて総合的に自立を支援します。
令和4(2022)年度実績	・就学支度資金、修学資金等の貸付資金を通じて、ひとり親家庭の自立を支援した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・平成30(2018)年度の中核市移行に伴い、本事業が大阪府から移譲された。事務移譲を円滑に実施することでひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・滞納債権の回収と管理が課題となっている。

【40113】子どもの未来応援推進事業(ひとり親世帯の子どもの学習支援)

担当課	こども若者政策課
事業内容	・貧困の連鎖を断ち切り、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることなく、いきいきと成長できるよう、学習、教育、その他生活に関する支援を行い、学習習慣の定着、学習意欲の向上、その他教育の機会均等を図ることによって、すべての子どもが持つ限りない可能性を実現する社会をめざすことを目的とし、ひとり親世帯等の中学生を対象に市内の公共施設にて学習支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・ひとり親家庭等の中学生を対象として、学習習慣の定着、学習意欲の向上を目的とし、『八尾こども未来塾』において、週1回の学習支援を実施した。 [実施場所:6か所、参加者数:213名]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・通常授業を通して、子どもたちの状況に応じた学習支援を行うとともに、訪問型指導を加えた事業展開を行うなど、ニーズを考慮して事業を実施することができた。 【課題】 ・対象世帯が抱える実状に十分に配慮しつつ、関係機関との連携を図りながら取り組む必要がある。

【40114】就学援助事業による助成

担当課	学務給食課
事業内容	・経済的理由によって就学が困難な児童・生徒の保護者に対し必要な援助を実施します。
令和4(2022)年度実績	・市立学校に在学する児童及び生徒で生活保護法による教育扶助を受けている者及びこれに準ずる程度に就学困難と認められる者に対して援助を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・経済的に困難な保護者に援助を行うことで、子どもたちの就学の機会を保障することに貢献した。 【課題】 ・国の動向及び本市の財政状況等を勘案し、制度の在り方を常に検証していく必要がある。

【40115】奨学金による負担軽減	
担当課	学務給食課
事業内容	・「八尾市奨学基金」から生ずる果実等をもって、奨学生及び保護者の高等学校等への修学に対する経済的負担軽減を図ります。
令和4(2022)年度実績	・高等学校等の協力を得ながら申請書類を受付し、選考委員会の審議を経て選考された奨学生に対して奨学金を給付した。 ・コロナ禍による学習費への影響に鑑み、奨学金受給者に対し臨時支援金を給付した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・経済的に困難な高校生等に給付を行うことで、負担軽減を図るとともに、適切な制度として支援を継続できるような制度の見直しを図った。 【課題】 ・昨今の経済状況においては、基金の果実だけでは給付費用全てを確保することはできず、不足分は市費を充当している。
【40116】未婚のひとり親世帯に対する寡婦(夫)控除のみなし適用	
担当課	こども若者政策課 他
事業内容	・税法上の「寡婦(寡夫)控除」が適用されない未婚のひとり親世帯に対し、子どもにかかる各種利用料等について控除の適用を受けて算定されるよう、「寡婦(寡夫)控除」のみなし適用を実施します。
令和4(2022)年度実績	・国の税制改正により、婚姻歴に関わらない「ひとり親控除」が新たに適用されることとなったため、寡婦(夫)控除のみなし適用は廃止。
計画期間中の評価 (成果と課題)	—
【40117】養育費確保事業	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・離婚後のひとり親家庭の子どもの貧困を防ぎ、ひとり親家庭の生活の安定と自立に貢献することを目的として、養育費の確保に係る費用の一部を支援します。
令和4(2022)年度実績	・養育費に関する債務名義取得促進補助金及び養育費の保証促進補助金を交付した。【※別表参照】
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・養育の確保に係る費用を支援することにより、ひとり親家庭の自立支援につながった。 【課題】 ・引き続き本事業についての周知を図るとともに、養育費の保証促進補助金の実績も上がるよう啓発に努める必要がある。

4. すべての子どもが限らない可能性を引き出せる環境づくりの充実	
4-2 子どもの学習面における支援の充実	
【40201】生活困窮者自立支援事業(子どもの学習・生活支援事業)	
担当課	地域共生推進課
事業内容	・貧困の連鎖を断ち切り、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることなく、いきいきと成長できるよう、学習、教育、その他生活に関する支援を行い、学習習慣の定着、学習意欲の向上を図り、すべての子どもが持つ限らない可能性を実現する社会をめざすことを目的とし、ひとり親世帯や生活困窮世帯等の中学生を対象に市内の公共施設にて学習支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・生活困窮世帯等の中学生を対象として、学習習慣の定着、学習意欲の向上を目的とし、『八尾こども未来塾』において、週1回の学習支援を実施した。 [実施場所:6か所、参加者数:213名]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・保護者、生徒とも高校や大学への進学について関心が高くなる、あるいは『八尾こども未来塾』で勉強するのが楽しいなど学習意欲の向上につながったとともに、勉強以外の関わりができ、次年度以降も参加したいと希望する生徒も多く、社会的な居場所づくりとしても貢献した。 【課題】 スマホでの参加申請など利用促進を図る一方で、参加につながっていない子どもなど、潜在的ニーズへのアプローチを各相談支援機関と連携し取り組んでいく必要がある。
【40202】子どもの未来応援推進事業(ひとり親世帯の子どもの学習支援)	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・貧困の連鎖を断ち切り、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることなく、いきいきと成長できるよう、学習、教育、その他生活に関する支援を行い、学習習慣の定着、学習意欲の向上、その他教育の機会均等を図ることによって、すべての子どもが持つ限らない可能性を実現する社会をめざすことを目的とし、ひとり親世帯等の中学生を対象に市内の公共施設にて学習支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・ひとり親家庭等の中学生を対象として、学習習慣の定着、学習意欲の向上を目的とし、『八尾こども未来塾』において、週1回の学習支援を実施した。 [実施場所:6か所、参加者数:230名]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・通常授業を通して、子どもたちの状況に応じた学習支援を行うとともに、訪問型指導を加えた事業展開を行うなど、ニーズを考慮して事業を実施することができた。 【課題】 ・対象世帯が抱える実状に十分に配慮しつつ、関係機関との連携を図りながら取り組む必要がある。
【40203】子どもが安心して集える居場所づくり	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・すべての子どもたちが健やかに生活できる環境の充実を図ることを目的に、子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通じた安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、経費助成を実施します。
令和4(2022)年度実績	・居場所づくりを行う9団体に対して補助金を交付することにより、子どもたちが地域のなかで安心して過ごせる居場所を確保し、地域の人々や大学生など身近な大人との関わりを通して、豊かな人間性を育むことに寄与した。また、コロナ禍の対応として、居場所を開設できない場合は弁当配布についても補助対象とし、必要なニーズに柔軟に対応することができた。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・居場所づくりを行う団体に対して補助金を交付することにより、子どもたちが安心して過ごせる居場所の安定的な運営を支援し、子どもたちが健やかに生活できる環境の充実に寄与した。 【課題】 ・実施団体が把握する子どもたちの悩みや課題などを情報共有し、課題解決に向け、必要な支援へつなぐことができるような仕組みづくりを検討しながら進める必要がある。また、感染症対策を徹底し、安心・安全な取り組みを進めていく必要がある。

【40204】桂・安中青少年会館における低学年育成事業、教室講座事業の実施

担当課	桂青少年会館・安中青少年会館
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健全育成と人権意識の高揚を目的として、市内の小学生を対象に、学習活動、伝承遊び、文化活動、工作活動、スポーツ活動等各種体験活動を中心とした小学生教室を開催します。 ・子どもたちの健全育成と人権意識の高揚を目的として、小学校低学年児童を対象に、学期中の平日の放課後や長期休業中に「低学年育成事業」(パレットクラブ)を実施します。 ・青少年・児童の健全育成を図るため、「生きる力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」を目的とし、子どもや保護者のニーズに応えながら、桂青少年会館では市内の青少年児童を対象とし、通年平日の長期教室・土曜日及び長期休業中の短期講座として、学習会・文化教室・スポーツ教室・各種体験教室等多様な教室・講座を開催します。また、安中青少年会館では知・徳・体のバランスを考慮し、体験を重視した各種教室・講座を実施します。 ・移動教室として、家庭や学校では経験できない、創作する喜びを体感してもらうため、市内各小学校に出向き、工作教室などの講座を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日までの放課後と長期休業中の活動として、自学自習の活動、遊びを通じた活動・生きる力を育てる活動・人権感覚を養う活動・交流活動、伝承遊びの継承等を実施した。また、お楽しみ会や、文化活動、異文化交流、人権学習「個性」を実施した。 ・放課後や土曜日、長期休業中の青少年の活動の場として、短期講座・長期講座・体験学習等の活動を行い、市内の広範囲から小学生を中心に多くの参加があった。移動教室として、市内小学校(13校)へ出向き、工作教室等を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止した。 ・知・徳・体のバランスを考慮した通年教室及び土曜・長期休業中の教室・講座、小中学生等を対象とした学習会を実施した。 ・学習・工作・スポーツ・人権・国際理解等、さまざまな体験活動を通し、児童の健全育成を図った。 ・市政だより、学校へのチラシ・ポスターの配布、ホームページ等さまざまな形で情報提供を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策をしながら、児童の経験・体験の機会を増やすため、上記を一例としてさまざまな活動を実施した。 ・子どもたちの健全育成と人権意識の高揚に寄与した。 ・利用者ニーズの把握に努め、外部講師や企業の出前講座等を積極的に活用した結果、多種・多様な教室・講座を実施し、多様な学習及び社会体験の機会を提供した。 ・青少年・児童の「生きる力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」に寄与した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前・事後指導等の充実を図り、より有意義な事業展開を行う必要がある。 ・児童の経験・体験の機会を増やすため、さまざまな活動を実施したが、事前・事後指導等の充実を図り、より有意義な事業展開を行う必要がある。 ・地域との連携や、保護者との信頼関係等について、より一層の強化に努めるとともに、多種多様な利用者のニーズに対応した活動を実施するため、教室内容の充実や外部講師の発掘、NPO団体や民間企業等との連携・協働等を推進する必要がある。 ・小学生だけでなく中学生・高校生・青少年のニーズに対応した講座を増やし、利用者の年齢層の幅を広げる必要がある。

【40205】読書環境づくりの実施

担当課	生涯学習課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書環境を豊かにするために、学校図書館との連携・協力、読書通帳の発行推進等による子育て支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書環境の充実に向けて、以下の取り組みを実施した。 ・学校貸出(保育所・小中学校等)26校12,922冊、家庭地域文庫2文庫3,070冊、団体貸出(総合学習支援・放課後児童室等)165団体85,314冊 ・学校図書購入時の選書相談 ・認定こども園等への司書派遣42回 ・0歳から中学生までの子ども及び妊婦への読書通帳無料交付を継続実施。 ・学校図書館サポーター研修に講師として協力を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育環境、読書環境の充実のため、学校図書との連携・協力等を行うとともに、認定こども園等への司書派遣を実施した。また、小中学生や妊婦に対する読書通帳の無料交付を継続実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書環境充実のため、引き続き、学校図書館との連携・協力が必要である。

【40206】スクールカウンセラーの活用

担当課	学校教育推進課
事業内容	・スクールカウンセラーを活用し、子ども、保護者、教員へのカウンセリングを行うなど、不登校児童・生徒の学校復帰をめざした支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・平成18(2006)年度から、年間35回、全中学校にスクールカウンセラーを配置している。令和4(2022)年度からは、東西南北のブロック毎に拠点となる小学校を設置し、小学校におけるスクールカウンセラーの活用を進めている。不登校等の早期改善のための相談活動だけでなく、校内ケース会議等により、未然防止のための取り組みも実施している。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・学校だけでは解決困難な事案または長期化する恐れのある事案等を、教育委員会と連携し、関係諸機関・専門家も交えて早期に解決することで、学校における教育活動の充実を図ることができた。 【課題】 ・今後も、担任等関係する教員や関係機関との連携を深めていくことで問題行動等の未然防止をより推進していくことが必要である。

【40207】学力向上の推進

担当課	学校教育推進課
事業内容	・児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導の一層の充実を図るとともに、中学校区を単位とした授業改善や校種間連携について研究を推進します。
令和4(2022)年度実績	・「八尾市学力向上推進事業」により、指導方法の工夫・改善のための授業研究の推進を実施した。また、全国学力・学習状況調査結果分析から見える課題について、「放課後学習推進事業」にて学習支援員を派遣し、放課後学習会を実施することで、学習意欲の向上と基礎・基本の学力の定着を図った。 ・八尾市立学校に対して、学校訪問等を通して、円滑な学校運営や、適切な教育課程の実施に向け、必要な指導・助言を実施した。校内授業研に指導主事を派遣し、教育内容の充実や教員の指導方法の工夫・改善についての指導・助言を行い、教職員の資質向上を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・学習意欲の向上と基礎・基本の学力の定着を図るため、児童・生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細やかな指導の充実を図るとともに、授業改善や校種間連携について研究を推進した。また、各学校における取り組みを情報発信することで、保護者や市民の教育への関心を高めることができた。円滑な学校運営や、適切な教育課程の実施に向け、各学校に必要な指導・助言を行い、教職員の資質向上を図った。 【課題】 ・保護者や市民への教育の関心を高めることが課題である。また、児童・生徒の学ぶ意欲を高め、知・徳・体のバランスの取れた児童・生徒の育成に努める必要がある。各学校での授業改善や教員の指導力向上が求められている。特に、新任の教員が多い中で、個々の教員の資質向上を基盤とした、学校全体の組織や運営面での強化が必要である。

【40208】進路指導の推進

担当課	学校教育推進課
事業内容	・府立高校の特色、再編整備・入試改革等についての情報収集に努め、進路に関する情報の提供を行うとともに、生徒の主体的な進路選択に適切な指導、助言を実施します。
令和4(2022)年度実績	・進路に関する中高連絡会、私学合同説明会、進路資料の作成などを行うとともに、府立高校の特色づくり、再編整備・入試改革等について、情報収集に努め、情報提供を実施した。また、大阪府中学生チャレンジテストについて大阪府教育委員会からの情報をもとに、各中学校において学習評価及び生徒の進路決定が適切に行われるよう、評価担当者会を開催し情報共有に努めた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・進路に関する情報の提供を行うとともに、生徒の主体的な進路選択に適切な指導、助言を実施した。 【課題】 ・府立高校の特色づくり、再編整備等について動向を注視しながら、情報収集・提供を行うとともに、進路に関する中高連絡会や私学合同説明会とも連携しながら、進路資料の作成などを行い、個々の生徒へ適切な進路指導を実施することが求められる。

【40209】幼児教育研修・研究事業の実施	
担当課	教育センター
事業内容	・八尾市の就学前教育・保育の拠点として幼児教育研究に取り組み、園内研究会や事例研究会を公開し、その成果を市内の就学前施設や小学校に発信することで、自園の教育・保育の質の向上とともに、市全体の就学前教育・保育の質の向上を図ります。また、就学前施設における教育・保育の質の向上や、教職員の資質と専門職としての知識・技能の向上、幼児教育と小学校・義務教育学校前期課程教育との円滑な接続を図るため、幼児教育研修を実施します。
令和4(2022)年度実績	・幼児教育研究については、令和3(2021)年度からの2年間を八尾市立東山本わかばこども園、令和4(2022)年度からの2年間を八尾市立安中ひかりこども園、それぞれを指定園として研究テーマに沿って取り組みを実施した。園内研究会や事例研究会を実施し、研究報告を行うと共に報告冊子を作成し市内の就学前施設や小学校に発信した。その他の公立こども園3園においても八尾市の就学前教育・保育の拠点として教育・保育内容について研究を推進し園内研究会等を実施してきた。 ・幼児教育研修については、教職員の経験年数に応じた研修を9回、今日的な教育・保育課題に焦点を当てた研修を9回、幼児教育アドバイザーフォローアップ研修、幼保こ小合同研修会などを実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・幼児教育研究を通して、子ども理解、環境構成、保育の振り返り、保育改善を行い、教育・保育の質の向上につなげてきた。そして、八尾市の教育・保育の拠点として、幼児教育研究における、園内研究会や事例研究会を全ての就学前施設に公開し、ともに学び合うことができた。 ・幼児教育研修については、主幹保育教諭等が研修の企画立案に携わることで、現場の保育者のニーズを研修に反映することができ、私立園や認可外施設からの参加も多く、内容が充実することで、参加者からはほとんどの研修で90%を超える満足度となり、教育・保育の質の向上や、知識・技能の向上を図った。 【課題】 ・研究、研修共に私立園からの参加は一定あるが、決まった園からの参加になっているため、多くの園から参加してもらえるように、周知、発信が必要である。また、研修については、参加しやすいような日程の調整や、市内中央での研修会場の確保なども必要である。
【40210】スクールソーシャルワーカーの活用	
担当課	教育センター
事業内容	・学校及び地域、関係諸機関との連携のもとに、児童・生徒が抱える諸課題に早期対応することで、子育てに悩みや不安を抱く家庭の支援を通し、総合的な家庭の教育力の向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・学校に対しスクールソーシャルワーカーや訪問相談員の配置を実施した。また、スクールソーシャルワーカーによる校内研修、家庭教育支援コーディネーター会議の開催を通じて、家庭の教育力向上を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・課題を抱える子どもへの援助を通じて子ども本人や保護者を支援するとともに、教職員の子ども理解を深め、課題の早期発見・早期対応をめざし、校内教職員研修により、課題解決に向けた福祉的視点からのアプローチの方法や支援の在り方、組織としての対応について理解を深めた。 【課題】 ・引き続きスクールソーシャルワーカーによる研修等を活用し教職員の気づきを促すことで、子どもが抱えるさまざまな課題への早期発見・早期対応を推進する必要がある。
【40211】適応指導教室(さわやかルーム)における援助活動の実施	
担当課	教育センター
事業内容	・心理的又は情緒的な原因等、さまざまな要因により、登校の意思があるにもかかわらず登校できない状況にある児童生徒に対して、家庭と学校の間地点としての場を提供し、学校復帰や社会的自立をめざした教育相談、学習援助及び集団生活への適応指導などの援助活動を実施します。
令和4(2022)年度実績	・教育支援センター(適応指導教室)「さわやかルーム」においては入室生への学習支援・在籍校との連携・スーパーバイザーによる事例研究の実施など、学校復帰や社会的自立をめざし支援を行った。また、ICTを活用した不登校児童生徒とのコミュニケーション、学生サポーターを活用した学校以外での居場所づくりなどの活動・支援を推進した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・不登校児童生徒の特性に合わせてさまざまな人材を活用し多様な取り組みを展開することにより、当該児童生徒の社会的自立に向け状況を好転させることができた。 【課題】 ・引き続き、学校との連携を密にとりながら、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援のあり方を工夫していく必要がある。

4. すべての子どもが限らない可能性を引き出せる環境づくりの充実	
4-3 子どもの生活習慣における支援の充実	
【40301】食育における関係機関等のネットワークづくりの推進	
担当課	健康推進課
事業内容	・市民一人ひとりが日常的に自らの健康づくりや「食育」に積極的に取り組むことができるよう、健康教育等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・食育月間について市政だよりに掲載し、食育推進のための年代に応じた取り組みや役割を啓発した。 ・食育月間・食育推進事業の啓発のため、食育のスローガンを示したマグネットを公用車に掲示した。 ・FMちゃおにて、大人の食育をテーマに情報発信を実施した。 ・毎月保健センターから発行している「みんなの健康だより」に食育コラムを掲載し、その時期に応じた食育の啓発を実施した。 ・乳幼児健診の集団指導は新型コロナウイルス感染防止の観点より実施できなかったが、パンフレットを配布し普及啓発を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、集団指導以外の手法を用いて食育の啓発を実施した。 【課題】 ・引き続き、感染防止対策を講じながら、効果的な健康教育の手法を検討する必要がある。
【40302】自殺対策に関する取り組みの実施	
担当課	保健予防課
事業内容	・自殺対策相談支援事業の充実及び自殺対策計画審議会、自殺対策推進会議による関係機関の相互の連携や情報の共有を図ること等により、若年層を含めた自殺対策を総合的かつ効果的に推進します。
令和4(2022)年度実績	・自殺予防教育研修の開催、自殺対策相談支援事業の充実及び自殺対策計画審議会による関係機関相互の連携や情報の共有を図った。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・市内小中学校の教職員を対象に自殺予防教育研修を実施し、自殺対策を推進していく上での基礎となる人材の育成を図ることにより、若年層を含めた自殺対策を進めることができた。 【課題】 ・市民や民生委員児童委員、教職員、市職員等を対象にゲートキーパー養成講座を含む自殺予防に関する講座等を実施し、自殺対策を支える人材を増やすことが必要となる。
【40303】子どもが安心して集える居場所づくり	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・すべての子どもたちが健やかに生活できる環境の充実を図ることを目的に、子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通じた安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、経費助成を実施します。
令和4(2022)年度実績	・居場所づくりを行う9団体に対して補助金を交付することにより、子どもたちが地域のなかで安心して過ごせる居場所を確保し、地域の人々や大学生など身近な大人との関わりを通して、豊かな人間性を育むことに寄与した。また、コロナ禍の対応として、居場所を開設できない場合は弁当配布についても補助対象とし、必要なニーズに柔軟に対応することができた。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・居場所づくりを行う団体に対して補助金を交付することにより、子どもたちが安心して過ごせる居場所の安定的な運営を支援し、子どもたちが健やかに生活できる環境の充実に寄与した。 【課題】 ・実施団体が把握する子どもたちの悩みや課題などを情報共有し、課題解決に向け、必要な支援へつなぐことができるような仕組みづくりを検討しながら進める必要がある。また、感染症対策を徹底し、安心・安全な取り組みを進めていく必要がある。
【40304】児童虐待対策に関する取り組みの実施	
担当課	こども総合支援課
事業内容	・子育てしやすいまちづくりの推進のため、発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもやその保護者に対して子育て等に関する各種相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもやその保護者等に対して、子育て相談・児童家庭相談を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・子育て相談・児童家庭相談を通じて、子育てしやすいまちづくりの推進に寄与できた。 【課題】 ・発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもは千差万別であり、保護者ニーズに応えていくことが困難である。

【40305】「新・放課後子ども総合プラン」に基づく放課後子ども教室と放課後児童室の連携による実施

担当課	生涯学習課
事業内容	・国の「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、同一小学校で実施されている放課後児童室と放課後子ども教室の連携強化を図るとともに、放課後等の子どもの過ごし方について検討します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年度は、放課後子ども教室事業が中止であったが、令和4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染症を行いつつ、放課後子ども教室と連携を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症を行いつつ、放課後子ども教室と連携を図り、放課後の児童の安全な居場所づくりを実施した。 【課題】 ・コロナ禍で活動休止となっていた地区へ再開を働きかけ、再開時には連携を実施していく。

【40306】食育の推進

担当課	学務給食課
事業内容	・子どもの「食」への関心を高めるとともに、食に関する正しい知識を習得させ、子どもが自ら考え健全な食生活を実践する力をつけることができるよう、学校給食を活用した食育の推進及び学校給食の充実を図ります。
令和4(2022)年度実績	・学校における地域と連携した食育の取り組みを学校で作成・配布する食育だよりや八尾スクール食育ネット等を通じて紹介することにより、児童生徒及び保護者の「食」への関心が高まるよう働きかけた。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・学校給食を活用した学校での食育や地域と連携した食育を実施し、子どもの食に関する興味・関心を高められた。 【課題】 ・子どもへの食に関する興味関心を高めるための取り組みをさまざまな媒体を通じて紹介し、八尾スクール食育ネットへのアクセス数は月に1,000件程度あるが、家庭での食生活改善につながるかが課題である。

【40307】幼児・児童・生徒及び教職員の保健管理、環境衛生業務の実施

担当課	学務給食課
事業内容	・学校における教育活動を安全に行うために必要な児童生徒等・教職員に対する健康診断や教育環境の衛生管理にかかる業務を実施します。
令和4(2022)年度実績	・学校保健安全法等関係法令に基づき、学校医・学校歯科医・学校薬剤師等と連携して児童生徒等・教職員に対する健康診断を実施するとともに、水質・採光検査や空気環境測定等、環境衛生業務を実施した。 ・学級で新型コロナ陽性者が複数判明した場合等において一定の集団を対象としたPCR検査を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・学校における安全な教育活動の実施に必要な根幹業務を円滑に実施できた。 【課題】 ・健康診断や環境衛生にかかる法令改正が頻繁に行われる中、専門家の確保等、円滑な業務実施が可能な体制を維持・継続していく必要がある。

【40308】スクールソーシャルワーカーの活用

担当課	教育センター
事業内容	・学校及び地域、関係諸機関との連携のもとに、児童・生徒が抱える諸課題に早期対応することで、子育てに悩みや不安を抱く家庭の支援を通じ、総合的な家庭の教育力の向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・学校に対しスクールソーシャルワーカーや訪問相談員の配置を実施した。また、スクールソーシャルワーカーによる校内研修、家庭教育支援コーディネーター会議の開催を通じて、家庭の教育力向上を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・課題を抱える子どもへの援助を通じて子ども本人や保護者を支援するとともに、教職員の子ども理解を深め、課題の早期発見・早期対応をめざし、校内教職員研修により、課題解決に向けた福祉的視点からのアプローチの方法や支援の在り方、組織としての対応について理解を深めた。 【課題】 ・引き続きスクールソーシャルワーカーによる研修等を活用し教職員の気づきを促すことで、子どもが抱えるさまざまな課題への早期発見・早期対応を推進する必要がある。

【40309】教育相談の実施	
担当課	教育センター
事業内容	・児童・生徒の心や身体の健康の相談、教育上の諸問題の解決に向けた相談などを実施します。加えて、青少年に関する進路等の相談も実施します。
令和4(2022)年度実績	・一般教育相談・特別な支援が必要な子どもの教育相談、巡回相談、医療相談を実施するとともに、進路相談を含む青少年相談を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・研修等を通じて相談員の専門性向上を図り、その成果を学校園と共有することにより学校の教育相談体制の充実を図ることができた。 【課題】 ・引き続き、学校での教育相談体制の充実に向け支援していく必要がある。
【40310】家庭の教育力レベルアップ事業の実施	
担当課	教育センター
事業内容	・学校及び地域、関係諸機関との連携のもとに、児童・生徒が抱える諸課題に早期対応することで、子育てに悩みや不安を抱く家庭の支援を通じ、総合的な家庭の教育力の向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・学校に対しスクールソーシャルワーカーや訪問相談員の配置を実施した。また、スクールソーシャルワーカーによる校内研修、家庭教育支援コーディネーター会議の開催を通じて、家庭の教育力向上を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・課題を抱える子どもへの援助を通じて子ども本人や保護者を支援するとともに、教職員の子ども理解を深め、課題の早期発見・早期対応をめざし、校内教職員研修により、課題解決に向けた福祉的視点からのアプローチの方法や支援の在り方、組織としての対応について理解を深めた。 【課題】 ・引き続きスクールソーシャルワーカーによる研修等を活用し教職員の気づきを促すことで、子どもが抱えるさまざまな課題への早期発見・早期対応を推進する必要がある。
【40311】いじめの未然防止・早期発見に向けた体制づくりと相談・対応の強化	
担当課	人権教育課
事業内容	・八尾市いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るために、学校におけるいじめ事象の早期発見と適切で迅速な対応が図れるよう支援を行うとともに、各部署が行ういじめ防止対策の総合的、効果的な推進を図ります。
令和4(2022)年度実績	・いじめの未然防止、早期発見、早期対応について改めて周知するとともに、弁護士や大学教員、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等の外部専門家の助言を得ながらいじめ問題に対応する体制の構築を図った。 ・八尾市いじめ問題対策連絡協議会を実施した。八尾市のいじめ問題の状況について委員で共有するとともに、いじめの未然防止に向け、地域や保護者との連携や啓発等も含めた意見交換を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・外部専門家の助言を得ながら事案へ対応する体制の構築を図ることができた。市民代表、関係機関の方々に八尾市のいじめの状況について報告し、意見交換する中で、いじめ問題は市民全体で取り組むべき課題であることが共通理解され、いじめ未然防止の取り組みが広がる場となっている。 【課題】 ・関係機関の代表者とともに、八尾市の課題共有を図ることは重要である。関係機関と連携して児童・生徒を見守ること、いじめ事象が発生した場合の対応等について共有を図ることで、事象の未然防止・早期発見・早期対応を行う必要がある。

4. すべての子どもが限らない可能性を引き出せる環境づくりの充実	
4-4 保護者が安心して生活するための支援体制の充実	
【40401】人権相談の実施	
担当課	人権政策課
事業内容	・人権相談事業を通じて、子どもの人権に関する問題解決に向けて取り組みます。
令和4(2022)年度実績	・人権相談事業を通じて、各種周知方法の検討も含め子どもの人権に関する問題解決に向けて取り組んだ。 [相談件数 36件、うち子どもの人権に関する相談 1件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・人権相談事業を通じ、子どもの人権に関する問題解決に向けての取り組みや子どもの人権に関する周知を実施した。 【課題】 ・より多くの人へ周知できるよう、引き続き、周知方法の検討が必要である。また、子どもの人権問題について、人権相談につなげてもらえるよう周知内容についても工夫が必要である。
【40402】女性相談の実施	
担当課	人権政策課
事業内容	・女性の抱えるさまざまな悩みに対応するため、女性相談員による相談事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	・男女共同参画センターにおいて、女性の抱えるさまざまな悩みに対応するため、女性相談(面接)を月8日実施した。また、女性のための特設法律相談を年4日間実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・女性相談員、女性弁護士による相談対応を行い、女性の人権尊重の視点に立ち、女性の抱えるさまざまな悩みに対応し、自立を支援した。 【課題】 ・社会情勢等の変化に伴い、相談内容も多様化・複雑化し、DVやストレス等を抱える相談者が増加していることから、今後も継続して、女性相談事業を実施していく。今後も引き続き、DV等により緊急を要する対応が求められる場合は、関係各課・機関と連携し、より一層迅速かつ的確な支援を行う必要がある。
【40403】外国人市民相談の実施	
担当課	人権政策課
事業内容	・外国人市民が出産や子育てなどの日常生活の中で困っていることを相談できるように、多言語対応できる相談窓口を設置し、関係機関と協力しながら支援していきます。
令和4(2022)年度実績	・市内3か所の相談窓口で、やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タイ語、韓国・朝鮮語の6言語による相談対応を実施した。 [相談件数:2,280件、うち出産・子育てに関する相談:271件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・病院や窓口への同行、制度や申請方法の説明等を行い、外国人市民の不安解消に努めた。 【課題】 ・コロナの感染状況が収束に向かっていることから、八尾市で生活する外国人市民は増えており、相談ニーズも増加している。
【40404】生活相談の実施	
担当課	桂人権コミュニティセンター・安中人権コミュニティセンター
事業内容	・住民の福祉の向上及び自立支援のため、生活上のさまざまな課題や悩みなど、住民が抱えている問題についての身近な相談窓口となり、関係機関と連携して解決を図ります。
令和4(2022)年度実績	・生活全般に関する相談事業を実施した。 [相談件数 桂人権コミュニティセンター 257件] ・生活全般に関する相談事業を実施した。 [相談件数 安中人権コミュニティセンター 140件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・住民の福祉の向上及び自立支援に寄与した。 【課題】 ・さまざまな相談や課題に効果的に対応できるよう、関係機関との連携を強化するとともに職員のスキルアップを図る必要がある。また、問題を抱えた人を発見できるような取り組みも行っていく必要がある。

【40405】自立相談支援事業の実施

担当課	地域共生推進課
事業内容	・生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度により、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な自立促進支援の取り組みを進めます。
令和4(2022)年度実績	・生活困窮者の自立促進を図るため相談支援を実施し、相談者の抱えている課題を適切に評価・分析し、その課題を踏まえた支援プランを作成するなどの支援を実施した。 [相談件数 409件 (うち支援プラン作成件数 132件)]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・生活困窮者に対して包括的かつ継続的に支える相談支援体制を構築することで、生活保護に至る前段階で早期の支援を行い、困窮状態からの脱却を図ることができた。 【課題】 ・これまで以上に複雑・複合化した課題を受け止め、さまざまな機関、民間団体、地域住民などと連携しながら横断的な支援体制を構築し、生活困窮者の自立を促進していく必要がある。

【40406】乳児家庭全戸訪問事業の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・必要に応じた適切なサービス提供に結びつけることによる、子どもの健やかな育成を図るために、すべての乳児がいる家庭を訪問し、不安や悩みを聞くことによって、親子の心身の状況や養育環境の把握と子育て関連の情報提供を実施します。
令和4(2022)年度実績	・乳児がいる家庭を訪問し、親子の心身の状況や養育環境の把握と子育て関連の情報提供を実施した。また、4か月児健康診査以降は全数把握できている。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子育て関連の情報提供及び乳児及び保護者の心身の状況や養育環境の把握を行うことで、必要な援助や相談を実施することができた。 【課題】 ・全数把握を行い、保護者の育児不安や虐待予防に努める必要がある。

【40407】妊産婦乳幼児健康診査の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・妊産婦や胎児の疾病予防など母子の健康保持を図るため、妊産婦健康診査等を実施し、必要な指導を行うとともに、保護者の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう支援を実施します。 ・乳幼児の疾病予防と健康保持を図るため、各種健康診査と相談・指導を行うことにより、保護者の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう支援します。
令和4(2022)年度実績	・妊産婦健康診査及び乳幼児健康診査を実施し、母子の健康保持を推進するとともに、指導・相談のなかで保護者の育児不安の軽減を図ることができた。 ・出産後の心身共に不安定な時期にある支援が必要な母子に対して、心身のケアや育児の軽減を実施した。 [産後ケア利用数 宿泊型 208件、デイサービス型 247件] ・乳幼児健康診査を実施し母子の健康保持を推進するとともに、保護者に指導・相談を行い育児不安の軽減を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・妊娠届出時に母子保健相談支援員(助産師)による面接や電話等で妊産婦健康診査の受診勧奨や産後ケア事業の情報提供を実施した。各種健康診査や相談・指導等により、保護者の育児不安を軽減することができた。 ・各種健康診査や相談・指導等により、保護者の育児不安を軽減することができた。 【課題】 ・妊娠・出産・子育てを通して、切れ目のない支援ができるよう、今後も妊産婦健康診査を勧奨し、支援の必要な母子に対して、関係機関と連携し、継続的な支援体制を整えていくことが必要である。 ・乳幼児健康診査について、今後も受診勧奨を行い、受診率の向上や全数把握に努める必要がある。

【40408】母子保健地域組織育成事業による地域住民の活動支援

担当課	健康推進課
事業内容	・地域住民の活動を支援することにより、母子保健の知識普及を図るとともに、地域住民の活性化を図り、地域の子育て家庭の育児不安軽減等の支援につなげます。
令和4(2022)年度実績	・地域での健康教育や育児相談を行うことで、地域の子育て家庭の育児不安軽減等の支援を図った。 [参加延人数 1,035人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域の子育て家庭の育児不安軽減等の支援につなげることができた。 【課題】 ・今後も依頼に応じて地域で必要な支援を行う必要がある。

【40409】あなたのまちの健康相談の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・妊産婦や乳幼児等の子どもを持つ保護者等の相談事業の充実を図るために、各コミュニティセンター等において、保健師や管理栄養士等の専門職による相談を定期的実施します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、完全予約制にて実施した。 [相談回数 177回、妊産婦乳幼児の相談延人数 382人]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・身近な地域で相談を実施することで、相談しやすい環境を整備し、保護者の不安軽減及び児の健康増進を図ることができた。 【課題】 ・効率的に他職種で相談対応ができるように、今後も事業の中でオンライン相談の活用をしていく。

【40410】妊娠から出産後の支援の推進

担当課	健康推進課
事業内容	・地域における切れ目ない妊娠・出産支援の強化として「母子保健相談支援員(助産師)」を配置し、従来のハイリスクの妊産婦等への支援に加え、より広く、妊産婦等全体を対象とする相談支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・母子保健相談支援員(助産師)を配置し、妊産婦等への相談支援を実施することで、妊娠期からの切れ目のない支援の推進を図った。[妊婦把握率 98.1%]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・妊娠期から、母子保健相談支援員(助産師)が妊産婦等を対象とする相談支援を実施することで、リスクのあるケースに対して早期に介入することができた。 【課題】 ・今後も妊産婦等の把握に努め、支援の必要な妊産婦等に対して、関係機関と連携し支援を実施していく必要がある。

【40411】妊産婦乳幼児家庭への訪問指導・保健相談の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・妊産婦の妊娠中毒症や未熟児出生等の予防を図るとともに、乳幼児を抱える保護者の育児不安の解消を図るため、妊娠中や出産後に保健師・助産師による訪問指導を実施します。 ・出産や育児不安を軽減するため、妊産婦・乳幼児の保護者に対して、子どもの疾病予防や育児知識についての育児相談や健康教室等を開催します。
令和4(2022)年度実績	・保健師・助産師による妊娠中や出産後の訪問指導を実施し、妊産婦の妊娠中毒症や未熟児出生等の予防と、保護者の育児不安の解消を図った。 ・妊産婦・乳幼児の保護者に対して、子どもの疾病予防や育児知識についての育児相談を実施した。また、動画配信も実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・妊産婦や乳幼児の健康増進及び保護者の育児不安を解消することができた。 ・保護者同士の交流の場として、各種相談を実施することで育児不安を軽減することができた。 【課題】 ・虐待予防・発達フォロー等のための受診率・把握率の維持をしていく必要がある。 ・今後も、月齢に応じた育児の不安について、対応していく必要がある。

【40412】乳幼児育成指導の実施

担当課	健康推進課
事業内容	・乳幼児の心身の健全な発達を促し、保護者の育児不安の解消を図るため、経過観察が必要と判断された乳幼児に対して健診や相談教室などのフォロー事業を実施します。
令和4(2022)年度実績	・経過観察が必要と判断された乳幼児に対して健診や相談教室などのフォロー事業を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・各種健診・相談・教室を実施することで乳幼児の心身の健全な発達を促し、保護者の育児不安の軽減解消を図ることができた。 【課題】 ・今後も経過観察が必要と判断された乳幼児が継続して必要な事業を利用できるようフォローを継続し、適切な療育や関係機関等につなげる必要がある。

【40413】自殺対策に関する取り組みの実施

担当課	保健予防課
事業内容	・自殺対策相談支援事業の充実及び自殺対策計画審議会、自殺対策推進会議による関係機関の相互の連携や情報の共有を図ること等により、若年層を含めた自殺対策を総合的かつ効果的に推進します。
令和4(2022)年度実績	・自殺予防教育研修の開催、自殺対策相談支援事業の充実及び自殺対策計画審議会による関係機関相互の連携や情報の共有を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・市内小中学校の教職員を対象に自殺予防教育研修を実施し、自殺対策を推進していく上での基礎となる人材の育成を図ることにより、若年層を含めた自殺対策を進めることができた。 【課題】 ・市民や民生委員児童委員、教職員、市職員等を対象にゲートキーパー養成講座を含む自殺予防に関する講座等を実施し、自殺対策を支える人材を増やすことが必要となる。

【40414】保育教諭・保健師等による相談支援の推進(プレママ・親子相談・交流事業の実施)

担当課	こども総合支援課
事業内容	・地域での子どもや子育て世代の居場所づくりや子育て支援の充実を図り、保護者の子育て力の強化や子どもの成長を支えられるよう、コミュニティセンターに絵本を配架し、保育士・保健師等による読み聞かせや育児相談などを実施します。
令和4(2022)年度実績	・市内10か所のコミュニティセンターならびに社会福祉会館・2か所の小学校区集会所にて保護者と子どもを対象に読み聞かせや育児相談などを実施し、地域を主体とした子育て支援体制の構築に寄与した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新たに実施個所を増やしたことで、よりニーズに応えることができた。 【課題】 ・都市開発とともに、ニーズが増加している地域があるため、どのように事業展開していくかは課題である。

【40415】妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の実施

担当課	こども若者政策課
事業内容	・次代の親となる子ども及び妊娠・出産を希望する若者に対し、妊娠・出産・育児に関する情報の提供により、次代の親育てや少子化への対応を実施します。
令和4(2022)年度実績	・子育てに関する情報など、将来のライフプランがイメージできる内容を市ホームページへ掲載した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・自身の今後の人生設計について向き合う機会となるよう、子育てに関する情報やライフイベントに関する費用などの情報提供を実施した。 【課題】 ・引き続き、将来の人生設計がイメージしやすい内容を掲載する必要がある。

【40416】認定こども園等での相談・援助の実施

担当課	こども施設運営課・保育・こども園課
事業内容	・認定こども園等に通っていない就学前児童の保護者を対象に、公立認定こども園、私立保育所で、子ども・子育てに関する相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・各公立認定こども園・私立保育所(園)で、認定こども園・保育所(園)に通っていない親子を対象とした園庭開放事業、地域交流事業及び相談事業を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・地域における幼児教育センター的役割を担うことができた。 【課題】 ・外出機会の少ない保護者が参加しやすくなる方法を検討する必要がある。また、各事業の情報発信をさらに進めていく必要がある。

【40417】家庭支援推進認定こども園等事業による不安を抱える家庭への支援の実施

担当課	こども施設運営課
事業内容	・家庭環境に配慮を要する在園児童への直接的な支援を細やかに行うとともに、在宅支援として、地域交流会において、子育てに不安や問題を抱えている親への支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・家庭支援推進認定こども園事業として西郡そよかぜこども園及び安中ひかりこども園で実施した。家庭環境に配慮を要する入園児童への直接的な支援を細やかに実施した。在宅支援においては、地域交流会等で、子育てに不安や問題を抱えている親への支援を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・家庭環境に配慮を要する入園児童への直接的な支援を細やかに行うとともに、在宅支援として、地域交流会において、子育てに不安や問題を抱えている親への支援を実施した。 【課題】 ・家庭支援を必要とする家庭の多様化により、支援方法や情報収集なども多様であり、対応が課題である。

【40418】つどいの広場における交流の機会提供

担当課	こども総合支援課
事業内容	・乳幼児とその保護者が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る場を提供します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市内12か所においてつどいの広場を実施した。民間への委託事業で、週3日以上かつ1日5時間以上開設した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・乳幼児と保護者が安心して子育てができるよう集い、交流、相談を行う場としてつどいの広場は活用され、大切な役割を担った。 【課題】 ・就学前施設利用者が増加し、広場利用の対象者数が減少傾向にあり、広場の周知及び未利用者の開拓が課題である。

【40419】母子緊急一時保護の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・精神的または経済的に緊急の保護を必要とする母子世帯について、指定施設において一時的に保護し、必要な相談・指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	・緊急の保護を必要とする母子世帯に対して指定の施設において、一時保護制度による支援体制を取っていたが、一時保護の相談がなく、一時保護の実績なし。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・令和4(2022)年度は一時保護の実績はなかったが、必要に応じ母子家庭の母親と子どもの生活の安定を図る体制は維持できていた。 【課題】 ・母子家庭の自立につながるよう関係機関と密に連携していく必要がある。

【40420】母子生活支援施設への入所

担当課	こども総合支援課
事業内容	・母子家庭で、居宅で生活することが児童の福祉に欠ける場合又は居宅が無い場合の母親と子どもの生活の安定を確保するために、母子生活支援施設にて必要な保護を実施します。
令和4(2022)年度実績	・母親と子どもの生活の安定を確保するために、母子生活支援施設にて保護を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・保護が必要な母子家庭を、母子生活支援施設で保護したことにより、母親と子どもの生活の安定を図ることができた。 ・世帯の課題が解決できた世帯については退所となり、一定母子世帯において自立を支援できた。 【課題】 ・母子家庭の自立につながるよう関係機関と密に連携していく必要がある。

【40421】ママ・サポート事業による家事支援の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・昼間に出産後の母親及び乳児の介助をする者がいない家庭において安心して育児を行うための環境を整えるために、家庭訪問による適切な家事支援等を実施します。 ・出産予定日の2か月前から出産日までの20時間、母親及び乳児の退院後2か月以内で20時間までヘルパー派遣をします。また、多胎児の場合は産後に上記以外に、1年間で30時間まで派遣します。
令和4(2022)年度実績	・家事及び育児支援として、出産前後の妊婦母親へシルバー人材センターよりヘルパー派遣を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・出産前後の家事育児の不安を抱える妊産婦が安心して出産育児を迎えるための環境づくりに寄与した。また多胎児出産をされる母親の利用が増えており、産前産後の家事育児負担軽減のため本制度が活用されている。 【課題】 ・安心して出産を迎えるため、産前産後の利用登録はあるが、実際には家族の援助等があり直接利用に結び付かないことが多い。

【40422】母子家庭等日常生活支援事業の実施

担当課	こども若者政策課
事業内容	・母子家庭等で、生活に援助が必要であると認められる場合または生活環境が激変して日常生活に著しい支障が生じている場合に、家庭生活支援員が家事支援等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・支援が必要である母子家庭等に対して家庭生活支援員を派遣し、家事支援等を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭の家事支援を実施し、ひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・対象となる母子家庭等に制度を周知するとともに、制度の趣旨に沿った利用となるよう、対象者に要件等を十分に説明し事業を進めていく必要がある。

【40423】養育支援訪問による相談・指導・助言の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・養育支援が特に必要であると判断した家庭に適切な養育の実施を確保するために、子育てパートナーを派遣し、養育に関する相談、指導、助言等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・子育て支援に熱意のある子育て経験者及び保育士、看護師、助産師、保健師といった専門資格を有する方を募集し、子育てパートナー養成講座を実施した。現パートナーへもフォローアップ講座等を実施し、支援体制の充実、資質向上に取り組んだ。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・専門性を要するケースが増加している中、派遣を機に親子で出かけられる場や地域とのつながりが得られ、児童虐待に及ぶ前の重要な役割となっている。 【課題】 ・訪問時において専門性を要するケースが増加しており、引き続き専門資格を有する人の確保が必要である。また、児童虐待の及ぶおそれのある世帯への支援の在り方や、変化する諸制度についての情報など、訪問する支援員の資質向上も必要不可欠である。

【40424】子育て短期支援事業の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・児童を養育している家庭の保護者が社会的な理由等で、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合、児童福祉施設等で一定期間養育及び保護します。
令和4(2022)年度実績	・ショートステイ8施設、トワイライト1施設と契約し、子育て短期支援事業を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・仕事と家庭生活の両立支援、児童と保護者が安心してともに家庭生活を過ごせる環境づくりに寄与した。 【課題】 ・年間を通し、施設の児童数が定員に達していることが多く、市民の希望と施設側の調整が合わず、利用できないことがある。市民のニーズも高い事業であるため、契約施設の増加を図るとともに、契約施設に受入れ体制の強化を要望していく。

【40425】地域子育て支援センターでの妊産婦・親子の子育て支援

担当課	こども総合支援課
事業内容	・出産を控えた妊婦が出産後の育児等へのイメージを持つことで、スムーズな育児につなげ、母子の心の安定を図るとともに、親の子育て力の向上をめざすため、仲間づくりや情報交換の場を提供します。 ・在宅子育て家庭の保護者が育児不安の解消等により安心して子育てできる環境を整備するために、在宅子育て家庭に対して、親子教室やさまざまな事業を実施し、育児に関する情報提供や相談指導を実施します。
令和4(2022)年度実績	・各地域子育て支援センターにおいてマタニティ&ベビーを毎月1回開催し、妊婦や0歳児の親子が参加することで、情報交換をしたり、育児のイメージを持つことにつながった。 ・市内地域子育て支援センター5か所において親子教室を年齢別で実施し、育児に関する情報提供や相談事業を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・妊婦の方も参加いただいたことで、出産の不安解消につながった。 ・教室後、サークル活動につながったり、グループ支援をする中で、子育てに関する不安軽減につながった。 【課題】 ・妊婦の方への周知が課題。 ・ニーズは高いが定員数の増加や教室の開催数の増加は難しい。

【40426】子育て総合支援ネットワークセンター(令和4(2022)年10月よりこども総合支援センター「ほっぷ」)における相談支援の実施

担当課	こども総合支援課
事業内容	・子育てしやすいまちづくりの推進のため、発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもやその保護者に対して子育て等に関する各種相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもやその保護者等に対して、子育て相談・児童家庭相談を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子育て相談・児童家庭相談を通じて、子育てしやすいまちづくりの推進に寄与できた。 【課題】 ・発達面や情緒面に支障をきたすおそれのある子どもは千差万別であり、保護者ニーズに応じていくことが困難である。

【40427】利用者支援事業による相談支援の充実

担当課	保育・こども園課
事業内容	・一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子ども及びその保護者等、または妊娠している方がその選択に基づき、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行うことを目的とし、子どもまたはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を実施します。
令和4(2022)年度実績	・市窓口を利用者支援員を配置し、就学前教育・保育施設の情報促進を中心に窓口での相談業務を実施し、各種保育サービスとのコーディネートを図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・窓口において各保育サービスや相談業務を実施し、子育て家庭への支援へとつなぐことができた。 【課題】 ・変化する諸制度にも対応できるよう利用者支援員の更なる能力・スキルの向上が必要である。より多くの方にきめ細やかなサービスを行うため利用者支援員の在り方、周知の方法など検討が必要である。

【40428】母子生活支援施設を活用したひとり親家庭への保育サービスの提供

担当課	保育・こども園課
事業内容	・母子生活支援施設の保育機能を活用し、ひとり親家庭の子ども(0～2歳児)に対して保育サービスの提供を実施します。
令和4(2022)年度実績	・母子生活支援施設の保育機能を活用し、ひとり親家庭の子ども0～2歳児(10名)保育を委託事業として実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭の保育需要に対応し、ひとり親家庭の自立に貢献した。 【課題】 ・ひとり親家庭の増加への対応を検討する必要がある。

【40429】母子・父子自立支援員の配置

担当課	こども若者政策課
事業内容	・母子家庭等の自立を総合的に支援するために母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭等からの相談に対応します。
令和4(2022)年度実績	・母子家庭等の自立を総合的に支援するために、母子・父子自立支援員による、ひとり親家庭等への相談を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭等の相談に応じることにより、ひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・ひとり親家庭毎の状況を十分に把握し、自立支援に向けて適切な事業を提案していく必要がある。

【40430】桂・安中青少年会館における子育て支援事業の実施

担当課	桂青少年会館・安中青少年会館
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の乳幼児とその保護者を対象に各種教室・講座を実施し、保護者の子育てを支援し、乳幼児の健全な成長を応援します。また、貸館利用等による乳幼児への遊びの場の提供や、教室参加を契機とした保護者同士の交流活動の促進を図ります。 ・育児についての悩みの解消や、教育力の向上、遊び場の提供等子育て支援を目的に、乳幼児、保護者を対象とした活動を通じて、保護者間の交流を図るとともに、多くの人々と関わる中で、他人を思いやる心や人権感覚を自然に身に付けることをめざし、親子幼児教室や子育て支援講座、遊戯室開放等を実施します。 ・子育てサークルや一般利用者への活動場所の提供や青少年および幼児・児童とその保護者に対し、図書室等の開放を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳未満の乳児を対象にしたベビー教室、1歳から就学前の幼児を対象にした親子幼児教室、3歳から就学前の幼児を対象にしたファミリー教室、4歳から就学前の幼児を対象にした長期教室としてウクレレ教室を実施した。また、交流・遊びの場としてプレイルーム開放や、子育てサークルへの貸館を実施し、親子及び保護者同士のコミュニケーションの促進を図った。 ・親子幼児教室を実施し、遊び場を提供するとともに、親子交流の促進を図った。また、「遊戯室で遊ぼう」の際に健康相談を4回実施することにより、育児の悩みの解消等、子育ての支援を図った。 ・子育てサークルを対象とした貸館事業を実施し、親子及び保護者同士のコミュニケーションの促進を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児向け教室・幼児教室や貸館を実施した結果、教室や貸館利用を通じて保護者同士の交流活動を促すことにつながった。 ・親子及び保護者同士のコミュニケーションの促進、青少年及び幼児・児童の居場所づくりに寄与した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で子育てする家庭の子育てに対する不安や負担感を仲間作りにより解消するための教室であるため、より参加しやすいように定員や教室数の増加を検討する必要がある。 ・子育て支援を推進するために、子育てサークルや一般利用者が親子でふれあえる場所にしていくため、教室やイベントと合わせた部屋の活用方法など、今まで以上に利用しやすい形態を考えていく必要がある。

【40431】消費生活センターによる多重債務相談の実施

担当課	産業政策課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活センターにおいて、消費生活相談員が相談者より多重債務の状況(借入金額、年数、件数など)を聞き取り、債務整理の方法、費用、法律扶助等の説明、助言を行います。また、相談者が弁護士紹介を希望された場合、連携している大阪弁護士会所属の弁護士に相談者を引き継ぎます。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活センターにおいて、多重債務相談を実施した。[相談件数56件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活センターにおいて、多重債務相談を実施し、消費者の多重債務問題の解決に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多重債務相談窓口としての消費生活センターの広報に努める必要がある。

【40432】夜間学級の充実

担当課	学校教育推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学齢時に、諸事情により教育を受けることができなかった方々に対して、教育の機会を与えること、中学校の卒業資格を与えること等を通して、社会生活上の不自由を解消します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習指導に加えて、一人ひとりの生徒の状況に応じた教育機会を提供できるように、日本語指導支援員や通訳、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家等を活用した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層、さまざまな国籍を有する生徒が、高校進学や学力・知識の習得をめざして共に学べる環境を提供できた。 ・外国籍生徒には通訳を交えた進路相談を行うことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしても生活が優先となり、出席したくてもできない生徒が多い。 ・日本語が話せない外国籍生徒が増加しており、指導方法やクラス編成、個別支援などの体制づくりを充実させていく必要がある。

4. すべての子どもが限らない可能性を引き出せる環境づくりの充実	
4-5 支援が特に必要な保護者への就労・経済的支援体制の充実	
【40501】生活困窮者自立支援事業の実施	
担当課	地域共生推進課
事業内容	・離職などで住むところがなくなった方や、住む場所を失うおそれが高い方に対し、家賃相当額を支給することで安定した住居の確保を支援し、自立に向けた就労支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・住居確保給付金 [支給決定件数 68件]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・住居を失う恐れのある生活困窮世帯に対し家賃相当額を支給し、就労支援を行うことで、困窮状態からの脱却を図ることができた。 【課題】 ・支援が必要な世帯に対し、確実に情報が届くよう制度の周知を行う必要がある。また、必要な世帯に対しては家賃支援や就労支援にとどまらず、関連機関と連携し、自立に向けた取り組みを行っていく必要がある。
【40502】生活援護資金貸付の実施	
担当課	地域共生推進課
事業内容	・低所得世帯及び災害等による生活困窮者の自立更生を図るための生活援護資金の貸し付け、償還事務、またその申請や償還など一連の手続きを通じて生活問題の把握に努め、必要に応じて関係機関につなぐなどの相談支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・生活援護資金貸付 [貸付件数 293件、貸付総額 15,717,650円]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・市民の安心安全な生活形成において継続して利用できる制度として、当該貸付の趣旨に沿った利用目的であるかを相談、申請時にしっかりと聴取することで、貸付の妥当性を見るだけでなく生活問題や課題の発見につながった例もあり必要な支援につなげることができた。 【課題】 ・当該貸付の利用者の中で、特に生活保護や生活困窮者自立支援事業等の支援を受けられている方について、所管課や社会福祉協議会と連携することで債務状況や貸付の利用情報などより家計支援の必要性を顕在化することで精度の高いケースアセスメントが可能となる。本貸付を通じて、安定した生活への支援と計画的な償還の履行へとつなげる。
【40503】生活保護世帯に対する教育扶助及び生業扶助の支給	
担当課	生活福祉課
事業内容	・小学生、中学生に対し、義務教育にかかる必要な学用品費や教材費、給食費等を教育扶助により支給します。 ・高校生に対し、高等学校教育にかかる必要な学用品費や教材費、交通費等を生業扶助により支給します。
令和4(2022)年度実績	・小学生・中学生に対し、学用品費、学級費、教材費、学校給食費、学習支援費(クラブ活動費)などを支給した。 ・高校生に対し、学用品費、学級費、教材費、交通費、学習支援費(クラブ活動費)などを支給した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・生活保護法による扶助の一種として教育扶助及び生業扶助を支給し、必要な世帯への福祉の増進に寄与した。 【課題】 ・支援が必要な世帯への事業周知に努める必要がある。
【40504】生活保護世帯に対する就労支援や就労機会の確保	
担当課	生活福祉課
事業内容	・臨床心理士兼キャリアカウンセラー及び就労支援員を配置し、就労困難者である被保護者に対し、きめ細やかな就労支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	・カウンセリングやハローワークへの同行訪問等、就労困難者である被保護者に対し、きめ細やかな就労支援を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・新規就労や増収、資格取得など世帯の自立の促進に努めることができた。 【課題】 ・就労自立に向け、総合的・組織的な支援を行うことが求められている。

【40505】障がい児福祉手当の支給

担当課	障がい福祉課
事業内容	・身体障がい者手帳の1級・2級程度(各部位別)、最重度の知的障がいまたは精神障がい、その他これらと同等程度と認められる状態のいずれかに該当する20歳未満の在宅者で、日常生活において常時介護が必要な人に対して手当を支給します。
令和4(2022)年度実績	・対象者に対して、特別障がい者手当等を支給し、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・取り組みを実施したことで、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。 【課題】 ・制度の周知について引き続き努めていく必要がある。

【40506】障がい者(児)医療費公費負担制度による助成

担当課	障がい福祉課
事業内容	・重度の身体障がい者(児)及び知的障がい者(児)に対し医療費の一部を助成します。
令和4(2022)年度実績	・対象者に対して医療費の一部を助成し、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・取り組みを実施したことで、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。 【課題】 ・今後とも持続可能な医療制度と利用者負担のあり方について府の動向を注視する必要がある。

【40507】子ども医療費公費負担制度による助成

担当課	こども若者政策課
事業内容	・子どもの健全育成・児童福祉の向上を図るため、医療保険により受診した場合に一部自己負担額を控除した額を公費で負担します(所得制限なし)。
令和4(2022)年度実績	・子ども医療費の一部について公費負担することで、子どもの健全育成・児童福祉の向上に寄与した。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・子ども医療費の一部について公費負担することで、子どもの健全育成・児童福祉の向上に寄与するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減した。 【課題】 ・国、大阪府及び府内市町村の動向を見定めながら制度の在り方について検討する必要がある。また、持続可能な制度とするため、市独自の拡充部分について、全国一律の制度となるよう、国や府へ要望を継続していく必要がある。

【40508】ひとり親家庭医療費公費負担制度による助成

担当課	こども若者政策課
事業内容	・ひとり親家庭の生活の安定と児童の健康増進、福祉の向上を図るため、医療保険により受診した場合に医療費の一部自己負担額を控除した額を公費で負担します(所得制限あり)。
令和4(2022)年度実績	・ひとり親家庭医療費の一部について公費負担することで、ひとり親家庭の経済的負担軽減及び児童福祉の向上に寄与した。
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭等の経済的負担の軽減と、児童福祉の向上に寄与した。 【課題】 ・事業の安定的な実施のために、府や国による福祉医療費助成制度の改正のほか、制度を取り巻く社会情勢に注視する必要がある。

【40509】未熟児養育医療給付による助成

担当課	こども若者政策課
事業内容	・対象となる未熟児の保護者の申請により、必要な費用のうち一定の負担を保護者から徴収し、その残額を給付します。
令和4(2022)年度実績	・種々の未熟性があり、入院治療を必要とする未熟児に対して、医療費を給付することで、経済的負担の軽減や未熟児の健全な育成に寄与した。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	【成果】 ・入院治療を必要とする未熟児に対して医療費を給付することで、経済的負担の軽減や未熟児の健全な育成に寄与した。 【課題】 ・医療にかかる公費負担制度を適切に運用するため、未熟児養育医療制度の周知を図る必要がある。

【40510】児童手当の支給

担当課	こども若者政策課
事業内容	・家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とし、中学校修了までの児童を養育している保護者に対して、手当を支給します(所得制限あり)。
令和4(2022)年度実績	・中学校終了までの児童を養育している保護者に対して手当を支給し、児童の健やかな成長に寄与した。 [※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・家庭等における生活の安定及び次代の社会を担う児童の健やかな成長に寄与した。 【課題】 ・市政だより、ホームページ、暮らしのガイドブック、子育ておうえんBOOK、窓口用パンフレットなどによる制度周知の充実に加えて、マイナポータルを利用したぴったりサービスやアプリなど新たな媒体を通じてさらなる制度周知を図る必要がある。

【40511】児童扶養手当の支給

担当課	こども若者政策課
事業内容	・児童が、父又は母の離婚・父又は母の死亡・父又は母の重度障がい・父又は母の生死不明・父又は母から1年以上遺棄されている・父又は母がDV保護命令を受けている・父又は母の1年以上の拘禁・婚姻によらない出産等により、父又は母に監護されているか父又は母にかわる人に養育されている場合に、その父、母又は養育者に対して、児童が18歳に達する日以降最初の3月末まで(児童に障がいがある場合は20歳まで)、手当を支給します(所得制限あり)。
令和4(2022)年度実績	・ひとり親家庭の児童を養育している保護者に対して手当を支給し、生活の安定と自立の促進に寄与した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進と、児童の心身の健やかな成長に寄与した。 【課題】 ・市政だより、ホームページ、暮らしのガイドブック、子育ておうえんBOOK、障がい者ふくしのしおりなどにより行っている制度の周知を、関係課と連携しながらさらに充実させる必要がある。

【40512】特別児童扶養手当の支給

担当課	こども若者政策課
事業内容	・精神または身体に障がいのある20歳未満の児童を監護している父親または母親もしくは養育者に対して手当を給付します(所得制限あり)。
令和4(2022)年度実績	・精神または身体に障がいのある児童を養育している保護者に対して手当を支給し、障がいのある子どもやその家庭等への福祉の増進に寄与した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・精神又は身体に障がいを有する児童について福祉の増進を図り、その家庭の生活の安定を図った。 【課題】 ・市政だより、ホームページ、暮らしのガイドブック、子育ておうえんBOOK、障がい者ふくしのしおりなどにより行っている制度の周知を、関係課と連携しながらさらに充実させる必要がある。

【40513】助産費用の助成

担当課	保育・こども園課
事業内容	・出産費用を捻出ができない方が、安心して助産施設を利用し出産できるように、生活保護世帯及び市民税非課税世帯について、出産費用の一部を負担します。
令和4(2022)年度実績	・出産費用を捻出ができない方が、安心して助産施設を利用し出産できるように、対象者に対して出産に必要な費用の一部を助成した。[※別表参照]
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・出産費用を捻出できない方が、安心して出産できる環境づくりに寄与した。 【課題】 ・産科医不足により、助産施設が減少してきている。

【40514】母子・父子自立支援員の配置

担当課	こども若者政策課
事業内容	・母子家庭等の自立を総合的に支援するために母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭等からの相談に対応します。
令和4(2022)年度実績	・母子家庭等の自立を総合的に支援するために、母子・父子自立支援員による、ひとり親家庭等への相談を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・ひとり親家庭等の相談に応じることにより、ひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・ひとり親家庭毎の状況を十分に把握し、自立支援に向けて適切な事業を提案していく必要がある。

【40515】母子・父子・寡婦福祉資金貸付の実施

担当課	こども若者政策課
事業内容	・ひとり親家庭の経済的自立の助長、生活意欲の助長、子どもの福祉増進を目的とし、貸付資金の活用を通じて総合的に自立を支援します。
令和4(2022)年度実績	・就学支度資金、修学資金等の貸付資金を通じて、ひとり親家庭の自立を支援した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・平成30(2018)年度の中核市移行に伴い、本事業が大阪府から移譲された。事務移譲を円滑に実施することでひとり親家庭等の自立支援につながった。 【課題】 ・滞納債権の回収と管理が課題となっている。

【40516】通常保育事業(実費徴収に係る補足給付)

担当課	保育・こども園課
事業内容	・低所得で生計が困難である家庭の子どもが特定教育・保育施設を利用するにあたり、保育料である利用者負担とは別に、必要とされる日用品・文房具等の実費徴収費を、経済的な理由により支払いが困難な状況に対して、補足給付費として支給します。
令和4(2022)年度実績	・年間給付児童数:114人 ・実費徴収補足給付額:1,514,221円
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・生活保護受給中の保護者の負担を軽減するため、保護者が施設に支払った実費分の一部の給付を保護者からの申請に基づき適正に実施した。 【課題】 ・実費徴収に係る補足給付事業に関する制度の周知に努める必要がある。

【40517】多子・ひとり親世帯等に対する保育料の負担軽減

担当課	保育・こども園課
事業内容	・安心して子どもを生み・育てる環境づくりをめざすため、2人以上の児童がいる場合及び年収360万円未満相当のひとり親世帯への負担軽減を行います。
令和4(2022)年度実績	・同一世帯で2人以上の小学校就学前児童が、認定こども園等に入所している場合、小学校就学前児童のうち、上から2人目の児童の保育料が半額、3人目以降の児童は保育料を無料とした。また、年収約360万円未満相当(世帯の市民税所得割課税額の合計が77,101円未満)のひとり親世帯に関しては、小学校就学前までとされている多子計算にかかる兄弟の年齢制限を適用せず、第1子の保育料について、標準時間:4,500円、短時間:4,400円に軽減、第2子以降の保育料が無料として、保育料の負担軽減を実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・保護者負担を軽減するため、世帯状況に基づき適正に軽減を実施した。 【課題】 ・世帯員に変更があった場合、保育料に変更が生じる場合がある為、申請の必要性を周知徹底していく必要がある。

【40518】ワークサポートセンター運営による就業機会の拡充

担当課	労働支援課
事業内容	・ワークサポートセンターを運営し、市民の就業機会を確保・充実する。また、各種制度やサービスの情報提供を行い、労働環境の安定をめざすほか、労働条件や職場のトラブルなど勤労に関して、弁護士や社会保険労務士による法律相談を実施します。
令和4(2022)年度実績	・八尾市(中央地域就労支援センター)とハローワーク布施(八尾市地域職業相談室)が連携して就労支援を実施した。同施設内のハローワーク布施では、求人情報の検索や提供・職業紹介を行い、中央地域就労支援センターでは、就労に関する相談を実施した。また、関係機関と連携し、就労に関する各種取り組みも実施した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・国と連携しながら安定的な事業運営に努めた。また、勤労市民が抱える不安や悩みへの相談に対応した。 【課題】 ・相談を必要とする市民に、より多く事業を利用していただくため、更なる広報を検討する必要がある。

【40519】地域就労支援センターにおける支援の実施

担当課	労働支援課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就労困難者等の職業能力を高めるため、就職につながりやすい各種講座を実施します。 ・市内5か所ある地域就労支援センターにおいて、支援が特に必要な親を含む就労困難者等に対する就労支援を実施します。また、就労支援の2次的窓口である「八尾市パーソナルサポートセンター」及び就労困難者等に対し個別職業紹介等を行う「八尾市無料職業紹介所」等と連携し、就労困難者等に対する就労支援を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就労困難者等に対して、就職につながりやすい各種講座を実施した。 [講座受講者:個人対応パソコン講座 6名、介護職員初任者研修講座 15名] また、地域就労支援センターにおいて、就労困難者等に対する就労相談等を実施した。
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労困難者等の就職につながる講座の実施や、身近に相談できる場を提供することで、就労困難者等の就労の実現については経済的自立に寄与した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者は増加傾向にある。関係機関との連携等により、対象者の掘り起こしからの誘導が図られるように取り組むと共に、長期就労が実現するよう支援対象者に応じた支援を実施していく必要がある。

【40520】無料職業紹介事業の実施

担当課	労働支援課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就労困難者や女性等を中心とした求職者に対し、無料職業紹介所で開拓した求人や、ハローワークから提供される求人情報等を活用して職業紹介を実施します。また、市内事業所の求人を開拓しつつ、求人登録事業所の人材確保支援として就職面接会等を開催するなど、求職者と事業所のマッチングを行い、雇用の実現に努めます。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所の人材確保支援及び就労困難者等を含む求職者支援のために、会社説明会・就職者面接会や個別職業紹介を実施した。 [会社説明会・就職者面接会実施回数 9回]
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により雇用情勢が悪化する中で、安定した雇用機会を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規での会社説明会・就職者面接会参加事業所が少ないため、周知方法を検討する必要がある。

【40521】パーソナル・サポーターによる就労困難者への自立支援

担当課	労働支援課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の就労支援・相談施策では自立(日常生活自立、社会生活自立、経済的自立)を実現することができない就労から遠い距離にある就労困難者に対し、パーソナル・サポーターが寄り添い型支援を実施することで、それぞれのレベルに応じた自立へと導きます。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に向けた相談事業や社会的居場所事業を実施したほか、機能の充実や財源の確保に向けて生活困窮者自立支援制度をはじめとする各事業との連携を図った。 [支援者数 14名]
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活するための自立や就労が困難な方々に対して、寄り添い型のきめ細やかな支援を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者を事業につなげるべく、地域や関係機関に対して事業内容の周知方法を検討すると共に、効果的な連携体制を構築していく必要がある。

【40522】就学援助事業による助成

担当課	学務給食課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由によって就学が困難な児童・生徒の保護者に対し必要な援助を実施します。
令和4(2022)年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市立学校に在学する児童及び生徒で生活保護法による教育扶助を受けている者及びこれに準ずる程度に就学困難と認められる者に対して援助を実施した。[※別表参照]
計画期間中の評価(成果と課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的に困難な保護者に援助を行うことで、子どもたちの就学の機会を保障することに貢献した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の動向及び本市の財政状況等を勘案し、制度の在り方を常に検証していく必要がある。

【40523】特別支援学校就学奨励補助金の支給	
担当課	学務給食課
事業内容	・特別支援学校に在学する児童・生徒の保護者に就学奨励補助金を交付することにより、経済的負担の軽減を図ります。
令和4(2022)年度実績	・特別支援学校に在学する児童・生徒の保護者で、所得基準を満たした者に対し補助金を交付した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・特別支援学校に在学する児童・生徒の保護者で経済状況が厳しい者に対し補助金を交付することを通じて教育の機会均等を図ることができた。 【課題】 ・本制度を実施している市町村が少数である一方で、支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に交付する特別支援教育就学奨励費については多くの市町村で実施していることから、支援を要する児童・生徒の保護者への経済的支援の在り方全体を検討する必要がある。
【40524】奨学金による負担軽減	
担当課	学務給食課
事業内容	・「八尾市奨学基金」から生ずる果実等をもって、奨学生及び保護者の高等学校等への修学に対する経済的負担軽減を図ります。
令和4(2022)年度実績	・高等学校等の協力を得ながら申請書類を受付し、選考委員会の審議を経て選考された奨学生に対して奨学金を給付した。[※別表参照] ・コロナ禍による学習費への影響に鑑み、奨学金受給者に対し臨時支援金を給付した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・経済的に困難な高校生等に給付を行うことで、負担軽減を図るとともに、適切な制度として支援を継続できるよう制度の見直しを図った。 【課題】 ・昨今の経済状況においては、基金の果実だけでは給付費用全てを確保することはできず、不足分は市費を充当している。

4. すべての子どもが限らない可能性を引き出せる環境づくりの充実	
4-6 子どもと保護者を支援する地域ネットワークの構築	
【40601】八尾市生活困窮者自立支援制度検討会議による施策推進の検討	
担当課	地域共生推進課
事業内容	・各関係機関が参加する八尾市生活困窮者支援会議により、自ら支援を求めることが困難な人たちを含めた生活困窮者の早期発見と迅速な支援の開始、継続的な支援に関する方針の決定や情報共有等の連携を行う。
令和4(2022)年度実績	・八尾市生活困窮者支援会議の開催（14回）
計画期間中の評価（成果と課題）	【成果】 ・構成員の守秘義務を設けることで、関係機関間で把握している生活困窮者に関する情報の共有を、必ずしも本人の同意がない場合も含めて円滑にし、生活困窮者への早期、適切な対応を可能にするための情報共有の仕組みを構築した。 【課題】 ・行政と支援機関及び支援機関相互の地域ネットワークを構築するため、本会議の周知と活用を進めていく。
【40602】福祉生活相談支援員の配置	
担当課	地域共生推進課
事業内容	・地域において援護を要する高齢者、障がい者、子育て中の親及びその家族、親族等への支援について、地域福祉活動のネットワーク化の推進等を図ることにより要援護者等の自立生活の支援のための基盤づくりを実施します。
令和4(2022)年度実績	・福祉生活相談支援員を6か所配置し、生活困窮者をはじめとする地域福祉課題を抱える人や世帯への相談事業を実施した。 [相談者数 276名]
計画期間中の評価（成果と課題）	【成果】 ・福祉生活相談支援員を市内6か所へ配置し、関係機関と連携した相談支援を実施した。 【課題】 ・福祉ニーズの多様化・複雑化等により、単独の機関では十分に対応できないケースが生じており、関係機関との連携したチーム支援が必要である。また、継続的につながり続ける支援(伴走支援)を行うため、相談支援員のスキルアップやネットワークづくりが必要である。
【40603】支援を必要とする人の把握・見守り体制の充実	
担当課	地域共生推進課
事業内容	・平常時からの声掛けや見守りを通じた地域でのつながりづくりを進め、災害時の支え合いにもつながるよう、支援を必要とする人の把握や見守り活動の充実を図ります。
令和4(2022)年度実績	・災害時の避難行動に支援を必要とする者及びその家族により個別避難計画を作成した。また、土砂災害警戒区域を含む高安・南高安地区を重点取組地区とし、個別避難計画を基に福祉事業者との連携により避難時の移送支援及び福祉施設へ直接避難する体制を構築した。
計画期間中の評価（成果と課題）	【成果】 ・重点取組地区において、地域、行政、福祉事業者と連携しながら個別避難計画を活用した事前避難の仕組みの構築に取り組むことができた。 【課題】 ・重点取組地区以外の取り組みについては、特に出張所や人権コミセン等が主体的に取り組む必要がある。
【40604】子どもの未来応援推進事業の実施	
担当課	こども若者政策課
事業内容	・子どもの貧困対策を総合的に支援し、子どもの将来が生まれ育った環境により左右されないよう、貧困の連鎖を断ち切ることで、すべての子どもたちが、限らない可能性を実現できる環境づくりを進めるため、「子どもの未来を応援する首長連合」へ参加することにより、子どもの貧困対策を戦略的かつ効果的に実践していくとともに、子どもの貧困対策に関して各自治体と広域的な連携を図ります。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、子どもの未来を応援する首長連合にかかる総会が書面開催となり、ワークショップについては不参加となったが、書面等により、各自治体との情報共有を図った。
計画期間中の評価（成果と課題）	【成果】 ・子どもの未来を応援する首長連合に加盟することにより、子どもの貧困対策に関して各自治体と広域的な連携を図ることができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、総会やワークショップの開催の中止となった場合も、引き続き各自治体との広域的な連携を必要とする。

【40605】八尾市子どもの未来応援推進会議による施策推進の検討

担当課	こども若者政策課
事業内容	・「子どもの貧困対策に関する大綱」に定められた目的・理念に基づく施策の推進、調査及び研究など、子どもの貧困対策に関する施策を総合的に推進するため、庁内関係課間での情報共有・交換、取り組み検討を実施します。
令和4(2022)年度実績	・子どもたちが生まれ育った環境によって左右されることなく成長できるよう、「八尾市子どもの未来応援推進プラン」について令和3(2021)年度の進捗状況を報告した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・子どもの貧困に関する関係課の取り組みをまとめ、進捗状況を共有した。 【課題】 ・必要に応じて随時、取り組み検討を行う必要がある。

【40606】八尾市子どもの居場所づくり連絡会議による情報共有及び支援体制の充実

担当課	こども若者政策課
事業内容	・子どもが安心して集える居場所運営に関係する支援団体と行政が参加し、情報・意見交換を行うなど、支援が必要な子どもの把握に努めながら、必要な支援へのスムーズなつながりを推進します。
令和4(2022)年度実績	・「八尾市子どもの居場所づくり連絡会議」を開催し、団体間の情報共有や市からの情報提供を行った。また、民間企業による寄付申出等の情報を補助金交付団体のメーリングリストで送付することにより情報共有・活動支援を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・連絡会議の開催やメーリングリストを活用して、情報共有を図ることができた。 【課題】 ・引き続き、居場所づくりに関する意見交換や情報共有を図り、必要な支援へのつながりに努める必要がある。

【40607】保育教諭・保健師等による相談支援の推進(プレママ・親子相談・交流事業の実施)

担当課	こども総合支援課
事業内容	・地域での子どもや子育て世代の居場所づくりや子育て支援の充実を図り、保護者の子育て力の強化や子どもの成長を支えられるよう、コミュニティセンターに絵本を配架し、保育教諭・保健師等による読み聞かせや育児相談などを実施します。
令和4(2022)年度実績	・市内10か所のコミュニティセンター並びに社会福祉会館にて保護者と子どもを対象に読み聞かせや育児相談などを実施し、地域を主体とした子育て支援体制の構築に寄与した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・緊急事態宣言で事業の中止時期があったが、子育て親子のニーズに応え、居場所づくりに努めた。 【課題】 ・新しい生活様式を踏まえて事業展開をしていくことから、定員を削減しており、ニーズの高い所では十分応えることができていない。

【40608】八尾市要保護児童対策地域協議会の連携強化

担当課	こども総合支援課
事業内容	・児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、「八尾市要保護児童対策地域協議会」を設置し、関係機関や地域との連携強化に取り組めます。
令和4(2022)年度実績	・八尾市要保護児童対策地域協議会において、代表者会議、実務者会議、調整会議、個別ケース検討会議を開催し、関係機関や地域との連携強化に取り組んだ。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・八尾市要保護児童対策地域協議会において児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応に取り組むことができた。 【課題】 ・対応件数が増加しており、事務局職員体制の強化も含めたさらなる連携体制の充実を図る必要がある。

【40609】家庭教育支援事業の実施	
担当課	生涯学習課
事業内容	・各地域で顕在化している家庭教育や子どもの育ちに関する諸課題を認識し、その解決に向けて行動を起こすきっかけづくりとなる場を提供します。
令和4(2022)年度実績	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、実施回数が減ったものの、各小学校と保護者とが連携のもと、各地域で顕在化している家庭や子どもの育ちに関する諸問題を認識し、解決に向けた学びの場を提供した。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・各小学校と保護者とが連携のもと、各地域で顕在化している家庭や子どもの育ちに関する諸問題を認識し、解決に向けた学びの場を提供した。 【課題】 ・各地域で顕在化している家庭や子どもの育ちに関する諸問題の解決に資する講座を実施できる講師の情報を把握する必要がある。
【40610】スクールソーシャルワーカーの活用	
担当課	教育センター
事業内容	・学校及び地域、関係諸機関との連携のもとに、児童・生徒が抱える諸課題に早期対応することで、子育てに悩みや不安を抱く家庭の支援を通じ、総合的な家庭の教育力の向上を図ります。
令和4(2022)年度実績	・学校に対しスクールソーシャルワーカーや訪問相談員の配置を実施した。また、スクールソーシャルワーカーによる校内研修、家庭教育支援コーディネーター会議の開催を通じて、家庭の教育力向上を図った。
計画期間中の評価 (成果と課題)	【成果】 ・課題を抱える子どもへの援助を通じて子ども本人や保護者を支援するとともに、教職員の子ども理解を深め、課題の早期発見・早期対応をめざし、校内教職員研修により、課題解決に向けた福祉的視点からのアプローチの方法や支援の在り方、組織としての対応について理解を深めた。 【課題】 ・引き続きスクールソーシャルワーカーによる研修等を活用し教職員の気づきを促すことで、子どもが抱えるさまざまな課題への早期発見・早期対応を推進する必要がある。